

# 学 生 便 覧

平成 25 年度

京都大学大学院文学研究科  
京 都 大 学 文 学 部

# 平成25年度（2013年度）授業日カレンダー

2013（平成25年）

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4							1
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
														30						

7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3							
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	8	9	10	11	12	13	14
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	15	16	17	18	19	20	21
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31	22	23	24	25	26	27	28
														29	30					

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1	2							
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	8	9	10	11	12	13	14
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	15	16	17	18	19	20	21
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	22	23	24	25	26	27	28
														29	30	31				

2014（平成26年）

1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1							
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28		23	24	25	26	27	28	29
														30	31					

- 授業日(通常)
- 試験期間
- 集中講義期間
- 授業日(振り替え) 本来の曜日と異なる授業を行う日 (5月2日(木)、5月8日(水)、10月15日(火)、11月27日(水)、12月24日(火)、1月15日(水) → 月曜日授業)

※11月祭による授業休止日(11/21-11/25)は予定です。<決定後、掲示で周知>  
 ※大学入試センター試験前日(1/17)は授業休止となる場合があります。<決定後、掲示で周知>

<授業時間>  
 1時限 8:45~10:15  
 2時限 10:30~12:00  
 3時限 13:00~14:30  
 4時限 14:45~16:15  
 5時限 16:30~18:00

<教務掛窓口>  
 平日:9時~17時(土・日・祝日, 創立記念日(6月18日), 12月29日~1月3日は休止。夏季休業及び年度末は, 昼休み閉室)  
 ただし, 入試等により臨時休止することがある。(予め掲示で周知する。)

<学生への連絡>  
 休講, 呼出等はすべてKULASIS(京都大学教務情報システム)または掲示で行うため, 見なかったことによる不利益等を受けることがないよう, 各自が注意すること。

<学生からの問い合わせ>  
 授業等に関する問い合わせは, 文学部教務掛窓口で直接行ってください。電話による問い合わせには, 原則応じられません。

平成25年度 文学部・文学研究科行事予定表

25年度	曜日	学 部	大 学 院
25.4.1	月	前期始まり	
2	火	新入生ガイダンス (共通教育) 新入生健康診断 (女子:9:30-10:00, 男子:10:30-12:00)	
5	金	入学式 9:30 (みやこめっせ) 新入生ガイダンス 13:00 (文学部校舎第3講義室)	入学式 14:00 (みやこめっせ) 新入生ガイダンス 16:00 (文学部校舎第3講義室)
8	月	前期授業開始 科目等履修生・聴講生・研究生健康診断 (4/8~4/16) 2回生健康診断<注1>	MC1 学修及び研究計画、研究題目・希望指導教員届 提出 DC1 博士論文研究計画書、研究題目及び希望指導教員届 提出 DC2・3 研究題目・学修及研究計画届 提出 (4/8~4/10)
10	水	3回生以上健康診断<注1>	
11	木		大学院健康診断<注1>
19	金		KULASIS履修登録期間 (4/19~4/23)
23	火		
26	金		KULASIS履修登録確認・修正期間 (4/26~4/30)
30	水		
5.2	木	月曜日の授業実施<注6>	
7	火	履修登録確定 (通年・前期科目)	
8	水	月曜日の授業実施<注6>	
6.18	火	創立記念日 (授業休止)	
7.1	月		MC (夏期) 入学願書受付 (7/1~7/4)
4	木		
17	水		DC3 課程博士論文資格申請書提出 (前期) (7/17~7/19)
18	木		
19	金		
26	金	前期授業終了	
29	月	試験期間 (7/29~8/2) <注3> レポート提出 (7/31~8/2 12:00)	
31	水		
8.2	金		
5	月		MC (夏期) 入学 第一次試験
6	火	1回生向け研究室ガイダンス	MC (夏期) 入学 第一次試験合格者発表
7	水		MC (夏期) 入学 第二次試験
8	木	京都大学オープンキャンパス (予定)	MC (夏期) 入学 合格者発表
12	月	夏季一斉休業日 (8/12~8/14)	
14	水		
19	月	集中講義 (8/19~8/23) <注2>	
23	金		
26	月	集中講義 (8/26~8/30) <注2>	
30	金		
9.2	月	集中講義 (9/2~9/6) <注2>	
6	金		
9	月	集中講義 (9/9~9/13) <注2>	夏季休業 (8/6~9/30)
12	木		
13	金		
17	火	集中講義 (9/17~9/20) <注2>	
19	木		
20	金	1回生系分属ガイダンス (全体)	
24	火	1・2回生専修分属ガイダンス (各専修) (9/24~9/30)	
28	土		
28	土	キャリアガイダンス in Tokyo (予定)	
30	月	前期終わり	
10.1	火	後期始まり・後期授業開始	
3	木	1・2回生 (1次) 志望分属届提出 (10/1~10/3)	
10	木	2回生 (1次) 専修分属選考実施・結果報告 (10/10~10/15)	
11	金		KULASIS履修登録期間 (10/11~10/15)
15	火	月曜日の授業実施<注6>	
16	水	卒業論文題目提出 (10/16~10/18 16:00)	修士論文題目提出 (10/16~10/18 16:00)
17	木		
18	金		
22	火		KULASIS履修登録確認・修正期間 (10/18~10/22)

25年度	曜日	学 部	大 学 院
10.24	木	2回生(2次)志望分属届提出(10/24・10/25)	
25	金		履修登録確定(後期科目)
31	木	2回生(2次)専修分属選考実施・結果報告 (10/31~11/5)	
11.5	火		
14	木	新2・3回生分属決定	
15	金	新2・3回生分属(決定)揭示	
21	木	11月祭(授業休止・予定)	
22	金		
25	月		
27	水	月曜日の授業実施<注6>	
12.2	月		DC3 課程博士論文資格申請書提出(後期)(12/2~12/4) DC3 課程博士學位論文提出(年度内学位取得希望者最終期限)
3	火		
4	水		
24	火	月曜日の授業実施<注6>	
27	金	12月授業終了	
26.1.6	月	1月授業開始	MC入学・DC編入学願書受付(1/6~1/9)
7	火	卒業論文提出(1/7~1/9 16:00) 専修変更願提出(1/8・1/9)	DC3 研究報告提出(1/7・1/8) 修士論文・DC進学願提出(1/7・1/8 16:00)
8	水		
9	木		
15	水	月曜日の授業実施<注6>	
17	金	大学入試センター試験前日<注7>	
18	土	大学入試センター試験(1/18・1/19)	
19	日		
29	水	後期授業終了	
30	木	レポート提出(1/29~1/31 12:00)	
31	金		
2.3	月	試験期間(1/30~2/5)<注3>	修士論文試問(2/3~2/5)
4	火		
5	水		
10	月		MC入学・DC編入学 第一次試験
11	火		MC入学・DC編入学 第一次試験合格者発表
13	木		MC入学・DC編入学 第二次試験
17	月	学士入学・科目等履修生・聴講生・願書(継続)受付(2/13~2/18)	MC入学・DC編入学 合格者発表
18	火		
25	火	学部入学試験(前期日程)(2/25・2/26)<注4>	
26	水		
3.3	月	学士入学試験 9:00	DC1 博士論文作成計画書・研究報告提出 DC2 研究報告提出(3/3・3/4)
4	火	科目等履修生・聴講生入学試験 9:00	
上旬		4回生成績開示(KULASIS)	MC2 成績開示(KULASIS)
未定		学部入学試験合格者決定・学士入学・科目等履修生・聴講生合格者決定	
11	火	学士入学・科目等履修生・聴講生合格発表(予定)	
未定		学部・大学院(卒業・修了・研究指導)認定	
24	月		大学院学位授与式 14:00(みやこめっせ)
25	火	卒業式 10:00(みやこめっせ)	
下旬		1~3回生成績開示(KULASIS)	MC1 成績開示(KULASIS)
31	月	後期終わり	

- 注 1 健康診断を指定日に受検できない場合は4月8日(月)から4月16日(火)の間に受検すること。  
2 集中講義の日程は後日揭示する。  
3 試験の日程はKULASISに掲載する。  
4 学部入学試験の前日(土日の場合は金曜日)及び当日は教務掛窓口は休止する。  
5 予定の詳細、変更等はKULASIS等により周知する。  
6 振り替え授業実施日。5月2日(木)・5月8日(水)・10月15日(火)・11月27日(水)・12月24日(火)・1月15日(水)は月曜日の授業を行う。  
7 大学入試センター試験前日(1月17日)は、準備のため授業休止(予定)

# 学生便覧目次

## I 文学部

1. 京都大学文学部の理念と目標に関する内規	1
2. 京都大学文学部教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)	2
3. 京都大学文学部学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	3
4. 授業関係	4
(1) 文学部専門課程専修別単位表	4
履修上の注意事項	4
学士の学位取得に必要な単位	5
人文学科単位表	6
(2) 履修登録について	16
(3) 卒業論文の提出について	17
(4) 平成 25 年度文学部開講科目一覧	18
(5) 文学部講義題目(シラバス)について	38
(6) 全学共通科目の履修について	39

## II 文学研究科

1. 京都大学大学院文学研究科の理念と目標に関する内規	41
2. 京都大学大学院文学研究科教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)	42
3. 京都大学大学院文学研究科学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	43
4. 授業及び論文関係	44
(1) 文学研究科の授業, 研究指導及び学修方法に関する申合せ事項	44
大学院修士課程単位表	45
(2) 履修登録について	47
(3) 修士論文の提出について	48
(4) 京都大学大学院文学研究科課程博士論文提出の手続	49
(5) 京都大学大学院文学研究科課程博士論文執筆要綱	53
(6) 平成 25 年度文学研究科開講科目一覧	55
(7) 文学研究科講義題目(シラバス)について	70
(8) 奈良女子大学との学生交流について	71

## III 学生生活

1. 教務掛窓口及び学生への連絡について	73
2. KULASIS(クラシス)ー京都大学教務情報システムーについて	74
3. 各種証明書の発行について	75

4. 各種届出について	76
5. キャンパス・ハラスメントについて	77
6. カウンセリングセンター	79
<b>IV 各種資格</b>	
1. 教育職員免許状取得について	81
2. 学芸員となる資格取得について	84
3. 図書館司書・学校図書館司書教諭となる資格の取得について	86
<b>V 規程等</b>	
1. 京都大学通則	89
2. 京都大学文学部規程	102
3. 京都大学大学院文学研究科規程	106
4. 系及び専修に関する内規	108
5. 図 書	110
(1) 文学研究科図書館利用規程	110
(2) 文学研究科図書館利用施行細則	115
(3) 文学研究科所蔵特殊文庫	118
6. 気象警報発令時及び公共交通機関不通時の文学部・文学研究科に係る授業・試験 の取扱い	120
<b>VI その他</b>	
1. 教員名簿	121
2. 建物配置図	135
3. 講義室設備一覧	138
4. 連絡先	139
5. 京大以文会規約	140

# 1. 京都大学文学部の理念と目標に関する内規

平成 21 年 1 月 15 日 文学研究科・文学部教授会決定

京都大学文学部の理念と目標について、次のとおり定める。

京都大学文学部は、京都大学創立以来の自由の学風を継承し、人文学の各分野の伝統を発展させつつ、他の学問分野との調和や融合をはかりながら、人文学における世界最高水準の研究に基づく教育を推進し、その成果を通じて人類の調和ある共存に貢献することを目的として、以下の目標を定める。

- 一 京都大学文学部は、人間の諸活動の原理的な解明と、絶えず変化する環境の中でのそれらのもつ価値の問い直しを通じて、思想、言語、文学、歴史、行動、さらに現代文化に関わる学術を教授する。
- 一 京都大学文学部は、人類の文化の継承と調和ある共存に寄与し、真に新しい文化創造の担い手となる、深い専門知識と広い教養を具え、かつ倫理性にも優れた人材を育成する。
- 一 京都大学文学部は、地域密着的な視点と地球規模の広角的視点の両面から、京都・日本・アジアに固有の知的遺産の維持・継承・発展に寄与すると同時に、人類の文化全般についての多元的・総合的探求を推進する。
- 一 京都大学文学部は、地域連携と国際交流の強化を通じて、教育と研究の成果を地域社会ならびに国際社会にひろく還元する。
- 一 京都大学文学部は、人権を尊重し、環境に配慮した運営を行うとともに、社会的な説明責任に応える。

附 則

この内規は、平成 21 年 1 月 15 日から施行する。

## 2. 京都大学文学部教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

平成 22 年 3 月 15 日 文学研究科・文学部教授会決定

### 学士課程

京都大学文学部は、「人間の諸活動の原理的な解明と、絶えず変化する環境の中でのそれらのもつ価値の問い直しを通じて、思想、言語、文学、歴史、行動、さらに現代文化に関わる学術を教授すること」という理念を教育の根幹とし、「人類の文化の継承と調和ある共存に寄与し、真に新しい文化創造の担い手となる、深い専門知識と広い教養を具え、かつ倫理性にも優れた人材の育成」という教育目標を実現するために、次の方針のもとに教育課程を編成し、実施する。

1. 文学部の学生は、幅広い学問分野に触れ、全人的な教養を身につけるために、全学共通科目の各群の科目を学士課程の四年間で履修する。
2. 文学部の学生は、専門分野（専修）へと進む準備をするために系共通講義、語学、基礎演習、講読などを履修し、二回生への進学時に系に所属する。
3. 文学部の学生は、学術的で専門性の高い英語力を身につけるために、「文学部英語」を履修する。
4. 文学部の学生は、専門分野の学問を体系的かつ専門的に深く学ぶために、三回生への進学時に専修に所属し、専門的な演習や特殊講義を履修する。
5. 文学部の学生は、専修における教育の中で、「対話を根幹とした自学自習」という京都大学の教育理念に基づいて行われる少人数による参加型の授業―講読、演習、実習、野外実習など―を多く受講する。
6. 文学部の学生は、卒業年次に卒業論文の作成が課される。学生は、教員の指導の下に、自ら論文のテーマを設定し、学士課程における自らの勉学の集大成として論文を完成する。



### 3. 京都大学文学部学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

平成 22 年 3 月 15 日 文学研究科・文学部教授会決定

#### 学士課程

京都大学文学部は、「人間の諸活動の原理的な解明と、絶えず変化する環境の中でのそれらのもつ価値の問い直しを通じて、思想、言語、文学、歴史、行動、さらに現代文化に関わる学術を教授すること」という理念を教育の根幹とし、「人類の文化の継承と調和ある共存に寄与し、真に新しい文化創造の担い手となる、深い専門知識と広い教養を具え、かつ倫理性にも優れた人材の育成」という教育目標を掲げて、それを実現するために教育課程(カリキュラム)を編成・実施している。その課程を終えて、学位が授与されるためには、学生には以下のことが求められる。

1. 文学部の学生は、所定の期間在学し、学部の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、基準となる単位数を修得しなければならない。修得すべき授業科目には、全学共通科目と文学部専門科目があり、実施形態としては、講義、演習、講読、実習などがある。
2. 文学部の学生は、卒業論文を作成し提出しなければならない。卒業論文の作成においては、学生は、教員の指導の下に、論文のテーマを決定し、テキストを読解し、資・史料を収集し、データを分析し、あるいは論理的に考察を重ねて、自ら論文を完成することが要求される。これらの作業を通じて学生自身が身につけた、問題探求能力、分析力、判断力、表現力を評価し、学位を授与する。

## 4. 授 業 関 係

### (1) 文学部専門課程専修別単位表

本学部における各専修の卒業に必要な単位は人文学科単位表のとおりである。

#### 成 績 評 価 基 準

成績は100点満点とし、評価基準は60点以上を合格、60点未満は不合格とする。評点は、素点（一部の科目は「合格」・「不合格」）で表示するが、80点以上を「優」、70点～79点を「良」、60点～69点を「可」、59点以下を「不可」と記すこともある。

#### 試験における不正行為の取扱いについて

受験に際し自己または他人のために不正行為をした者の当該セメスターの科目及び当該年度の通年科目の成績は、すべて無効とする。

#### 履修上の注意事項

- カリキュラムの編成や科目履修に関しては、学部・系・専修において実施されるガイダンスを必ず受けること。
- 単位の認定は履修した科目の成績によって認定する。履修登録していない授業科目の単位は認定しない。
- 全学共通科目及び1・2回生に配当された学部科目（次ページの「学士の学位取得に必要な単位」を参照）は、2回生までに履修し、所定の単位を修得しておくことが望ましい。また、3回生以上においては、専修単位で行われる履修指導に従って、計画的に学部科目を履修し、4回生では、十分な時間を卒業論文の作成に当てなければならない。
- 必修科目は各専修の専門Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから所定の科目及び単位を修得する。必修科目の所定の単位を超えた単位は自由選択科目の単位に算入する。
- 自由選択科目は文学部全体の科目（共通科目の博物館学、英語、書道を除く）から選択することができる。
- 講義科目・語学（初級）科目以外の科目（特殊講義・演習・実習・語学等の科目）については、同一科目（同一の科目コード）を複数回履修した場合、それぞれを卒業に必要な単位として認定する。
- 同一科目（同一の科目コード）の講義科目及び語学科目（初級）を複数回履修した場合、成績の最も良い1科目を卒業に必要な単位として認定する。  
ただし、平成24年度以前に修得した心理学講義及び以下の専修の講義科目は、修得したすべての単位を卒業に必要な単位として認定する。  
（4単位科目）国語学国文学 （2単位科目）西洋古典学、ドイツ語ドイツ文学、情報・史科学
- ギリシア語等の2時間コースと4時間コースは同一科目として取扱う。  
2時間コースと4時間コースの両方の単位を修得した場合、4時間コースの単位を卒業に必要な単位として認定する。
- 他専修との共通科目については、履修登録した専修の科目として単位認定されるので、履修登録した専修以外の科目として変更することはできない。  
なお、他学部・全学共通科目との共通科目についても同様の取扱いとする。
- 系ゼミナール(学部共通科目)については4単位まで卒業に必要な単位として認定する。
- 学部規程第6条に定める他学部の学部科目の履修については、主任教員の承認を得ること。  
なお、他学部で修得した単位は、卒業に必要な単位として認定しない。
- 履修について不明な点があるときは必ず事前に教務掛まで問い合わせること。

## ○学士の学位取得に必要な単位

## 【平成 24 年度以前入学者対象】

全学共通科目 (詳細は、全学共通科目履修の手引きの文学部ページを参照。)

A 群 (人文・社会科学系科目)	} 36 単位以上 <sup>注1</sup>	} 52 単位以上	} 140 単位以上
B 群 (自然科学系科目)			
D 群 (保健体育科目)			
EX 群 (大学コンソーシアム京都単位互換科目) <sup>注2</sup>			
C 群 (外国語科目) <sup>注3</sup>	} 16 単位以上		
学部科目	} 88 単位以上 (詳細は、次ページ以降の「人文学科単位表」を参照。)		

注1 ただし、A 群、B 群はそれぞれ 8 単位以上(平成 15 年度以降入学者)

注2 ただし、EX 群は平成 18 年度入学者から適用する。

注3 英独仏中露伊西朝のうちから英独仏いずれか一つを含め、2 か国語それぞれ 8 単位以上、計 16 単位以上

英語を履修する場合、8 単位のうち 2 単位については、「文学部英語 A」および「文学部英語 B」を各 1 単位ずつ修得しなければならない(平成 13 年度開講科目「文学部英語」も可。)

なお、英語以外は初級 4 単位以上、中・上級 4 単位以上を修得しなければならない。

※「フランス語 I (8H コース)」、「ロシア語 I (8H コース)」は、8 単位のうち 4 単位のみ、「ドイツ語 I (6H コース)」、「ドイツ語 II (6H コース)」、「フランス語 II (6H コース)」は、6 単位のうち 4 単位のみ、卒業に必要な単位をして認定する。

## 【平成 25 年度入学者対象】

全学共通科目 (詳細は、全学共通科目履修の手引きの文学部ページを参照。)

人文・社会科学系科目群	} 36 単位以上 <sup>注1・4</sup>	} 52 単位以上	} 140 単位以上
自然・応用科学系科目群			
現代社会適応科目群			
拡大科目群 <sup>注2</sup>			
外国語科目群 <sup>注3</sup>	} 16 単位以上		
学部科目	} 88 単位以上 (詳細は、次ページ以降の「人文学科単位表」を参照。)		

注1 ただし、人文・社会科学系科目群 8 単位以上、自然・応用科学系科目群 6 単位以上

注2 大学コンソーシアム京都単位互換科目を含む。

注3 英独仏中露伊西朝のうちから英独仏いずれか一つを含め、2 か国語それぞれ 8 単位以上、計 16 単位以上

英語を履修する場合、8 単位のうち 2 単位については、「文学部英語 A」および「文学部英語 B」を各 1 単位ずつ修得しなければならない。

なお、英語以外は初級 4 単位以上、中・上級 4 単位以上を修得しなければならない。

※「フランス語 I (8H コース)」、「ロシア語 I (8H コース)」は、8 単位のうち 4 単位のみ、「ドイツ語 I (6H コース)」、「ドイツ語 II (6H コース)」、「フランス語 II (6H コース)」は、6 単位のうち 4 単位のみ、卒業に必要な単位をして認定する。

注4 全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

※「文学部英語 A・B」は、2 科目 2 単位のみ卒業に必要な単位として認定され、原則として自分の所属する系(基礎現代文化学系は志望する専修)を対象とするクラスを履修しなければなりません(「文学部英語 A・B」を修得後に、他系の専修に分属した場合、あらたに「文学部英語 A・B」を履修し直す必要はありません)。

※基礎教育科目(詳細は、次ページ以降の「全学共通科目の履修について」を参照。)は全学共通科目として履修登録するが、単位を修得した場合、文学部の学部科目(自由選択)として認定する。

ただし、全学共通科目の必要単位が不足している場合、所定の手続きを経て、全学共通科目 A 群(平成 24 年度以前入学者)あるいは人文・社会科学系科目群(平成 25 年度入学者)に変更することができる。手続期間は、4 月初旬及び 10 月初旬のみ。詳細は、文学部教務掛関係掲示板に掲示する。

# 人 文 学 科 単 位 表

## 【哲学基礎文化学系】

	専 門 I	専 門 II	専 門 III
哲 学 専 修	(平成 24 年度以前哲学専修分属者)		
	哲学・西洋哲学史講読 4	哲学講義 4 西洋古代哲学史講義 4 西洋中世哲学史講義 4 西洋近世哲学史講義 4	哲学特殊講義 4 哲学演習 4 (西洋哲学史特殊講義・ 演習をも含む) 哲学卒論演習 4
	※哲学卒論演習は不開講のため、「哲学卒論演習Ⅰ」及び「哲学卒論演習Ⅱ」にてよみかえる。 (ただし、「哲学卒論演習Ⅰ」及び「哲学卒論演習Ⅱ」を各 2 単位ずつ修得しなければならない。)		
	※平成 25 年度より哲学・西洋哲学史講読は 4 単位から 2 単位のみの開講となるため、 単位が不足する場合は、演習(哲学演習・西洋哲学史演習)にてよみかえることができる。		
	必修 32	自由選択 44	卒業論文 12 合計 88
	(平成 25 年度以降哲学専修分属者)		
	哲学・西洋哲学史講読 2	哲学講義 4 西洋古代哲学史講義 4 西洋中世哲学史講義 4 西洋近世哲学史講義 4	哲学特殊講義 4 哲学演習 4 (西洋哲学史特殊講義・ 演習をも含む) 哲学卒論演習Ⅰ 2 哲学卒論演習Ⅱ 2
	必修 30	自由選択 46	卒業論文 12 合計 88
西 洋 哲 学 史 (古 代 ・ 中 世 ・ 近 世) 専 修	(平成 24 年度以前西洋哲学史専修分属者)		
	ラテン語または ギリシア語 2 哲学・西洋哲学史講読 4	哲学講義 4 西洋古代哲学史講義 4 西洋中世哲学史講義 4 西洋近世哲学史講義 4	西洋古代哲学史特殊講義 } 西洋中世哲学史特殊講義 } 4 西洋近世哲学史特殊講義 } 西洋古代哲学史演習 } 西洋中世哲学史演習 } 8 西洋近世哲学史演習 } (哲学特殊講義・演習をも 含む。)
	※平成 25 年度より哲学・西洋哲学史講読は 4 単位から 2 単位のみ開講となるため、 単位が不足する場合は、演習(哲学演習・西洋哲学史演習)にてよみかえることができる。		
	必修 34	自由選択 42	卒業論文 12 合計 88

	専 門 I	専 門 II	専 門 III
西洋哲学史 (古代・中世・近世) 専修	(平成25年度以降西洋哲学史専修分属者)		
	ラテン語または ギリシア語 哲学・西洋哲学史講読 2 2	哲学講義 西洋古代哲学史講義 西洋中世哲学史講義 西洋近世哲学史講義 4 4 4 4	西洋古代哲学史特殊講義 西洋中世哲学史特殊講義 西洋近世哲学史特殊講義 西洋古代哲学史演習 西洋中世哲学史演習 西洋近世哲学史演習 (哲学特殊講義・演習をも 含む。) 4 8
	必修 32	自由選択 44	卒業論文 12 合計 88
日本哲学史 専修	日本哲学史講読 4	日本哲学史講義 哲学基礎文化学系内の他の 専修より講義 4 4	日本哲学史特殊講義 哲学基礎文化学系内の他の 専修より特殊講義 日本哲学史演習 8 4 8
	必修 32	自由選択 44	卒業論文 12 合計 88
倫理学 専修		倫理学講義 4	倫理学特殊講義 倫理学演習 (哲学基礎文化学系の特殊講義、 演習は、それぞれ倫理学専修の 特殊講義、演習の単位として認 める。) 12 12
	必修 28	自由選択 48	卒業論文 12 合計 88
宗教学 専修	宗教学講読 4	宗教学講義 4	宗教学特殊講義 宗教学演習 12 8
	必修 28	自由選択 48	卒業論文 12 合計 88
キリスト 教学 専修	ギリシア語 または ラテン語 または ヘブライ語 2	キリスト教学講義 4	キリスト教学特殊講義 キリスト教学演習・講読 12 12
	必修 30	自由選択 46	卒業論文 12 合計 88

	専 門 I	専 門 II	専 門 III
美学美術史学専修	(平成 24 年度以前美学美術史学専修分属者)		
	美学美術史学演習 I            4 英書講読                    4 和書講読                    4	美学講義                    4 美術史学講義                4 比較芸術史学講義            4	美学美術史学特殊講義        4 美学美術史学演習 II         4 美学美術史学演習 III        8
	(英書講読は不開講のため、美学美術史学演習 II (英書講読) にてよみかえることができる)		
	必修 32	自由選択 44	卒業論文 12    合計 88
	(平成 25 年度以降美学美術史学専修分属者)		
	美学美術史学演習 I            4	美学講義                    4 美術史学講義                4 比較芸術史学講義            4	美学美術史学特殊講義        8 美学美術史学演習 II         4 美学美術史学演習 III        8
	必修 32	自由選択 44	卒業論文 12    合計 88

## 【東洋文化学系】

	専 門 I	専 門 II	専 門 III
国語学国文学専修	国語学国文学講読 4	国語学講義 4 国文学講義 4	国語学国文学特殊講義 8 国語学国文学演習 8 国語学国文学論文指導 4
	必修 32 自由選択 44 卒業論文 12 合計 88		
中国語学中国文学専修	中国文学講読 4	中国語学講義 4 中国文学講義 4	中国語学中国文学特殊講義 6 中国語学演習 } 12 中国文学演習 } 中国語外国人実習 2
	必修 32 自由選択 44 卒業論文 12 合計 88		
中国哲学史専修	中国哲学史講読 4	中国哲学史講義 4	中国哲学史特殊講義 8 中国哲学史演習 12
	必修 28 自由選択 48 卒業論文 12 合計 88		
インド古典学専修	インド古典学講読 4 サンスクリット 2 〔 サンスクリット (4時間コース) サンスクリット (2時間コース) 〕	サンスクリット文学講義 } 4 インド哲学史講義 }	インド古典学特殊講義 8 インド古典学演習 12
	必修 30 自由選択 46 卒業論文 12 合計 88		
仏教学専修	仏教学講読 4	仏教学講義 4	仏教学特殊講義 8 仏教学演習 8 サンスクリット 2 〔 サンスクリット (4時間コース) サンスクリット (2時間コース) 〕 チベット語 2
	必修 28 自由選択 48 卒業論文 12 合計 88		

【西洋文化学系】

	専 門 I	専 門 II	専 門 III
西洋古典学専修	ギリシア語 } 6 ラテン語 } 西洋古典学講読 4	西洋古典学講義 } 4 古典文化学講義 }	西洋古典学特殊講義 4 古典文学演習 } 古典語学演習 } 12 古典文化学演習 }
	必修 30 自由選択 46 卒業論文 12 合計 88		
スラブ語学スラブ文学専修	スラブ語学スラブ文学講読 8 ラテン語または ギリシア語 2	スラブ語学スラブ文学講義 4	スラブ語学スラブ文学 特殊講義 4 スラブ語学スラブ文学演習 8 スラブ語学スラブ文学外国人実習 2
	必修 28 自由選択 48 卒業論文 12 合計 88		
ドイツ語学ドイツ文学専修	ドイツ語学ドイツ文学講読 8 ラテン語 2 ドイツ語学ドイツ文学 外国人実習 2	ドイツ語学ドイツ文学講義 4	ドイツ語学ドイツ文学 特殊講義 8 ドイツ語学ドイツ文学 演習 I・II 12
	必修 36 自由選択 40 卒業論文 12 合計 88		
英語学英文学専修	英語学英文学講読 4 ラテン語 2	英語学講義 4 英文学講義 4 アメリカ文学講義 4	英語学英文学特殊講義 8 英語学英文学演習 I 4 英語学英文学演習 II 4 英語学英文学外国人実習 2
	必修 36 自由選択 40 卒業論文 12 合計 88		
アメリカ文学専修	アメリカ文学講読 4 ラテン語 2	アメリカ文学講義 4 英語学講義 4 英文学講義 4	アメリカ文学特殊講義 8 アメリカ文学演習 I 4 アメリカ文学演習 II 4 アメリカ文学外国人実習 2
	必修 36 自由選択 40 卒業論文 12 合計 88		



	専 門 I	専 門 II	専 門 III
フ ラ ン ス 語 学 専 修	フランス語学フランス文学講読 8 ラテン語 2	フランス語学講義 4 フランス文学講義 4	フランス語学フランス文学 特殊講義 8 フランス語学フランス文学演習 I 4 フランス語学フランス文学演習 II 4 フランス語学フランス文学 外国人実習 2
	必修 36 自由選択 40 卒業論文 12 合計 88		
イ タ リ ア 語 学 専 修	イタリア語学イタリア文学講読 8 ラテン語 2	イタリア語学イタリア文学講義 4	イタリア語学イタリア文学 特殊講義 8 イタリア語学イタリア文学演習 12 イタリア語学イタリア文学 外国人実習 2
	必修 36 自由選択 40 卒業論文 12 合計 88		

【歴史基礎文化学系】

	専 門 I	専 門 II	専 門 III
日本史学専修	日本史学講読 4 日本史学基礎演習 4	日本史学講義 4	日本史学特殊講義 12 日本史学演習 I 4 日本史学演習 II 4 日本史学実習 2
	必修 34	歴史基礎文化学系内から講義・特殊講義 8 単位 歴史基礎文化学系内から演習 4 単位 自由選択 30 卒業論文 12 合計 88	
東洋史学専修	東洋史学実習 2 東洋史学講読 4	東洋史学講義 4	東洋史学特殊講義 12 東洋史学演習 8
	必修 30	歴史基礎文化学系内から講義・特殊講義 12 単位 自由選択 34 卒業論文 12 合計 88	
西南アジア史学専修	関連語学 } 6 西南アジア史学講読 } 西南アジア史学実習 2	西南アジア史学講義 4	西南アジア史学特殊講義 12 西南アジア史学演習 I 4 西南アジア史学演習 II 4
	必修 32	歴史基礎文化学系内から講義・特殊講義 12 単位 自由選択 32 卒業論文 12 合計 88	
西洋史学専修	西洋史学実習 2 英書講読 } 仏書講読 } 2科目から 6 独書講読 } 露書講読 } 伊書講読 } 関連語学 } 〔ギリシア語 (2時間コース, 4時間コース) ラテン語 (2時間コース, 4時間コース) スペイン語 (中級), ヘブライ語〕	西洋史学講義 4	西洋史学特殊講義 12 西洋史学演習 I ~IV 4 西洋史学演習 V 4
	必修 32	歴史基礎文化学系内から講義・特殊講義 12 単位 自由選択 32 卒業論文 12 合計 88	
考古学専修	考古学実習 4 考古学講読 4	考古学講義 4 先史学講義 4	考古学特殊講義 4 考古学演習 I 4 考古学演習 III 4
	必修 28	歴史基礎文化学系内から特殊講義 16 単位 自由選択 32 卒業論文 12 合計 88	

## 【行動・環境文化学系】

	専 門 I	専 門 II	専 門 III
心 理 学 専 修	心理学実習 I, II 6	心理学講義 8	心理学特殊講義 8 心理学演習 8 心理学実習Ⅲ または心理学講読 2
	必修 32 自由選択 44 卒業論文 12 合計 88		
言 語 学 専 修	語学 8 言語学基礎演習 4	言語学講義 I 4 言語学講義 II 4	言語学特殊講義 8 言語学演習 4 言語学卒論演習 2
	必修 34 自由選択 42 卒業論文 12 合計 88		
社 会 学 専 修	(平成 22 年度以前社会学専修分属者)	社会学講義 4	社会学特殊講義 12 社会学実習 4 社会学講読 4 社会学演習 I 8 社会学卒論演習 8
	必修 32 自由選択 44 卒業論文 12 合計 88		
社 会 学 専 修	(平成 23 年度以降社会学専修分属者)	社会学講義 4	社会学特殊講義 14 社会学実習 2 社会学講読 4 社会学演習 I 4 社会学卒論演習 4
	必修 32 自由選択 44 卒業論文 12 合計 88		
地 理 学 専 修	地理学実習 4 英書講読 4	地理学講義 4	地理学特殊講義 8 地理学演習 8 講読 (独・仏・中国書) 4
	必修 32 自由選択 44 卒業論文 12 合計 88		

【基礎現代文化学系】

	専 門 I	専 門 II	専 門 III
科学哲学科学史専修	基礎現代文化学講読 4 基礎現代文化学基礎演習 I (論理学) 4	科学哲学講義 4 科学史講義 4	科学哲学科学史特殊講義 8 科学哲学科学史演習 4 科学哲学科学史卒論演習 4
	必修 32 自由選択 44 卒業論文 12 合計 88		
情報・史科学専修	基礎現代文化学講読 (英語) 4 情報技術演習 I 2 情報技術演習 II 2	情報・史科学講義 4	情報・史科学特殊講義 8 情報・史科学演習 4 情報・史科学卒論演習 4
	必修 28 自由選択 48 卒業論文 12 合計 88		
二十世紀学専修	(平成 20 年度以前二十世紀学専修分属者) 基礎現代文化学講読 (英, 独, 仏, 露, 中, 伊) 4 学部共通科目・語学 (スペイン語中級, 朝鮮語中級) 6 基礎現代文化学基礎演習 II 4 〔重複履修は認めない。2 年次で修得しなかった者は、二十世紀学演習 II の任意の科目で読みかえることができる。〕	二十世紀学講義 4	二十世紀学特殊講義 8 二十世紀学演習 I 4 二十世紀学演習 II 6 二十世紀学卒論演習 4
	必修 36 自由選択 40 卒業論文 12 合計 88		
二十世紀学専修	(平成 21 年度以降二十世紀学専修分属者) 基礎現代文化学英書講読 4 基礎現代文化学講読 (独, 仏, 露, 中, 伊) 2 学部共通科目・語学 (スペイン語中級, 朝鮮語中級) 2 基礎現代文化学基礎演習 II 4 〔重複履修は認めない。2 年次で修得しなかった者は、二十世紀学演習 II の任意の科目で読みかえることができる。〕	二十世紀学講義 4	二十世紀学特殊講義 8 二十世紀学演習 I 4 二十世紀学演習 II 6 二十世紀学卒論演習 4
	必修 36 自由選択 40 卒業論文 12 合計 88		

	専 門 I	専 門 II	専 門 III
現 代 史 学 専 修	基礎現代文化学英書講読 4	現代史学講義 } 4 日本現代史講義 }	現代史学特殊講義 8
	基礎現代文化学講読 } 2 (独, 仏, 露, 中, 伊)		現代史学演習 I 4
	語学 (学部共通科目) (スペイン語中級, 朝鮮語中級)		現代史学演習 II 4
	基礎現代文化学基礎演習 II 4 〔重複履修は認めない。なお, 2 年次に単位を修得しなかった者 は, 現代史学演習 II の任意の科 目で読みかえることができる。〕		現代史学卒論演習 4
	必修 34 自由選択 42	卒業論文 12	合計 88

## (2) 履修登録について

### ●文学部科目を履修する場合（KULASIS での履修登録）

文学部科目を履修するには、KULASIS での履修登録が必要です。履修登録をしていない授業科目は、受講し試験（筆記，レポート等）を受けても単位認定がされないのので、必ず期間内にパソコンから KULASIS に登録してください（携帯電話からは履修登録出来ません。パソコンから行ってください）。

前期及び後期の登録期間内に KULASIS で履修登録を行い、履修登録確認・修正期間に登録されていることを必ず確認してください。

なお、履修登録についての詳細は、文学部掲示板及び KULASIS で周知しますので必ず確認してください。

	前 期 (前期科目・通年科目・卒業論文)	後 期 (後期科目)
履修登録ページ公開日	4月2日(火)	9月24日(火)
履修登録期間	4月19日(金)～4月23日(火)	10月11日(金)～10月15日(火)
履修登録確認・修正期間	4月26日(金)～4月30日(火)	10月18日(金)～10月22日(火)
履修登録確認表開示期間	5月7日(火)～5月16日(木)	10月25日(金)～11月3日(日)

※集中講義の履修登録については、別途6月上旬頃に掲示で案内します。

### ●全学共通科目を履修する場合

全学共通科目の履修については、「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

### ●他学部科目を履修する場合（他学部聴講願での履修登録）

他学部科目の登録は、「他学部聴講願」を提出期限までに文学部教務掛窓口に提出のうえ、各学部の指示に従ってください。（他学部科目の単位は、卒業に必要な単位として認められない。）

	前 期	後 期
願出用紙配布期間	4月1日(月)～	10月1日(火)～
提出期限	4月17日(水)まで	10月16(水)まで

ただし、教育学部・法学部・経済学部の科目を履修する場合、他学部聴講願の提出は不要ですが各教務掛窓口で直接履修登録を行う必要があります。（登録方法・期間は文学部掲示板に掲示いたします。）

## (3) 卒業論文の提出について

今年度の学部卒業希望者は、下記により論文題目届及び論文を提出すること。

なお、前年度に論文題目届及び論文を提出した後、卒業を延期した者も今年度改めて論文題目届、論文とも提出すること。

## 記

論文題目	<p><b>提出期間：文学部・文学研究科行事予定表のとおり</b></p> <p>文学部・文学研究科 HP 掲載の論文題目届用紙に論文題目その他必要事項を入力又は記入のうえ、専修主任教員の検印を受けて教務掛へ提出後、メールを送信すること。</p> <p>論文題目届は、原則パソコン等で作成すること。<u>※氏名のみ</u>、手書きすること。</p> <p>なお、論文題目が英・欧文等の場合、題目の手書きは避けること。</p>
論文	<p><b>提出期間：文学部・文学研究科行事予定表のとおり</b></p> <p>論文の表紙には、各専修より配付される表紙ラベルを貼付し教務掛へ提出すること。</p>
注意事項	論文題目届、論文とも締め切り後は受理しない。
書式	<p>論文は原則として各系とも和文とする。</p> <p>ただし、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語学英文学，アメリカ文学専修学生は英語とする。</li> <li>2. 上記1以外の「外国」語学「外国」文学，言語学専修学生はそれぞれの専修の言語で書いてもよい。</li> </ol>
用紙枚数	<p><b>和文の場合</b></p> <p>400字詰原稿用紙に換算して50枚以内とする。</p> <p><b>欧文の場合</b></p> <p>A4判用紙に1ページ25行程度で30ページ以内とする。</p>
その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 卒業論文には黒表紙をつけ仮製本して提出すること。</li> <li>論文の提出期限は厳守し、提出後の誤字・脱字の訂正，プリントアウトの欠損などがないように十分な点検をおこなうこと。</li> <li><u>パソコン使用の場合，ハードディスクやUSBの異常，または機器の故障を理由とした提出延期や不完全な形での提出は認めない。</u></li> <li>2. 論文題目提出後は原則として題目の変更は認めない。止むを得ず変更する場合は，専修主任教員の承認を得て教務掛へ届け出ること。</li> <li>3. 論文題目届を提出した者は卒業予定者として扱う。その後，事情により留年することになった者は，必ず教務掛交付の「論文提出取止届」に専修主任教員の承認印を受けて提出すること。</li> <li>4. 卒業論文は口頭試問の前に限り撤回することができる。</li> <li>5. 口頭試問の日時は，1月中旬にKULASIS掲載及び掲示により通知する。</li> <li>6. その他詳細については，KULASIS，掲示及び各専修より指示されるので見落とし等のないように注意すること。</li> </ol>

## (4) 平成25年度文学部開講科目一覧

## 【哲学基礎文化学系】

講義コード 科目コード・連番	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	専修・科目	講義形態									
5101001	系共通科目(哲学)	講義	2-4	2	4	通年	金1	伊藤 邦武			
5200001	系共通科目(西洋古代哲学史)	講義	2-4	2	2	前期	水5	中畑 正志	古代		総合人間学部
5202002	系共通科目(西洋古代哲学史)	講義	2-4	2	2	後期	水5	中畑 正志	古代		総合人間学部
5204003	系共通科目(西洋中世哲学史)	講義	2-4	2	2	前期	月4	川添 信介	中世		
5206004	系共通科目(西洋中世哲学史)	講義	2-4	2	2	後期	月4	川添 信介	中世		
5205005	系共通科目(西洋近世哲学史)	講義	2-4	2	4	通年	水3	福谷 茂	近世		
5302001	系共通科目(日本哲学史)	講義	2-4	2	2	前期	火5	上原 麻有子			
5304002	系共通科目(日本哲学史)	講義	2-4	2	2	後期	火5	上原 麻有子			
5401001	系共通科目(倫理学)	講義	2-4	2	4	通年	金3	水谷 雅彦			
5501001	系共通科目(宗教学)	講義	2-4	2	4	通年	月5	氣多 雅子			
5601001	系共通科目(キリスト教学)	講義	2-4	2	4	通年	木1	芦名 定道			
5702001	系共通科目(美術史学)	講義	2-4	2	4	通年	水3	中村・平川			
5701002	系共通科目(美学)	講義	2-4	2	4	通年	水4	吉岡 洋			
5704003	系共通科目(美術史学)	講義	2-4	2	4	通年	金1	根立 研介			
5130002	哲学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水1	伊藤 邦武			
5130003	哲学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水5	出口 康夫			
5131004	哲学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火5	西村 正秀			
5140005	哲学	演習	3-4	2	4	通年	月5	出口 康夫			
5141006	哲学	演習	3-4	2	2	前期	月4	須藤 訓任			
5141007	哲学	演習	3-4	2	2	後期	火5	久米 暁			
5141011	哲学	演習	3-4	2	2	前期	月2	富田 恭彦		◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部
5141012	哲学	演習	3-4	2	2	後期	月2	富田 恭彦		◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部
5146009	哲学	卒論演習I	3-4	2	2	前期	金2	伊藤・出口			
5148010	哲学	卒論演習II	3-4	2	2	後期	金2	伊藤・出口			
5156030	哲学・西洋哲学史	講読	2-4	2	2	前期	月2	伊藤・出口・中畑・川添・福谷			
9990001	卒業論文(哲学)		4		12	通年		伊藤 邦武			
5230006	西洋哲学史	特殊講義	3-4	2	4	通年	水3	中畑 正志	古代		
5231007	西洋哲学史	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	近藤 智彦	古代		
5234008	西洋哲学史	特殊講義	3-4	2	2	後期	金3	川添 信介	中世		
5234009	西洋哲学史	特殊講義	3-4	2	2	前期	木3	仁子 寿晴	中世		
5234010	西洋哲学史	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	山内 志朗	中世		
5235011	西洋哲学史	特殊講義	3-4	2	4	通年	月5	福谷 茂	近世		
5235012	西洋哲学史	特殊講義	3-4	隔週4	4	通年	木4木5	上野 修	近世		
5240013	西洋哲学史	演習	3-4	2	4	通年	金2	中畑 正志	古代		
5240014	西洋哲学史	演習	3-4	隔週4	4	通年	木4木5	中畑 正志	古代		
5241015	西洋哲学史	演習	3-4	2	2	前期	月3	早瀬 篤	古代		西洋古典学 010
5241016	西洋哲学史	演習	3-4	2	2	後期	月3	早瀬 篤	古代		
5243017	西洋哲学史	演習	3-4	2	2	前期	月5	川添 信介	中世		
5243018	西洋哲学史	演習	3-4	2	2	後期	月5	川添 信介	中世		
5243019	西洋哲学史	演習	3-4	2	2	前期	金5	川添 信介	中世		
5243020	西洋哲学史	演習	3-4	2	2	後期	金5	川添 信介	中世		
5243021	西洋哲学史	演習	3-4	2	2	前期	木2	横田 蔵人	中世		
5243022	西洋哲学史	演習	3-4	2	2	後期	木2	横田 蔵人	中世		
5242023	西洋哲学史	演習	3-4	隔週4	4	通年	木4木5	川添 信介	中世		
5244024	西洋哲学史	演習	3-4	2	4	通年	火5	福谷 茂	近世		
5244025	西洋哲学史	演習	3-4	2	4	通年	水5	福谷 茂	近世		
5244026	西洋哲学史	演習	3-4	隔週4	4	通年	金4金5	福谷 茂	近世		



講義コード 科目コード・連番	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	専修・科目	講義形態									
5244 027	西洋哲学史	演習	3-4	2	4	通年	火4	山脇 雅夫	近世		
5251 028	西洋哲学史	講読	2-4	2	2	前期	木3	西尾 浩二	古代		
5156 030	哲学・西洋哲学史	講読	2-4	2	2	前期	月2	伊藤・出口・中畑・川添・福谷			
9990 002	卒業論文(西洋古代哲学史)		4		12	通年		中畑 正志	古代		
9990 003	卒業論文(西洋中世哲学史)		4		12	通年		川添 信介	中世		
9990 004	卒業論文(西洋近世哲学史)		4		12	通年		福谷 茂	近世		
5331 003	日本哲学史	特殊講義	3-4	2	2	前期	水3	上原 麻有子			
5331 004	日本哲学史	特殊講義	3-4	2	2	後期	水3	上原 麻有子			
5331 005	日本哲学史	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	平子 友長			
5331 006	日本哲学史	特殊講義	3-4	2	2	後期	火3	岡田 勝明			
5331 007	日本哲学史	特殊講義	3-4	2	2	後期	水5	林 晋		◎情報・史科学 004	
5341 008	日本哲学史	演習	3-4	2	2	後期	火4	高坂 史朗			
5340 009	日本哲学史	演習	3-4	2	4	通年	水4	芦名 定道		◎キリスト教学 006	
5340 010	日本哲学史	演習	3-4	2	4	通年	金2	林 晋		◎情報・史科学 011	
5340 011	日本哲学史	演習	4	隔週4	4	通年	金3金4	上原 麻有子			
5351 012	日本哲学史	講読	2-4	2	2	前期	月2	田中 美子			
5351 013	日本哲学史	講読	2-4	2	2	後期	木4	水野 友晴			
9990 005	卒業論文(日本哲学史)		4		12	通年		上原 麻有子			
5430 002	倫理学	特殊講義	3-4	2	4	通年	火3	水谷 雅彦			
5431 007	倫理学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月4	児玉 聡			
5431 003	倫理学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月4	児玉 聡			
5443 004	倫理学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	島内 明文			
5440 005	倫理学	演習	3-4	2	4	通年	火4	水谷・児玉			
5440 006	倫理学	演習	3-4	2	4	通年	金4	水谷・児玉			
5440 008	倫理学	演習	3-4	2	4	通年	水3	児玉 聡			
5443 009	倫理学	演習	3-4	2	2	前期	金5	北尾 宏之			
5443 010	倫理学	演習	3-4	2	2	後期	金5	北尾 宏之			
5443 011	倫理学	演習	3-4	2	2	前期	金3	佐藤 義之		◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部
5443 012	倫理学	演習	3-4	2	2	後期	金3	佐藤 義之		◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部
9990 006	卒業論文(倫理学)		4		12	通年		水谷・児玉			
5530 002	宗教学	特殊講義	3-4	2	4	通年	火4	氣多 雅子			
5530 010	宗教学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水3	芦名 定道		◎キリスト教学 003	
5531 003	宗教学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	安藤 泰至			
5540 004	宗教学	演習	3-4	2	4	通年	火5	氣多 雅子			
5541 005	宗教学	演習	3-4	2	2	後期	水5	杉村 靖彦			
5541 006	宗教学	演習	3-4	2	2	後期	金2	杉村 靖彦			
5540 007	宗教学	演習II	2-4	隔週4	4	通年	金3金4	氣多・杉村			
5551 008	宗教学	講読	2-4	2	2	前期	木4	鶴 真一			
5551 009	宗教学	講読	2-4	2	2	後期	木4	鶴 真一			
9990 007	卒業論文(宗教学)		4		12	通年		氣多・杉村			
5630 002	キリスト教学	特殊講義	3-4	2	4	通年	火5	芦名 定道			
5630 003	キリスト教学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水3	芦名 定道		宗教学 010	
5631 004	キリスト教学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火4	手島 勲矢			
5631 005	キリスト教学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	津田 謙治			
5640 006	キリスト教学	演習	3-4	2	4	通年	水4	芦名 定道		日本哲学史 009	
5641 007	キリスト教学	演習	3-4	2	2	前期	金4	芦名 定道			
5641 008	キリスト教学	演習	3-4	2	2	後期	金4	芦名 定道			
5641 009	キリスト教学	演習	3-4	2	2	前期	水5	方 俊植			
5641 010	キリスト教学	演習	3-4	2	2	後期	水5	堀川 敏寛			

講義コード	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)		
	科目コード・連番	専修・科目								講義形態		
8102	124	キリスト教学	語学	3-4	2	1	前期	火3	手島 勲矢	ヘブライ語(初級)	学部共通科目	西南アジア史学 124
8103	125	キリスト教学	語学	3-4	2	1	後期	火3	手島 勲矢	ヘブライ語(中級)	学部共通科目	西南アジア史学 125
9990	008	卒業論文(キリスト教学)		4		12	通年		芦名 定道			
5730	004	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水2	吉岡 洋			
5730	005	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水3	根立 研介			
5730	006	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	木1	平川 佳世			
5730	007	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	金3	中村 俊春			
5730	008	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	金3	宇佐美 文理		◎中国哲学史 002	
5730	009	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	月3	篠原 資明		◎人間・環境学研究科	
5731	010	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火3	岡田 暁生		◎ドイツ語ドイツ文学 009	
5731	011	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火3	岡田 暁生		◎ドイツ語ドイツ文学 010	
5730	012	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	金2	稲本 泰生			
5731	013	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木3	加須屋 誠			
5731	014	美学美術史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木3	安田 篤生			
5731	015	美学美術史学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	小峯 和明		◎国語学国文学 013	
5740	016	美学美術史学	演習I	3-4	2	4	通年	火2	中村・根立・平川			
5742	017	美学美術史学	演習II	3-4	2	4	通年	木2	中村・平川			
5742	018	美学美術史学	演習II	3-4	2	4	通年	水5	平川 佳世			
5745	019	美学美術史学	演習II	3-4	2	2	前期	月2	永井 隆則			
5745	020	美学美術史学	演習II	3-4	2	2	後期	月2	永井 隆則			
5745	024	美学美術史学	演習II	3-4	2	2	前期	木4	西 欣也			
5745	025	美学美術史学	演習II	3-4	2	2	後期	月4	深谷 訓子			
5744	022	美学美術史学	演習III	3-4	2	4	通年	金4	中村・根立・吉岡・平川			
5751	023	美学美術史学	講読	2-4	2	4	通年	木2	田中・高井	和書講読		
9990	009	卒業論文(美学美術史学)		4		12	通年		中村・根立・吉岡・平川			

【東洋文化学系】

講義コード	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番									
1301	001	系共通科目(国語学)	講義	2-4	2	4	通年	木2	大槻 信		
1303	002	系共通科目(国文学)	講義	2-4	2	4	通年	金1	金光 桂子		
1402	001	系共通科目(中国語学)	講義	2-4	2	2	前期	水5	木津 祐子		
1404	002	系共通科目(中国語学)	講義	2-4	2	2	後期	水5	木津 祐子		
1406	003	系共通科目(中国文学)	講義	2-4	2	2	前期	火5	緑川 英樹		
1408	004	系共通科目(中国文学)	講義	2-4	2	2	後期	火5	緑川 英樹		
1501	001	系共通科目(中国哲学史)	講義	2-4	2	4	通年	水2	宇佐美 文理		
1601	001	系共通科目(サンスクリット語学サンスクリット文学)	講義	1-4	2	4	通年	月3	横地・藤井		
1701	002	系共通科目(インド哲学史)	講義	1-4	2	4	通年	水4	Acharya・志田		
1801	001	系共通科目(仏教学)	講義	1-4	2	4	通年	月2	宮崎 泉		
1330	003	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水2	木田 章義		
1330	004	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	4	通年	金2	大谷 雅夫		
1331	005	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	水4	須田 千里	二十世紀学 005	◎人間・環境学研究科 ◎総合人間学部
1331	006	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水4	須田 千里	二十世紀学 006	◎人間・環境学研究科 ◎総合人間学部
1331	007	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火3	佐野 宏	◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部
1331	008	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火3	佐野 宏	◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部
1331	009	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金4	清水 康次	二十世紀学 007	
1331	010	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金4	清水 康次	二十世紀学 008	
1331	011	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月2	岡島 昭浩		
1331	012	国語学国文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月2	岡島 昭浩		
1331	013	国語学国文学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	小峯 和明	美学美術史学 015	
1340	014	国語学国文学	演習	3-4	2	4	通年	金3	木田 章義		
1340	015	国語学国文学	演習	3-4	2	4	通年	火2	大谷 雅夫		
1340	016	国語学国文学	演習	3-4	2	4	通年	金5	大槻 信		
1340	017	国語学国文学	演習	3-4	2	4	通年	月4	金光 桂子		
1340	018	国語学国文学	演習	3-4	2	4	通年	火4	森 眞理子		
1341	019	国語学国文学	演習	3-4	2	2	後期	木3	岩坪 健		
1345	020	国語学国文学	卒論演習	4	2	4	通年	月1	木田・大谷・大槻・金光		
1350	021	国語学国文学	講読	2-4	2	4	通年	木4	関本 真乃		
9990	010	卒業論文(国語学国文学)		4		12	通年		木田・大谷・大槻・金光		
1431	005	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火1	井波 陵一	中国哲学史 005	
1431	006	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火1	井波 陵一	中国哲学史 006	
1431	007	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月5	金 文京		
1431	008	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月5	金 文京		
1431	009	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木1	池田 巧		
1431	010	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木1	池田 巧		
1431	011	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火2	道坂 昭廣	◎人間・環境学研究科	
1431	012	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火2	道坂 昭廣	◎人間・環境学研究科	
1431	013	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水3	貴志 俊彦	東洋史学 013 現代史学 016	二十世紀学 017
1431	014	中国語学中国文学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	杉村 博文		
1431	015	中国語学中国文学	特殊講義	2-4	2	2	前期	月2	平田 昌司		
1431	016	中国語学中国文学	特殊講義	2-4	2	2	後期	月2	平田 昌司		
1447	017	中国語学中国文学	演習	2-4	2	2	前期	水3	平田 昌司	語学演習	
1449	018	中国語学中国文学	演習	3-4	2	2	前期	金2	緑川 英樹	文学演習	
1449	019	中国語学中国文学	演習	3-4	2	2	後期	金2	緑川 英樹	文学演習	
1447	020	中国語学中国文学	演習	3-4	2	2	前期	木2	木津 祐子	語学演習	
1447	021	中国語学中国文学	演習	3-4	2	2	後期	木2	木津 祐子	語学演習	
1451	022	中国語学中国文学	講読	2-4	2	2	前期	金5	平田 昌司		

講義コード	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番								専修・科目	講義形態
1451	023	中国語学中国文学	講読	2-4	2	2	後期	金5	平田 昌司		
1445	024	中国語学中国文学	卒論演習	4	隔週2	2	通年	水2	平田・木津・緑川		
1463	025	中国語学中国文学	外国人実習	4	2	1	前期	木4	王 宜瑗		
1463	026	中国語学中国文学	外国人実習	4	2	1	後期	木4	王 宜瑗		
1463	027	中国語学中国文学	外国人実習	3-4	2	1	前期	木3	王 宜瑗		
1463	028	中国語学中国文学	外国人実習	3-4	2	1	後期	木3	王 宜瑗		
8189	157	中国語学中国文学	語学	2-4	60	2	前期	不定	平田 昌司	世界展開力 アジア研究(中国南京研修)	学部共通科目
9990	011	卒業論文(中国語学中国文学)		4		12	通年		平田・木津・緑川		
1530	002	中国哲学史	特殊講義	3-4	2	4	通年	金3	宇佐美 文理		美学美術史学 008
1530	003	中国哲学史	特殊講義	3-4	2	4	通年	火4	船山 徹		◎仏教学 003
1530	004	中国哲学史	特殊講義	3-4	2	4	通年	木2	武田 時昌		
1531	005	中国哲学史	特殊講義	3-4	2	2	前期	火1	井波 陵一		◎中国語学中国文学 005
1531	006	中国哲学史	特殊講義	3-4	2	2	後期	火1	井波 陵一		◎中国語学中国文学 006
1540	007	中国哲学史	演習	3-4	2	4	通年	水5	宇佐美 文理		
1540	008	中国哲学史	演習	3-4	2	4	通年	火2	吉本 道雅		◎東洋史学 020
1540	009	中国哲学史	演習	3-4	2	4	通年	水3	木下 鉄矢		
1540	010	中国哲学史	演習	3-4	2	4	通年	月3	古勝 隆一		
1541	013	中国哲学史	演習	3-4	2	2	前期	金4	金 志玟		◎人間・環境学研究科 ◎総合人間学部
1541	014	中国哲学史	演習	3-4	2	2	後期	金4	金 志玟		◎人間・環境学研究科 ◎総合人間学部
1550	011	中国哲学史	講読	2-4	2	4	通年	金5	宇佐美 文理		
9990	012	卒業論文(中国哲学史)		4		12	通年		宇佐美 文理		
1633	003	インド古典学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木2	横地 優子		
1633	004	インド古典学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月5	Diwakar Acharya		
1633	005	インド古典学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水3	VASUDEVA, Somdev		
1633	006	インド古典学	特殊講義	3-4	2	2	前期	水5	藤井 正人		
1633	007	インド古典学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水5	藤井 正人		
1633	008	インド古典学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火5	山下 勤		
1633	009	インド古典学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金2	スダン・シャキヤ		
1633	010	インド古典学	特殊講義	2-4	2	2	後期	火5	Sarma, S.R.		
1633	011	インド古典学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金3	堂山 英次郎		
1633	012	インド古典学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木4	山口 周子		
1633	013	インド古典学	特殊講義	2-4	30	2	前期	集中	柳 和良		
1643	014	インド古典学	演習	3-4	2	4	通年	火1	横地・Acharya・藤井・VASUDEVA		
1644	015	インド古典学	演習	3-4	2	2	前期	水2	横地 優子		
1644	016	インド古典学	演習	3-4	2	2	後期	木2	横地 優子		
1644	017	インド古典学	演習	3-4	2	2	前期	火2	志田 泰盛		
1644	018	インド古典学	演習	3-4	2	2	後期	火2	Diwakar Acharya		
1644	019	インド古典学	演習	3-4	2	2	前期	月2	VASUDEVA, Somdev		
1644	020	インド古典学	演習	3-4	2	2	後期	月2	VASUDEVA, Somdev		
1643	021	インド古典学	演習	3-4	2	4	通年	木5	Diwakar Acharya		
1644	022	インド古典学	演習	2-4	2	2	前期	木4	山口 周子		仏教学 010
1644	023	インド古典学	演習	2-4	2	2	後期	月5	河崎 豊		仏教学 011
1644	024	インド古典学	演習	3-4	2	2	前期	金4	VASUDEVA, Somdev		
1644	025	インド古典学	演習	3-4	2	2	後期	金4	VASUDEVA, Somdev		
1653	026	インド古典学	講読	2-4	2	2	前期	月4	横地 優子		
1653	027	インド古典学	講読	2-4	2	2	後期	月4	藤井 正人		
1653	028	インド古典学	講読	3-4	2	2	前期	木3	VASUDEVA, Somdev		仏教学 012

講義コード		科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
科目コード	連番	専修・科目	講義形態									
1653	029	インド古典学	講読	3-4	2	2	後期	木3	VASUDEVA, Somdev		仏教学 013	
1653	030	インド古典学	講読	3-4	2	2	前期	金5	デロシュ マルク・ヘンリ		◎仏教学 014	
1653	031	インド古典学	講読	3-4	2	2	後期	金5	デロシュ マルク・ヘンリ		◎仏教学 015	
8046	122	インド古典学	語学	1-4	4	2	前期	月5木5	VASUDEVA, Somdev	サンスクリット(4時間前期コース)	学部共通科目	仏教学 122
8046	123	インド古典学	語学	1-4	4	2	後期	月5木5	VASUDEVA, Somdev	サンスクリット(4時間後期コース)	学部共通科目	仏教学 123
8062	121	インド古典学	語学	1-4	2	2	通年	木4	置田 清和	サンスクリット(2時間コース)	学部共通科目	仏教学 121 西南アジア史学 121
8104	135	インド古典学	語学	1-4	2	2	通年	金5	小松 久恵	ヒンディー語(初級)	学部共通科目 アジア・アフリカ地域研究研究科	西南アジア史学 135
8105	136	インド古典学	語学	2-4	2	2	通年	火3	西岡 美樹	ヒンディー語(中級)	学部共通科目	◎アジア・アフリカ地域研究研究科
9990	013	卒業論文(インド古典学)		4		12	通年		横地 優子			
1830	002	仏教学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水4	宮崎 泉			
1830	003	仏教学	特殊講義	3-4	2	4	通年	火4	船山 徹		中国哲学史 003	
1830	004	仏教学	特殊講義	3-4	2	4	通年	木5	室寺 義仁			
1840	005	仏教学	演習	3-4	2	4	通年	火3	宮崎 泉			
1840	006	仏教学	演習	3-4	2	4	通年	水5	熊谷 誠慈			
1841	007	仏教学	演習	3-4	2	2	後期	金2	志賀 浄邦			
1841	008	仏教学	演習	3-4	2	2	前期	月3	加納 和雄			
1841	009	仏教学	演習	3-4	2	2	後期	月3	佐藤 直実			
1841	010	仏教学	演習	2-4	2	2	前期	木4	山口 周子		◎インド古典学 022	
1841	011	仏教学	演習	2-4	2	2	後期	月5	河崎 豊		◎インド古典学 023	
1851	012	仏教学	講読I	3-4	2	2	前期	木3	VASUDEVA, Somdev		◎インド古典学 028	
1851	013	仏教学	講読I	3-4	2	2	後期	木3	VASUDEVA, Somdev		◎インド古典学 029	
1853	014	仏教学	講読II	3-4	2	2	前期	金5	デロシュ マルク・ヘンリ		インド古典学 030	
1853	015	仏教学	講読II	3-4	2	2	後期	金5	デロシュ マルク・ヘンリ		インド古典学 031	
8078	127	仏教学	語学	2-4	2	2	通年	月1	高橋 慶治	チベット語(初級)	学部共通科目	
8079	128	仏教学	語学	3-4	2	2	通年	金3	宮崎 泉	チベット語(中級)	学部共通科目	
8046	122	仏教学	語学	1-4	4	2	前期	月5木5	VASUDEVA, Somdev	サンスクリット(4時間前期コース)	学部共通科目	インド古典学 122
8046	123	仏教学	語学	1-4	4	2	後期	月5木5	VASUDEVA, Somdev	サンスクリット(4時間後期コース)	学部共通科目	インド古典学 123
8062	121	仏教学	語学	1-4	2	2	通年	木4	置田 清和	サンスクリット(2時間コース)	学部共通科目	インド古典学 121 西南アジア史学 121
9990	014	卒業論文(仏教学)		4		12	通年		宮崎 泉			

【西洋文化学系】

講義コード 科目コード・連番	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)
	専修・科目	講義形態								
3100001	系共通科目(西洋古典学)	講義	1-4	2	2	前期	金5	チエシュコ、マルティン		
3102002	系共通科目(西洋古典学)	講義	1-4	2	2	後期	金5	高橋 宏幸		
3202001	系共通科目(スラブ語学スラブ文学)	講義	1-4	2	2	前期	水5	佐藤 昭裕		
3204002	系共通科目(スラブ語学スラブ文学)	講義	1-4	2	2	後期	水5	佐藤 昭裕		
3302001	系共通科目(ドイツ語学ドイツ文学)	講義	1-4	2	2	前期	金2	松村 朋彦		
3304002	系共通科目(ドイツ語学ドイツ文学)	講義	1-4	2	2	後期	金2	松村 朋彦		
3403001	系共通科目(英文学)	講義	2-4	2	4	通年	火2	佐々木 徹		
3401002	系共通科目(英語学)	講義	1-4	2	4	通年	水4	家入 葉子		
3501001	系共通科目(アメリカ文学)	講義	2-4	2	4	通年	火1	森 慎一郎		
3601001	系共通科目(フランス語学)	講義	2-4	2	4	通年	水2	田口 紀子		
3604002	系共通科目(フランス文学)	講義	2-4	2	2	前期	木2	永盛 克也		
3606003	系共通科目(フランス文学)	講義	2-4	2	2	後期	木2	増田 眞		
3701001	系共通科目(イタリア語学イタリア文学)	講義	1-4	2	4	通年	火2	天野 恵		
3902001	系共通科目(西洋文学入門)	講義	1-2	2	2	前期	木5	高橋・佐藤・松村・廣田・若島・増田・天野		
3130003	西洋古典学	特殊講義	3-4	2	4	通年	火4	高橋 宏幸		
3130004	西洋古典学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水3	チエシュコ、マルティン		
3131005	西洋古典学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	西村 賀子		
3140006	西洋古典学	演習	3-4	2	4	通年	木2	高橋 宏幸		
3140007	西洋古典学	演習	3-4	2	4	通年	金4	チエシュコ、マルティン		
3141008	西洋古典学	演習	3-4	2	2	前期	月5	平山 晃司		
3141009	西洋古典学	演習	3-4	2	2	後期	火2	山下 修一		西洋史学 010
3141010	西洋古典学	演習	3-4	2	2	前期	月3	早瀬 篤		◎西洋哲学史 015
3151011	西洋古典学	講読	2-4	2	2	前期	水2	山下 修一		
3151012	西洋古典学	講読	2-4	2	2	後期	水2	チエシュコ、マルティン		
3151013	西洋古典学	講読	2-4	2	2	前期	水4	高橋 宏幸		
3151014	西洋古典学	講読	2-4	2	2	後期	水4	高橋 宏幸		
8050111	西洋古典学	語学	2-4	2	2	通年	金3	早瀬 篤	ギリシア語(2時間コース)	学部共通科目
8051112	西洋古典学	語学	2-4	4	4	通年	月1木1	広川 直幸	ギリシア語(4時間コース)	学部共通科目
8052113	西洋古典学	語学	2-4	2	2	通年	木3	堀川 宏	ラテン語(2時間コース)	学部共通科目
8053114	西洋古典学	語学	2-4	4	4	通年	月3金2	佐藤 義尚	ラテン語(4時間コース)	学部共通科目
9990015	卒業論文(西洋古典学)		4		12	通年		高橋 宏幸		
3231003	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月2	佐藤 昭裕		
3231004	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月2	佐藤 昭裕		
3230005	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	3-4	2	4	通年	月3	服部 文昭		◎人間・環境学研究所 ◎総合人間学部
3231006	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木4	楯岡 求美		
3231007	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月5	Grecko, Valerij		
3241008	スラブ語学スラブ文学	演習	3-4	2	2	前期	水2	佐藤 昭裕		
3241009	スラブ語学スラブ文学	演習	3-4	2	2	後期	水2	佐藤 昭裕		
3241010	スラブ語学スラブ文学	演習	3-4	2	2	前期	月4	佐藤 昭裕		
3241011	スラブ語学スラブ文学	演習	3-4	2	2	後期	月4	佐藤 昭裕		
3241012	スラブ語学スラブ文学	演習	3-4	2	2	後期	木5	Grecko, Valerij		
3251013	スラブ語学スラブ文学	講読	2-4	2	2	前期	金2	佐藤 昭裕		
3251014	スラブ語学スラブ文学	講読	2-4	2	2	後期	金2	佐藤 昭裕		
3260015	スラブ語学スラブ文学	外国人実習	3-4	2	2	通年	木3	Vinogradova Svetlana		
8082130	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	2	通年	金4	佐藤 昭裕	ポーランド語(初級I)	学部共通科目
8033132	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	2	通年	火3	Bogna Sasaki	ポーランド語(初級II)	学部共通科目
8086133	スラブ語学スラブ文学	語学	1-4	2	2	通年	水4	Bogna Sasaki	ポーランド語(中級II)	学部共通科目

講義コード	科目名		回数	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード・連番	専修・科目								講義形態	
9990	016	卒業論文(スラブ語学スラブ文学)	4		12	通年		佐藤 昭裕			
3331	003	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月4	奥田 敏広	◎人間・環境学研究所	◎総合人間学部
3331	004	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月4	奥田 敏広	◎人間・環境学研究所	
3331	005	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金4	河崎 靖	◎総合人間学部	
3331	006	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金4	河崎 靖	◎人間・環境学研究所	総合人間学部
3331	007	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木3	Dieter Trauden		
3331	008	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木3	Dieter Trauden		
3331	009	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火3	岡田 暁生	美学美術史学 010	
3331	010	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火3	岡田 暁生	美学美術史学 011	
3341	011	ドイツ語学ドイツ文学	演習I	3-4	2	2	前期	水2	松村 朋彦		
3341	012	ドイツ語学ドイツ文学	演習I	3-4	2	2	後期	水2	松村 朋彦		
3343	013	ドイツ語学ドイツ文学	演習II	3-4	2	2	前期	火2	松村 朋彦		
3343	014	ドイツ語学ドイツ文学	演習II	3-4	2	2	後期	火2	松村 朋彦		
3345	015	ドイツ語学ドイツ文学	演習III	3-4	2	2	前期	金5	松村 朋彦		
3345	016	ドイツ語学ドイツ文学	演習III	3-4	2	2	後期	金5	松村 朋彦		
3351	017	ドイツ語学ドイツ文学	講読	2-4	2	2	前期	木4	加賀 ラビ		
3351	018	ドイツ語学ドイツ文学	講読	2-4	2	2	後期	木4	加賀 ラビ		
3351	019	ドイツ語学ドイツ文学	講読	2-4	2	2	前期	水3	西尾 宇広		
3351	020	ドイツ語学ドイツ文学	講読	2-4	2	2	後期	水3	西尾 宇広		
3361	021	ドイツ語学ドイツ文学	外国人実習	2-4	2	1	前期	月2	Dieter Trauden		
3361	022	ドイツ語学ドイツ文学	外国人実習	2-4	2	1	後期	月2	Dieter Trauden		
9990	017	卒業論文(ドイツ語学ドイツ文学)	4		12	通年		松村朋彦			
3430	003	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	4	通年	月4	廣田 篤彦	アメリカ文学 004	
3431	004	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火4	若島 正	◎アメリカ文学 002	
3431	005	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火4	森 慎一郎	◎アメリカ文学 003	
3431	006	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木2	谷口 一美	アメリカ文学 006 ◎人間・環境学研究所	言語学 009
3431	007	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木2	谷口 一美	アメリカ文学 007 ◎人間・環境学研究所	言語学 010
3431	008	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木3	前川 玲子	◎アメリカ文学 005	◎人間・環境学研究所
3431	009	英語学英文学	特殊講義	2-4	2	2	前期	金2	西村 秀夫	アメリカ文学 013	
3431	010	英語学英文学	特殊講義	2-4	2	2	後期	金2	西村 秀夫	アメリカ文学 014	
3431	011	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	水2	服部 典之	アメリカ文学 015	
3431	012	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水2	服部 典之	アメリカ文学 016	
3431	013	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月2	林 以知郎	◎アメリカ文学 008	
3431	014	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月2	林 以知郎	◎アメリカ文学 009	
3431	015	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火3	西谷 拓哉	◎アメリカ文学 010	
3431	016	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火3	西谷 拓哉	◎アメリカ文学 011	
3431	017	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金2	藤井 光	◎アメリカ文学 012	
3431	018	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木1	Michael Jamentz	アメリカ文学 017	
3431	019	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木1	Michael Jamentz	アメリカ文学 018	
3431	020	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月3	Gallimore, Daniel	アメリカ文学 019	
3431	021	英語学英文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月3	Gallimore, Daniel	アメリカ文学 020	
3431	022	英語学英文学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	長畑 明利	◎アメリカ文学 021	
3432	036	英語学英文学	特殊講義	2-4	15	1	前期	集中	Jennifer Smith	世界展開力	アメリカ文学 035
3440	023	英語学英文学	演習I	2-4	2	4	通年	水5	家入 葉子	アメリカ文学 023	
3440	024	英語学英文学	演習I	3-4	2	4	通年	金3	廣田 篤彦	アメリカ文学 024	
3440	025	英語学英文学	演習I	3-4	2	4	通年	月5	森 慎一郎	◎アメリカ文学 022	
3442	026	英語学英文学	演習II	4	2	4	通年	水3	佐々木 徹		
3451	027	英語学英文学	講読	2-4	2	2	後期	金4	佐々木 徹	アメリカ文学 027	

講義コード	科目名		回数	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番								専修・科目	講義形態
3451	028	英語学英文学	講読	2-4	2	2	前期	金4	廣田 篤彦		アメリカ文学 028
3450	029	英語学英文学	講読	2-4	2	4	通年	火5	若島 正		◎アメリカ文学 026
3451	030	英語学英文学	講読	2-4	2	2	前期	水3	桂山 康司		アメリカ文学 029 ◎総合人間学部
3451	031	英語学英文学	講読	2-4	2	2	後期	水3	桂山 康司		アメリカ文学 030 ◎総合人間学部
3461	032	英語学英文学	外国人実習	2-4	2	1	前期	木2	Catherine Ludvik		アメリカ文学 033
3461	033	英語学英文学	外国人実習	2-4	2	1	後期	木2	Catherine Ludvik		アメリカ文学 034
3461	034	英語学英文学	外国人実習	2-4	2	1	前期	金1	Michael Jamentz		◎アメリカ文学 031
3461	035	英語学英文学	外国人実習	2-4	2	1	後期	金1	Michael Jamentz		◎アメリカ文学 032
9990	018	卒業論文(英語学英文学)		4		12	通年		佐々木 徹 他		
3531	002	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火4	若島 正		英語学英文学 004
3531	003	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火4	森 慎一郎		英語学英文学 005
3530	004	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	4	通年	月4	廣田 篤彦		◎英語学英文学 003
3531	005	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木3	前川 玲子		英語学英文学 008 ◎人間・環境学研究科
3531	006	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木2	谷口 一美		◎英語学英文学 006 言語学 009 ◎人間・環境学研究科
3531	007	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木2	谷口 一美		◎英語学英文学 007 言語学 010 ◎人間・環境学研究科
3531	008	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月2	林 以知郎		英語学英文学 013
3531	009	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月2	林 以知郎		英語学英文学 014
3531	010	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火3	西谷 拓哉		英語学英文学 015
3531	011	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火3	西谷 拓哉		英語学英文学 016
3531	012	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金2	藤井 光		英語学英文学 017
3531	013	アメリカ文学	特殊講義	2-4	2	2	前期	金2	西村 秀夫		◎英語学英文学 009
3531	014	アメリカ文学	特殊講義	2-4	2	2	後期	金2	西村 秀夫		◎英語学英文学 010
3531	015	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	水2	服部 典之		◎英語学英文学 011
3531	016	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水2	服部 典之		◎英語学英文学 012
3531	017	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木1	Michael Jamentz		◎英語学英文学 018
3531	018	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木1	Michael Jamentz		◎英語学英文学 019
3531	019	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月3	Gallimore, Daniel		◎英語学英文学 020
3531	020	アメリカ文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月3	Gallimore, Daniel		◎英語学英文学 021
3531	021	アメリカ文学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	長畑 明利		英語学英文学 022
3532	035	アメリカ文学	特殊講義	2-4	15	1	前期	集中	Jennifer Smith	世界展開力	◎英語学英文学 036
3540	022	アメリカ文学	演習I	3-4	2	4	通年	月5	森 慎一郎		英語学英文学 025
3540	023	アメリカ文学	演習I	2-4	2	4	通年	水5	家入 葉子		◎英語学英文学 023
3540	024	アメリカ文学	演習I	3-4	2	4	通年	金3	廣田 篤彦		◎英語学英文学 024
3542	025	アメリカ文学	演習II	4	2	4	通年	水5	若島 正		
3550	026	アメリカ文学	講読	2-4	2	4	通年	火5	若島 正		英語学英文学 029
3551	027	アメリカ文学	講読	2-4	2	2	後期	金4	佐々木 徹		◎英語学英文学 027
3551	028	アメリカ文学	講読	2-4	2	2	前期	金4	廣田 篤彦		◎英語学英文学 028
3551	029	アメリカ文学	講読	2-4	2	2	前期	水3	桂山 康司		◎英語学英文学 030 ◎総合人間学部
3551	030	アメリカ文学	講読	2-4	2	2	後期	水3	桂山 康司		◎英語学英文学 031 ◎総合人間学部
3561	031	アメリカ文学	外国人実習	2-4	2	1	前期	金1	Michael Jamentz		英語学英文学 034
3561	032	アメリカ文学	外国人実習	2-4	2	1	後期	金1	Michael Jamentz		英語学英文学 035
3561	033	アメリカ文学	外国人実習	2-4	2	1	前期	木2	Catherine Ludvik		◎英語学英文学 032
3561	034	アメリカ文学	外国人実習	2-4	2	1	後期	木2	Catherine Ludvik		◎英語学英文学 033
9990	019	卒業論文(アメリカ文学)		4		12	通年		若島 正 他		
3630	004	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水4	田口 紀子		
3631	005	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月4	増田 眞		
3631	006	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月4	増田 眞		
3631	007	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月3	永盛 克也		
3631	008	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月3	永盛 克也		



講義コード 科目コード・連番	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	専修・科目	講義形態									
3631009	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木3	エリック・アヴォカ			
3631010	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木3	エリック・アヴォカ			
3630011	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水5	大浦 康介			
3630012	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	4	通年	金2	王寺 賢太		西洋史学 005	
3630013	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水3	稲垣 直樹		◎総合人間学部	
3631014	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火2	嶋崎 陽一			
3631015	フランス語学フランス文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火2	嶋崎 陽一			
3640016	フランス語学フランス文学	演習I	3-4	2	4	通年	月2	増田・永盛			
3642017	フランス語学フランス文学	演習II	4	2	4	通年	火3	田口 紀子			
3644018	フランス語学フランス文学	演習	3-4	2	4	通年	金3	増田 眞			
3645019	フランス語学フランス文学	演習	3-4	2	2	前期	木4	エリック・アヴォカ			
3645020	フランス語学フランス文学	演習	3-4	2	2	後期	木4	エリック・アヴォカ			
3651021	フランス語学フランス文学	講読	2-4	2	2	前期	金4	永盛 克也			
3651022	フランス語学フランス文学	講読	2-4	2	2	後期	金4	永盛 克也			
3651023	フランス語学フランス文学	講読	2-4	2	2	後期	火2	多賀 茂		◎人間・環境学研究所	◎総合人間学部
3651024	フランス語学フランス文学	講読	2-4	2	2	前期	水4	西山 教行		◎総合人間学部	
3651025	フランス語学フランス文学	講読	2-4	2	2	前期	金5	塩塚 秀一郎		◎総合人間学部	
3651026	フランス語学フランス文学	講読	2-4	2	2	後期	金5	塩塚 秀一郎		◎総合人間学部	
3651027	フランス語学フランス文学	講読	2-4	2	2	前期	木3	中村 翠			
3651028	フランス語学フランス文学	講読	2-4	2	2	後期	木3	吉川 順子			
3660029	フランス語学フランス文学	外国人実習	3-4	2	2	通年	火4	エリック・アヴォカ			
9990020	卒業論文(フランス語学フランス文学)		4		12	通年		田口 紀子 他			
3730002	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	3-4	2	4	通年	金4	天野 恵			
3730003	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	3-4	2	4	通年	火2	村瀬 有司			
3730004	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水3	ダニエラ・シャロム・ヴァーガータ			
3730005	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水5	ダニエラ・シャロム・ヴァーガータ			
3731006	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月2	内田 健一			
3731007	イタリア語学イタリア文学	特殊講義	3-4	30	2	後期	集中	鈴木 信五			
3740008	イタリア語学イタリア文学	演習	3-4	隔週4	4	通年	木3木4	天野・村瀬・ヴァーガータ			
3740009	イタリア語学イタリア文学	演習	3-4	2	4	通年	火4	天野 恵			
3740010	イタリア語学イタリア文学	演習	3-4	2	4	通年	金2	村瀬 有司			
3750011	イタリア語学イタリア文学	講読	2-4	2	4	通年	水4	村瀬 有司	伊書講読	西洋史学 023	基礎現代文化学系 011
3750012	イタリア語学イタリア文学	講読	2-4	2	4	通年	木5	河合 成雄			
3760013	イタリア語学イタリア文学	外国人実習	3-4	2	2	通年	火3	ダニエラ・シャロム・ヴァーガータ			
8054115	イタリア語学イタリア文学	語学	2-4	2	2	通年	火4	長谷川 信弥	スペイン語(初級)	学部共通科目	
8055116	イタリア語学イタリア文学	語学	2-4	2	2	通年	火5	長谷川 信弥	スペイン語(中級)	学部共通科目	
8057117	イタリア語学イタリア文学	語学	2-4	4	4	通年	火3金2	菅野 類	イタリア語(初級4時間コース)	学部共通科目	
8059118	イタリア語学イタリア文学	語学	2-4	2	2	通年	火5	ダニエラ・シャロム・ヴァーガータ	イタリア語(中級)	学部共通科目	
9990021	卒業論文(イタリア語学イタリア文学)		4		12	通年		天野 恵			

【歴史基礎文化学系】

講義コード	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)		
	科目コード・連番	専修・科目										講義形態
6601	001	系共通科目(日本史学)	講義	2-4	2	4	通年	火1	吉川 真司			
6701	001	系共通科目(東洋史学)	講義	2-4	2	4	通年	金2	吉本 道雅			
6801	001	系共通科目(西南アジア史学)	講義	2-4	2	4	通年	火3	井谷 鋼造			
6901	001	系共通科目(西洋史学)	講義	2-4	2	4	通年	木1	小山 哲			
7001	001	系共通科目 (考古学)	講義	1-4	2	4	通年	火1	上原 真人			
7003	***	系共通科目 (先史学)	講義	1-4	2	4	通年		開講せず			
6630	002	日本史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水1	横田 冬彦			
6630	003	日本史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	火3	吉川 真司			
6630	004	日本史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	金2	上島 享			
6631	005	日本史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金4	谷川 穰			
6630	006	日本史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	木2	西山 良平	◎人間・環境学研究所	◎総合人間学部	
6630	007	日本史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	木3	元木 泰雄	◎人間・環境学研究所	◎総合人間学部	
6630	008	日本史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	火4	岩城 卓二			
6630	009	日本史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	月3	岩崎 奈緒子			
6631	010	日本史学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木4	鈴木 栄樹	現代史学 013		
6631	011	日本史学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金4	飯塚 一幸	現代史学 012		
6631	012	日本史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水5	安国 良一			
6631	013	日本史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金5	倉本 一宏			
6631	014	日本史学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	川岡 勉			
6631	015	日本史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月1	松田 利彦	◎現代史学 008	二十世紀学 010	
6630	016	日本史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水2	高木 博志	◎現代史学 006		
6631	017	日本史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金3	高橋 照彦	◎考古学 010		
6632	033	日本史学	特殊講義	3-4	15	1	前期	集中	王 新生	世界展開力		
6640	018	日本史学	演習I	3-4	2	4	通年	月2	横田 冬彦			
6640	019	日本史学	演習I	3-4	2	4	通年	水2	吉川 真司			
6640	020	日本史学	演習I	3-4	2	4	通年	火2	上島 享			
6640	021	日本史学	演習I	3-4	2	4	通年	月4	谷川 穰			
6642	022	日本史学	演習II	4	2	4	通年	木1	横田・吉川・上島・谷川			
6646	023	日本史学	基礎演習	2-4	2	4	通年	木5	横田・吉川・上島・谷川			
6650	024	日本史学	講読	2-4	2	4	通年	水5	吉川 真司			
6651	025	日本史学	講読	2-4	2	2	前期	金3	黒岩 康博			
6651	026	日本史学	講読	2-4	2	2	後期	金3	谷川 穰			
6651	027	日本史学	講読	2-4	2	2	前期	水1	永原 陽子	英書講読	◎基礎現代文化学系 005	西洋史学 019
6651	028	日本史学	講読	2-4	2	2	後期	水1	伊藤 和行	英書講読	◎基礎現代文化学系 006	西洋史学 020
6660	029	日本史学	実習	3-4	4	2	前期	水3水4	谷川・山田			
6660	030	日本史学	実習	4	4	2	前期	水3水4	谷川・山田			
6660	031	日本史学	実習	3-4	4	2	後期	水3水4	上島・山田			
6660	032	日本史学	実習	4	4	2	後期	水3水4	上島・山田			
9990	022	卒業論文(日本史学)		4		12	通年		横田 冬彦 他			
6730	002	東洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	月5	杉山 正明			
6730	003	東洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	金4	吉本 道雅			
6731	028	東洋史学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月3	中砂 明德			
6731	029	東洋史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月3	中砂 明德			
6730	005	東洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	火1	高嶋 航			
6730	006	東洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	金1	松浦 茂	◎総合人間学部	◎人間・環境学研究所(前期)	
6730	007	東洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	火3	浅原 達郎			
6730	008	東洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水1	岩井 茂樹			

講義コード	科目名		回数	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード・連番	専修・科目								講義形態	
6730009	東洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	金5	富谷 至			
6730010	東洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	月2	石川 禎浩		◎現代史学 005	二十世紀学 004
6730011	東洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	木1	矢木 毅			
6730012	東洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	木2	辻 正博		◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部
6731013	東洋史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水3	貴志 俊彦		◎中国語学中国文学 013 現代史学 016	二十世紀学 017
6731014	東洋史学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金2	木田 知生			
6731015	東洋史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金2	木田 知生			
6731016	東洋史学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木5	松浦 典弘			
6731017	東洋史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木5	松浦 典弘			
6731018	東洋史学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	林 謙一郎			
6740019	東洋史学	演習I	3-4	2	4	通年	月2	杉山 正明			
6742020	東洋史学	演習II	3-4	2	4	通年	火2	吉本 道雅		中国哲学史 008	
6744021	東洋史学	演習III	3-4	2	4	通年	火5	中砂 明德			
6746022	東洋史学	演習IV	3-4	2	4	通年	火3	高嶋 航			
6748023	東洋史学	演習	3-4	2	4	通年	水2	水野 直樹		◎現代史学 020	二十世紀学 016
6748024	東洋史学	演習	3-4	2	4	通年	木2	村上 衛		◎現代史学 019	二十世紀学 022
6750025	東洋史学	講読	2-4	2	4	通年	水4	中砂 明德			
6750026	東洋史学	講読	2-4	2	4	通年	月1	高嶋 航			
6761027	東洋史学	実習	3-4	2	2	通年	水3	杉山・吉本・中砂・高嶋			
9990023	卒業論文(東洋史学)		4		12	通年		杉山 正明 他			
6830002	西南アジア史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水5	稲葉 穰			
6831003	西南アジア史学	特殊講義	3-4	2	2	前期	水5	磯貝 健一			
6831004	西南アジア史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水5	磯貝 健一			
6831005	西南アジア史学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金4	真下 裕之			
6831006	西南アジア史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火5	渡邊 千香子			
6831007	西南アジア史学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	新井 政美		現代史学 014	
6840008	西南アジア史学	演習I	3-4	2	4	通年	火4	井谷 鋼造			
6842009	西南アジア史学	演習II	3-4	2	4	通年	月4	井谷 鋼造			
6842010	西南アジア史学	演習II	3-4	2	4	通年	月3	久保 一之			
6844011	西南アジア史学	演習II	3-4	2	2	前期	木5	谷口 淳一			
6844012	西南アジア史学	演習II	3-4	2	2	後期	木5	谷口 淳一			
6844013	西南アジア史学	演習II	3-4	2	2	前期	木1	吉田 豊		◎言語学 023	
6844014	西南アジア史学	演習II	3-4	2	2	後期	木1	吉田 豊		◎言語学 024	
6850015	西南アジア史学	講読	3-4	2	4	通年	金2	井谷 鋼造			
6850016	西南アジア史学	講読	3-4	2	4	通年	火5	久保 一之			
6850017	西南アジア史学	講読	3-4	2	4	通年	月5	東長 靖		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
6861018	西南アジア史学	実習	3-4	2	1	前期	金3	久保 一之			
6861019	西南アジア史学	実習	3-4	2	1	後期	水3	井谷 鋼造			
8080129	西南アジア史学	語学	2-4	2	2	通年	木2	西尾 哲夫	アラブ語(初級)	学部共通科目	
8070126	西南アジア史学	語学	3-4	2	2	通年	水4	森 茂男	イラン語(初級)	学部共通科目	
8036108	西南アジア史学	語学	3-4	2	2	通年	金1	森 若葉	シュメール語(初級)	学部共通科目	言語学 108
8102124	西南アジア史学	語学	3-4	2	1	前期	火3	手島 勲矢	ヘブライ語(初級)	学部共通科目	キリスト教学 124
8103125	西南アジア史学	語学	3-4	2	1	後期	火3	手島 勲矢	ヘブライ語(中級)	学部共通科目	キリスト教学 125
8104135	西南アジア史学	語学	3-4	2	2	通年	金5	小松 久恵	ヒンディー語(初級)	学部共通科目 アジア・アフリカ地域研究研究科	インド古典学 135
8062121	西南アジア史学	語学	3-4	2	2	通年	木4	置田 清和	サンスクリット(2時間コース)	学部共通科目	インド古典学 121 仏教学 121
9990024	卒業論文(西南アジア史学)		4		12	通年		井谷 鋼造 他			
6930002	西洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水5	南川 高志			
6930003	西洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	火5	金澤 周作			

講義コード	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番								専修・科目	講義形態
6930	004	西洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	木2	伊藤 順二		現代史学 010
6930	005	西洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	金2	王寺 賢太		◎フランス語学フランス文学 012
6931	006	西洋史学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月1	渡邊 伸		
6930	007	西洋史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水4	小関 隆		現代史学 011 二十世紀学 013
6931	008	西洋史学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木4	中谷 功治		
6931	009	西洋史学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	深沢 克己		
6931	010	西洋史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火2	山下 修一		◎西洋古典学 009
6931	011	西洋史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木4	佐藤 昇		
6940	012	西洋史学	演習I	3-4	2	4	通年	金5	南川 高志		
6942	013	西洋史学	演習II	3-4	2	4	通年	金5	服部 良久		
6944	014	西洋史学	演習III	3-4	2	4	通年	金5	小山 哲		
6946	015	西洋史学	演習IV	3-4	2	4	通年	金5	金澤 周作		
6947	016	西洋史学	演習V	4	2	4	通年	金2	南川・服部・小山・金澤		
6941	017	西洋史学	演習	2	2	2	前期	水3	南川・小山・金澤	(入門セミナー)	
6951	018	西洋史学	講読	2-4	2	4	通年	水2	南川 高志	独書講読	基礎現代文化学系 007
6955	019	西洋史学	講読	2-4	2	2	前期	水1	永原 陽子	英書講読	◎基礎現代文化学系 005 日本史学 027
6955	020	西洋史学	講読	2-4	2	2	後期	水1	伊藤 和行	英書講読	◎基礎現代文化学系 006 日本史学 028
6953	021	西洋史学	講読	2-4	2	4	通年	火3	伊藤 順二	露書講読	基礎現代文化学系 009
6952	022	西洋史学	講読	2-4	2	4	通年	水1	小山 哲	仏書講読	社会学 015 基礎現代文化学系 008 地理学 020
6954	023	西洋史学	講読	2-4	2	4	通年	水4	村瀬 有司	伊書講読	◎イタリア語学イタリア文学 011 基礎現代文化学系 011
6960	024	西洋史学	実習	3-4	2	2	通年	水3	南川・服部・小山・金澤		
9990	025	卒業論文(西洋史学)		4		12	通年		南川・服部・小山・金澤		
7030	002	考古学	特殊講義	3-4	2	4	通年	月4	上原 真人		
7030	003	考古学	特殊講義	3-4	2	4	通年	火2	吉井 秀夫		
7030	004	考古学	特殊講義	3-4	2	4	通年	月2	岡村 秀典		
7031	005	考古学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木2	山極 壽一		◎理学部
7031	006	考古学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木2	中務 真人		◎理学部
7031	007	考古学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金4	杉山 淳司		
7031	008	考古学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金4	矢野 健一		
7031	009	考古学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火4	小方 登		◎人間・環境学研究所 ◎総合人間学部
7031	010	考古学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金3	高橋 照彦		日本史学 017
7031	011	考古学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	小林 正史		
7040	012	考古学	演習I	3-4	2	4	通年	月3	上原 真人		
7042	013	考古学	演習II	3-4	2	4	通年	金2	吉井 秀夫		
7045	014	考古学	演習III	4	2	4	通年	月1	上原・吉井・阪口		
7050	015	考古学	講読	2-4	2	4	通年	水1	富井 眞		
7060	016	考古学	実習	2-4	4	4	通年	火3火4	上原・吉井・阪口・千葉・伊藤・富井		
9990	026	卒業論文(考古学)		4		12	通年		上原 真人 他		

【行動・環境文化学系】

講義コード 科目コード・連番	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)
	専修・科目	講義形態								
7102001	系共通科目(心理学)	講義I	2-4	2	4	通年	月3	藤田・櫻井・板倉・蘆田		
7106002	系共通科目(心理学)	講義IIb	3-4	2	2	前期	月2	藤田 和生		教育学部
7107003	系共通科目(心理学)	講義IIc	3-4	2	2	後期	月2	櫻井 芳雄		教育学部
7108004	系共通科目(心理学)	講義IId	3-4	2	2	前期	火2	板倉 昭二		教育学部
7109005	系共通科目(心理学)	講義IIe	3-4	2	2	前期	水3	蘆田 宏		教育学部
7202001	系共通科目(言語学)	講義I	1-4	2	2	前期	水4	田窪・吉田和・吉田豊		
7204002	系共通科目(言語学)	講義I	1-4	2	2	後期	水4	田窪・吉田和・吉田豊		
7206003	系共通科目(言語学)	講義II	1-4	2	2	前期	月3	田窪・吉田和・吉田豊		
7208004	系共通科目(言語学)	講義II	1-4	2	2	後期	月3	田窪・吉田和・吉田豊		
7301001	系共通科目(社会学)	講義	2-4	2	4	通年	水2	伊藤 公雄		教育学部
7401001	系共通科目(地理学)	講義	2-4	2	4	通年	火3	小林・石川		
7110006	心理学	講義Ka	3-4	2	2	前期	木1	楠見・子安・齊藤・野村・高橋(雄)		◎教育学部
7111007	心理学	講義Kb	2-4	2	2	前期	水2	齊藤 智		◎教育学部
7112008	心理学	講義Kc	2-4	2	2	後期	水2	郷式・齊藤		◎教育学部
7131009	心理学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火2	松下 姫歌		◎教育学部
7131010	心理学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火2	田中 康裕		◎教育学部
7131011	心理学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木5	Daniel Callan		教育学部
7131012	心理学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水4	小林 哲生		教育学部
7131013	心理学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	伊澤 栄一		教育学部
7131014	心理学	特殊講義	3-4	2	2	前期	水4	阿部 修士		◎教育学研究科
7131015	心理学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	今井 むつみ		◎教育学研究科
7131016	心理学	特殊講義	3-4	2	2	前期	水2	杉万 俊夫		◎全学共通科目
7131017	心理学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水2	杉万 俊夫		◎全学共通科目
7131018	心理学	特殊講義	3-4	2	2	前期	水2	齋木 潤		◎全学共通科目
7131019	心理学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水2	齋木 潤		◎全学共通科目
7131020	心理学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月2	月浦 崇		◎全学共通科目
7131021	心理学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月2	月浦 崇		◎全学共通科目
7131022	心理学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金4	矢追・源・田邊・大瀧・別役		
7140023	心理学	演習I	3-4	2	4	通年	月4	藤田・板倉		
7140024	心理学	演習II	4	2	4	通年	月4	櫻井・蘆田		
7151025	心理学	講読	3-4	2	2	前期	木3	源 健宏		
7151026	心理学	講読	3-4	2	2	後期	木3	大瀧 翔		
7160027	心理学	実習I	2-4	4	4	通年	火4火5	藤田・櫻井・板倉・蘆田		
7162028	心理学	実習II	2-4	2	2	通年	金3	森崎 礼子		
7164029	心理学	実習III	3-4	2	2	通年	木2	藤田・櫻井・板倉・蘆田		
9990027	卒業論文(心理学)		4		12	通年		藤田 和生 他		
7231005	言語学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金2	吉田 和彦		
7231006	言語学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金2	吉田 和彦		
7231007	言語学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火4	田窪 行則		
7231008	言語学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火4	田窪 行則		
7231009	言語学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木2	谷口 一美		◎英語学英文学 006 ◎人間・環境学研究科 アメリカ文学 006
7231010	言語学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木2	谷口 一美		◎英語学英文学 007 ◎人間・環境学研究科 アメリカ文学 007
7231011	言語学	特殊講義	3-4	2	2	前期	水2	郡司 隆男		
7231012	言語学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水2	郡司 隆男		
7231013	言語学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火3	上田 功		
7231014	言語学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火3	上田 功		
7231015	言語学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月2	林 範彦		
7231016	言語学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月5	定延 利之		

講義コード	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード・連番	専修・科目								講義形態	
7231017	言語学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月5	定延 利之			
7231018	言語学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	木部 暢子			
7231019	言語学	特殊講義	3-4	2	2	前期	水4	齋藤 治之			
7231020	言語学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水4	齋藤 治之			
7246021	言語学	基礎演習	2-4	2	2	前期	火4	西村 周浩			
7246022	言語学	基礎演習	2-4	2	2	後期	火4	西村 周浩			
7241023	言語学	演習	3-4	2	2	前期	木1	吉田 豊			西南アジア史学 013
7241024	言語学	演習	3-4	2	2	後期	木1	吉田 豊			西南アジア史学 014
7241025	言語学	演習	3-4	2	2	前期	火5	吉田 豊			
7241026	言語学	演習	3-4	2	2	後期	火5	吉田 豊			
7241027	言語学	演習	3-4	2	2	前期	木2	笹間 史子			
7241028	言語学	演習	3-4	2	2	後期	木2	笹間 史子			
8199156	言語学	演習	3-4	60	4	前期	不定	田窪 行則	世界展開力 アジア研究(韓国研修)	学部共通科目	社会学 156
7245030	言語学	卒論演習	4	2	2	後期	水5	田窪・吉田和・吉田豊			
8094137	言語学	語学	2-4	2	2	通年	木2	河崎 靖	オランダ語(初級)	学部共通科目	
8089134	言語学	語学	2-4	2	2	通年	金2	塩谷 茂樹	モンゴル語(初級)	学部共通科目	
8036108	言語学	語学	3-4	2	2	通年	金1	森 若葉	シムール語(初級)	学部共通科目	西南アジア 108
8039109	言語学	語学	2-4	2	1	前期	火3	井戸根 綾子	スワヒリ語(初級)	学部共通科目	◎アジア・アフリカ地域研究研究科
8038110	言語学	語学	2-4	2	1	後期	火3	井戸根 綾子	スワヒリ語(中級)	学部共通科目	アジア・アフリカ地域研究研究科
9990028	卒業論文(言語学)		4		12	通年		田窪・吉田和・吉田豊			
7330002	社会学	特殊講義	2-4	2	4	通年	木5	伊藤 公雄			
7331003	社会学	特殊講義	2-4	2	2	前期	月4	落合 恵美子			
7331004	社会学	特殊講義	2-4	2	2	後期	月4	落合 恵美子			
7330005	社会学	特殊講義	2-4	2	4	通年	水2	田中 紀行			
7331006	社会学	特殊講義	2-4	2	2	前期	水2	太郎丸 博			
7330007	社会学	特殊講義	2-4	2	4	通年	月2	鶴飼 孝造			
7330008	社会学	特殊講義	2-4	2	4	通年	火4	富永 茂樹			
7331009	社会学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金4	高橋 由典			◎人間・環境学研究所 ◎総合人間学部
7331010	社会学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火3	吉田 純		情報・史科学 005 総合人間学部	◎人間・環境学研究所 エネルギー科学研究科
7331011	社会学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金3	岩井 八郎		◎教育学部	
7331012	社会学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金3	岩井 八郎		◎教育学部	
7331013	社会学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金2	秋津 元輝		◎農学部	
7330014	社会学	特殊講義	3-4	2	4	通年	火1	小野寺 史郎	中書講読	◎基礎現代文化学系 010	地理学 021
7330015	社会学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水1	小山 哲	仏書講読	◎西洋史学 022 基礎現代文化学系 008	地理学 020
7330016	社会学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水2	小林 致広		◎地理学 002	
7331017	社会学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金5	上杉 和央		◎二十世紀学 019 地理学 023	現代史学 023
7331018	社会学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金5	上杉 和央		◎二十世紀学 020 地理学 024	現代史学 024
7331019	社会学	特殊講義	2-4	2	2	後期	金2	中野 康人			
7331020	社会学	特殊講義	2-4	2	2	前期	金2	阿部 潔			
7331021	社会学	特殊講義	2-4	2	2	前期	木4	森本 一彦			
7331040	社会学	特殊講義	2-4	2	2	後期	木4	森本 一彦			
7331022	社会学	特殊講義	2-4	30	2	前期	集中	町村 敬志			
8190146	社会学	特殊講義	1-4	2	2	前期	木2	落合・出口・平田	世界展開力 アジア研究(オムニバス)	学部共通科目	
8190147	社会学	特殊講義	1-4	2	2	後期	木2	落合・出口・平田	世界展開力 アジア研究(オムニバス)	学部共通科目	
8191148	社会学	特殊講義	2-4	4	2	前期	木3木4	Tuukka Toivonen	世界展開力 アジア研究(若者)	学部共通科目	
8192149	社会学	特殊講義	2-4	4	1	後期	木3木4	Dang Nguyen Anh-Vu Manh Loi	世界展開力 アジア研究(ベトナム)	学部共通科目	
8193150	社会学	特殊講義	2-4	4	1	前期	木3木4	韓 栄恵	世界展開力 アジア研究(韓国と日本)	学部共通科目	
8194151	社会学	特殊講義	2-4	4	1	後期	木3木4	Steven Trenson	世界展開力 アジア研究(日本史)	学部共通科目	

講義コード	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)		
	科目コード	連番								専修・科目	講義形態	
8195	152	社会学	特殊講義	2-4	30	2	前期	不定	落合 恵美子	世界展開力 アジア研究(ベトナム研修)	学部共通科目	
8196	153	社会学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月5	落合・安里	世界展開力 アジア研究(東アジアワークショップ)	学部共通科目	
8198	155	社会学	特殊講義	2-4	2	2	前期	火2	安里 和晃	世界展開力 アジア研究(移民)	学部共通科目	
7340	023	社会学	演習I	2-4	2	4	通年	水3	田中 紀行			
7343	024	社会学	演習II	2-4	2	2	後期	金4	松田 素二			
8199	156	社会学	演習II	2-4	60	4	前期	不定	田窪 行則	世界展開力 アジア研究(韓国研修)	学部共通科目	言語学 156
7345	025	社会学	卒論演習	4	2	4	通年	金3	伊藤・松田・落合・田中・太郎丸			
7361	026	社会学	実習	3-4	2	2	通年	月3	松田 素二			
7361	027	社会学	実習	3-4	2	2	通年	水4	太郎丸 博			
7353	028	社会学	講読	3-4	2	2	後期	火2	安里 和晃	英書講読		
7353	029	社会学	講読	3-4	2	2	前期	火2	阿部 利洋	英書講読		
9990	029	卒業論文(社会学)		4		12	通年		伊藤 公雄 他			
7430	002	地理学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水2	小林 致広		社会学 016	
7430	003	地理学	特殊講義	3-4	2	4	通年	金1	石川 義孝			
7430	004	地理学	特殊講義	3-4	2	4	通年	月2	杉浦 和子			
7430	005	地理学	特殊講義	3-4	2	4	通年	木2	米家 泰作			
7431	006	地理学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月3	小島 泰雄		◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部
7431	007	地理学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月3	小島 泰雄		◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部
7431	008	地理学	特殊講義	3-4	2	2	前期	水2	小方 登		◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部
7431	009	地理学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金2	堤 浩之		◎理学部	
7431	010	地理学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	滝波 章弘			
7431	011	地理学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	鈴木 康弘			
7431	012	地理学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	友澤 和夫			
7431	013	地理学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火2	生田 真人			
7431	014	地理学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火2	生田 真人			
7430	015	地理学	特殊講義	3-4	4	4	後期	木3木4	木村 義成			
7440	016	地理学	演習I	3-4	2	4	通年	水3	小林・石川・杉浦・米家			
7442	017	地理学	演習II	4	2	4	通年	水4	小林・石川・杉浦・米家			
7443	023	地理学	演習II	3-4	2	2	前期	金5	上杉 和央		◎二十世紀学 019 社会学 017	現代史学 023
7443	024	地理学	演習II	3-4	2	2	後期	金5	上杉 和央		◎二十世紀学 020 社会学 018	現代史学 024
7450	018	地理学	講読	2-4	2	4	通年	火4	小林・石川	英書講読		
7451	019	地理学	講読	3-4	2	4	通年	月1	杉浦 和子	独書講読		
7452	020	地理学	講読	3-4	2	4	通年	水1	小山 哲	仏書講読	◎西洋史学 022 基礎現代文化学系 008	社会学 015
7453	021	地理学	講読	3-4	2	4	通年	火1	小野寺 史郎	中書講読	◎基礎現代文化学系 010	社会学 014
7460	022	地理学	実習	2-4	4	4	通年	月3月4	杉浦・米家・小林・石川			
9990	030	卒業論文(地理学)		4		12	通年		小林・石川・杉浦・米家			

【基礎現代文化学系】

講義コード 科目コード・連番	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	専修・科目	講義形態									
8203001	系共通科目(科学史)	講義	2-4	2	4	通年	火2	伊藤 和行			
8201002	系共通科目(科学哲学)	講義	2-4	2	4	通年	金3	伊勢田 哲治			
8502001	系共通科目(情報・史料学)	講義	2-4	2	2	前期	水5	林 晋			
8504002	系共通科目(情報・史料学)	講義	2-4	2	2	後期	月5	林 晋			
8301001	系共通科目(二十世紀学)	講義	1-4	隔週4	4	通年	金3金4	杉本 淑彦			
8403001	系共通科目(日本現代史)	講義	1-4	2	4	通年	金2	永井 和			
8401002	系共通科目(現代史学)	講義	2-4	2	4	通年	火5	永原 陽子			
8242001	系共通科目(基礎現代文化学)	基礎演習I	1-4	2	4	通年	火5	矢田部 俊介			
8442002	系共通科目(基礎現代文化学)	基礎演習II	2-4	2	4	通年	火3	(前)小野澤・(後)永井			
8543003	系共通科目(基礎現代文化学)	情報技術演習I	2-4	2	2	前期	木2	林 晋			
8544004	系共通科目(基礎現代文化学)	情報技術演習II	2-4	2	2	前期	木3	喜多 千草			
8655005	系共通科目(基礎現代文化学)	講読I	2-4	2	2	前期	水1	永原 陽子	英書講読	日本史学 027	西洋史学 019
8655006	系共通科目(基礎現代文化学)	講読I	2-4	2	2	後期	水1	伊藤 和行	英書講読	日本史学 028	西洋史学 020
8651007	系共通科目(基礎現代文化学)	講読II	2-4	2	4	通年	水2	南川 高志	独書講読	◎西洋史学 018	
8652008	系共通科目(基礎現代文化学)	講読III	2-4	2	4	通年	水1	小山 哲	仏書講読	◎西洋史学 022 地理学 020	社会学 015
8653009	系共通科目(基礎現代文化学)	講読IV	2-4	2	4	通年	火3	伊藤 順二	露書講読	◎西洋史学 021	
8654010	系共通科目(基礎現代文化学)	講読V	2-4	2	4	通年	火1	小野寺 史郎	中書講読	地理学 021	社会学 014
8660011	系共通科目(基礎現代文化学)	講読VI	2-4	2	4	通年	水4	村瀬 有司	伊書講読	◎イタリア語学・イタリア文学 011	西洋史学 023
8231003	科学哲学科学史	特殊講義	3-4	2	2	前期	金2	伊藤 和行			
8231004	科学哲学科学史	特殊講義	2-4	2	2	後期	金2	伊藤 和行			
8231005	科学哲学科学史	特殊講義	3-4	2	2	前期	水2	伊勢田 哲治			
8231006	科学哲学科学史	特殊講義	2-4	2	2	後期	水2	伊勢田 哲治			
8231007	科学哲学科学史	特殊講義	3-4	2	2	後期	木5	平川 秀幸			
8231008	科学哲学科学史	特殊講義	3-4	2	2	後期	木3	喜多 千草		◎情報・史料学 007 現代史学 015	二十世紀学 012
8231009	科学哲学科学史	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	直江 清隆			
8241010	科学哲学科学史	演習	3-4	2	2	前期	火3	伊藤 和行			
8241011	科学哲学科学史	演習	2-4	2	2	後期	火3	伊藤 和行			
8241012	科学哲学科学史	演習	3-4	2	2	前期	水3	伊勢田 哲治			
8241013	科学哲学科学史	演習	2-4	2	2	後期	水3	伊勢田 哲治			
8245014	科学哲学科学史	卒論演習	4	2	4	通年	金4	伊藤・伊勢田			
9990031	卒業論文(科学哲学科学史)		4		12	通年		伊藤和行			
8531003	情報・史料学	特殊講義	3-4	2	2	前期	月5	林 晋			
8531004	情報・史料学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水5	林 晋		日本哲学史 007	
8531005	情報・史料学	特殊講義	3-4	2	2	前期	火3	吉田 純		◎社会学 010 総合人間学部	◎人間・環境学研究所 エネルギー科学研究科
8531006	情報・史料学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金4	小田 宗兵衛			
8531007	情報・史料学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木3	喜多 千草		科学哲学科学史 008 現代史学 015	二十世紀学 012
8531008	情報・史料学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火3	奥乃 博		◎工学部	
8531009	情報・史料学	特殊講義	3-4	2	2	後期	火5	岡田 至弘			
8531010	情報・史料学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	大谷 卓史			
8540011	情報・史料学	演習	3-4	2	4	通年	金2	林 晋		日本哲学史 010	
8540012	情報・史料学	演習	3-4	2	4	通年	金3	林 晋			
8545013	情報・史料学	卒論演習	4	2	4	通年	火1	林 晋			
9990032	卒業論文(情報・史料学)		4		12	通年		林 晋			
8330002	二十世紀学	特殊講義	3-4	2	4	通年	月3	小野澤 透		◎現代史学 003	
8330003	二十世紀学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水4	Brian HAYASHI		◎現代史学 004	◎総合人間学部
8330004	二十世紀学	特殊講義	3-4	2	4	通年	月2	石川 禎浩		◎現代史学 005	東洋史学 010
8331005	二十世紀学	特殊講義	3-4	2	2	前期	水4	須田 千里		◎国語学国文学 005 ◎総合人間学部	◎人間・環境学研究所
8331006	二十世紀学	特殊講義	3-4	2	2	後期	水4	須田 千里		◎国語学国文学 006 ◎総合人間学部	◎人間・環境学研究所
8331007	二十世紀学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金4	清水 康次		◎国語学国文学 009	



講義コード	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	科目コード	連番								専修・科目	講義形態
8331008		二十世紀学	特殊講義	3-4	2	2	後期	金4	清水 康次		◎国語学国文学 010
8331009		二十世紀学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木4	力久 昌幸		◎現代史学 007
8331010		二十世紀学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月1	松田 利彦		◎現代史学 008 日本史学 015
8331011		二十世紀学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	山内 昭人		◎現代史学 009
8331012		二十世紀学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木3	喜多 千草		◎情報・史料学 007 科学哲学科学史 008 現代史学 015
8330013		二十世紀学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水4	小関 隆		◎西洋史学 007 現代史学 011
8341014		二十世紀学	演習I	3-4	2	2	前期	水4	杉本 淑彦		
8341015		二十世紀学	演習I	3-4	2	2	後期	水4	杉本 淑彦		
8343016		二十世紀学	演習II	3-4	2	4	通年	水2	水野 直樹		◎現代史学 020 東洋史学 023
8344017		二十世紀学	演習II	3-4	2	2	後期	水3	貴志 俊彦		◎中国語学中国文学 013 東洋史学 013 現代史学 016
8344018		二十世紀学	演習II	2-3	2	2	前期	水3	杉本 淑彦		現代史学 022
8344019		二十世紀学	演習II	3-4	2	2	前期	金5	上杉 和央		現代史学 023 社会学 017 地理学 023
8344020		二十世紀学	演習II	3-4	2	2	後期	金5	上杉 和央		現代史学 024 社会学 018 地理学 024
8344021		二十世紀学	演習II	3-4	30	2	前期	集中	山登 義明		現代史学 025
8343022		二十世紀学	演習II	3-4	2	4	通年	木2	村上 衛		◎現代史学 019 東洋史学 024
8344025		二十世紀学	演習II	3-4	2	2	後期	金2	吉村 和真		現代史学 026
8344026		二十世紀学	演習II	3-4	2	2	後期	水2	佐伯 順子		現代史学 030
8344027		二十世紀学	演習II	3-4	2	2	後期	木4	山口 誠		現代史学 027
8344029		二十世紀学	演習II	3-4	30	2	前期	集中	Dick STEGEWERNs	世界展開力	◎現代史学 031
8345028		二十世紀学	卒論演習	4	隔週4	4	通年	金3金4	杉本 淑彦		
9990033		卒業論文(二十世紀学)		4		12	通年		杉本 淑彦		
8432003		現代史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	月3	小野澤 透		二十世紀学 002
8432004		現代史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水4	Brian Hayashi		二十世紀学 003 ◎総合人間学部
8432005		現代史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	月2	石川 禎浩		二十世紀学 004 東洋史学 010
8432006		現代史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水2	高木 博志		日本史学 016
8433007		現代史学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木4	力久 昌幸		二十世紀学 009
8433008		現代史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	月1	松田 利彦		二十世紀学 010 日本史学 015
8433009		現代史学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	山内 昭人		二十世紀学 011
8432010		現代史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	木2	伊藤 順二		◎西洋史学 004
8432011		現代史学	特殊講義	3-4	2	4	通年	水4	小関 隆		◎西洋史学 007 二十世紀学 013
8433012		現代史学	特殊講義	3-4	2	2	前期	金4	飯塚 一幸		◎日本史学 011
8433013		現代史学	特殊講義	3-4	2	2	前期	木4	鈴木 栄樹		◎日本史学 010
8433014		現代史学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	新井 政美		◎西南アジア史学 007
8433015		現代史学	特殊講義	3-4	2	2	後期	木3	喜多 千草		◎情報・史料学 007 科学哲学科学史 008 二十世紀学 012
8433016		現代史学	特殊講義	2-3	2	2	後期	水3	貴志 俊彦		◎中国語学中国文学 013 東洋史学 013 二十世紀学 017
8433031		現代史学	特殊講義	3-4	30	2	前期	集中	Dick STEGEWERNs	世界展開力	二十世紀学 029
8446017		現代史学	卒論演習	4	2	4	通年	水4	永井・永原・小野澤		
8443018		現代史学	演習I	3-4	2	4	通年	火4	(前)永井・(後)永原		
8447019		現代史学	演習II	3-4	2	4	通年	木2	村上 衛		東洋史学 024 二十世紀学 022
8447020		現代史学	演習II	3-4	2	4	通年	水2	水野 直樹		東洋史学 023 二十世紀学 016
8447021		現代史学	演習II	3-4	2	4	通年	火5	永井 和		
8448022		現代史学	演習II	2-3	2	2	前期	水3	杉本 淑彦		◎二十世紀学 018
8448023		現代史学	演習II	3-4	2	2	前期	金5	上杉 和央		◎二十世紀学 019 社会学 017 地理学 023
8448024		現代史学	演習II	3-4	2	2	後期	金5	上杉 和央		◎二十世紀学 020 社会学 018 地理学 024
8448025		現代史学	演習II	3-4	30	2	前期	集中	山登 義明		◎二十世紀学 021
8448026		現代史学	演習II	3-4	2	2	後期	金2	吉村 和真		◎二十世紀学 025
8448027		現代史学	演習II	3-4	2	2	後期	木4	山口 誠		◎二十世紀学 027
8448030		現代史学	演習II	3-4	2	2	後期	水2	佐伯 順子		◎二十世紀学 026
9990034		卒業論文(現代史学)		4		12	通年		永井・永原・小野澤		

【学部共通科目】

講義コード 科目コード・連番	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
	専修・科目	講義形態									
0012 001	哲学基礎文化学系	ゼミナールI	1-4	2	2	前期	木2	君嶋・赤嶺・山田・太田	コーディネーター:福谷		
0012 002	哲学基礎文化学系	ゼミナールII	1-4	2	2	後期	木2	梅野・末永・岩井・上原	コーディネーター:氣多		
0022 003	東洋文化学系	ゼミナールI	2-4	2	2	前期	木5	池端・岸野・木村・村田・安田・Bm	コーディネーター:横地		
0022 004	東洋文化学系	ゼミナールII	1-4	2	2	後期	木5	小鹿原・阿尾・山中・白方・佐藤・八木・鈴木・成田	コーディネーター:横地		
0032 005	西洋文化学系	ゼミナールI	1-4	30	2	前期	集中	西井・堀川・兒玉・木島・平光・洪江・田中	コーディネーター:若島		
0032 006	西洋文化学系	ゼミナールII	1-4	2	2	後期	水5	山下・國司・山下・大内・西谷・宇和川・寺澤	コーディネーター:若島		
0042 007	歴史基礎文化学系	ゼミナールI	1-4	2	2	前期	木1	田中・毛利・増田・和田・横内・山内・藤井・松本・南雲・西村・福嶋・佐野	コーディネーター:杉山		
0042 008	歴史基礎文化学系	ゼミナールII	1-4	2	2	後期	木1	竹内・中野・酒原・伊藤・亀田・大河内・中川・加藤・上塚・桂尾・橋本・村上・内記	コーディネーター:杉山		
0052 009	行動・環境文化学系	ゼミナールI	1-4	2	2	前期	木5	大瀧・武内・有藤・江南・福浦・戸祝・中島・木下・村・石井・池・渡邊・柴田・金子・浅尾	コーディネーター:櫻井		
0052 010	行動・環境文化学系	ゼミナールII	1-4	2	2	後期	木5	別院・平田・林・藤原・北島・西川・安井・山本・水野・山内	コーディネーター:櫻井		
0062 011	基礎現代文化学系	ゼミナールI	1-4	2	2	前期	木5	佐藤・中尾・大西・吉川・田林	コーディネーター:伊藤		
0062 012	基礎現代文化学系	ゼミナールII	1-4	2	2	後期	木5	富永・岡内・藤川・川崎・坂	コーディネーター:永井		
8005 101	博物館学I	講義	2-4	2	2	前期	月5	佐々木 進	学芸員用		
8006 102	博物館学II	講義	2-4	2	2	後期	月5	佐々木 進	学芸員用		
8007 103	博物館学III	講義	2-4	2	2	後期	水2	宮川 禎一	学芸員用		
8031 104	フランス語(中級)	語学	2-4	2	1	前期	月4	エリック・アヴォカ		全学共通	フランス語II
8031 105	フランス語(中級)	語学	2-4	2	1	後期	月4	エリック・アヴォカ		全学共通	フランス語II
8032 106	フランス語(上級)	語学	3-4	2	1	前期	月5	エリック・アヴォカ		全学共通	フランス語III
8032 107	フランス語(上級)	語学	3-4	2	1	後期	月5	エリック・アヴォカ		全学共通	フランス語III
8036 108	シュメール語(初級)	語学	3-4	2	2	通年	金1	森 若葉		言語学 108	西南アジア 018
8039 109	スワヒリ語(初級)	語学	2-4	2	1	前期	火3	井戸根 綾子		言語学 109	◎アジア・アフリカ地域研究研究科
8038 110	スワヒリ語(中級)	語学	2-4	2	1	後期	火3	井戸根 綾子		言語学 110	アジア・アフリカ地域研究研究科
8050 111	ギリシア語(2時間コース)	語学	2-4	2	2	通年	金3	早瀬 篤		西洋古典学 111	
8051 112	ギリシア語(4時間コース)	語学	2-4	4	4	通年	月1木1	広川 直幸		西洋古典学 112	
8052 113	ラテン語(2時間コース)	語学	2-4	2	2	通年	木3	堀川 宏		西洋古典学 113	
8053 114	ラテン語(4時間コース)	語学	2-4	4	4	通年	月3金2	佐藤 義尚		西洋古典学 114	
8054 115	スペイン語(初級)	語学	2-4	2	2	通年	火4	長谷川 信弥		イタリア語学・イタリア文学 115	
8055 116	スペイン語(中級)	語学	2-4	2	2	通年	火5	長谷川 信弥		イタリア語学・イタリア文学 116	
8057 117	イタリア語(初級4時間コース)	語学	2-4	4	4	通年	火3金2	菅野 類		イタリア語学・イタリア文学 117	
8059 118	イタリア語会話(中級)	語学	2-4	2	2	通年	火5	ダニエラ・シャロム・ヴァガータ		イタリア語学・イタリア文学 118	
8060 119	朝鮮語(初級)	語学	2-4	2	2	通年	水2	朴 真完			
8061 120	朝鮮語(中級)	語学	2-4	2	2	通年	水4	金 文京			
8062 121	サンスクリット(2時間コース)	語学	1-4	2	2	通年	木4	置田 清和		仏教学 121 西南アジア史学 121	インド古典学 121
8046 122	サンスクリット(4時間前期コース)	語学	1-4	4	2	前期	月5木5	VASUDEVA, Somdev		仏教学 122	インド古典学 122
8046 123	サンスクリット(4時間後期コース)	語学	1-4	4	2	後期	月5木5	VASUDEVA, Somdev		仏教学 123	インド古典学 123
8102 124	ヘブライ語(初級)	語学	3-4	2	1	前期	火3	手島 勲矢		西南アジア史学 124	キリスト教学 124
8103 125	ヘブライ語(中級)	語学	3-4	2	1	後期	火3	手島 勲矢		西南アジア史学 125	キリスト教学 125
8070 126	イラン語(初級)	語学	3-4	2	2	通年	水4	森 茂男		西南アジア史学 126	
8078 127	チベット語(初級)	語学	2-4	2	2	通年	月1	高橋 慶治		仏教学 127	
8079 128	チベット語(中級)	語学	3-4	2	2	通年	金3	宮崎 泉		仏教学 128	
8080 129	アラブ語(初級)	語学	2-4	2	2	通年	木2	西尾 哲夫		西南アジア史学 129	
8082 130	ポーランド語(初級I)	語学	1-4	2	2	通年	金4	佐藤 昭裕		スラブ語学・スラブ文学 130	
8033 132	ポーランド語(初級II)	語学	1-4	2	2	通年	火3	Bogna Sasaki		スラブ語学・スラブ文学 132	
8086 133	ポーランド語(中級II)	語学	1-4	2	2	通年	水4	Bogna Sasaki		スラブ語学・スラブ文学 133	
8089 134	モンゴル語(初級)	語学	2-4	2	2	通年	金2	塩谷 茂樹		言語学 134	
8104 135	ヒンディー語(初級)	語学	1-4	2	2	通年	金5	小松 久恵		インド古典学 135 西南アジア史学 135	アジア・アフリカ地域研究研究科
8105 136	ヒンディー語(中級)	語学	2-4	2	2	通年	火3	西岡 美樹		インド古典学 136	◎アジア・アフリカ地域研究研究科

講義コード	科目名		回生	週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通 (他専修・他学部と共通の科目は、いずれか1つの科目名を選択して履修登録すること)	
科目コード・連番	専修・科目	講義形態									
8094・137	オランダ語(初級)	語学	2-4	2	2	通年	木2	河崎 靖		言語学 137	
8106・138	英語	語学	2-4	2	1	前期	木2	服部 美樹	教職用		
8106・139	英語	語学	2-4	2	1	後期	木2	未定	教職用		
8106・140	英語	語学	2-4	2	1	前期	水1	N. リー	教職用		
8106・141	英語	語学	2-4	2	1	後期	水1	N. リー	教職用		
8041・142	英語論文作成法	演習	2-4	2	2	前期	火4	大崎 紀子			
8041・143	英語論文作成法	演習	2-4	2	2	後期	火4	大崎 紀子			
8107・144	書道	演習	2-4	2	2	前期	金4	日比野 実	教職用		
8107・145	書道	演習	2-4	2	2	後期	金4	日比野 実	教職用		
8190・146	アジア研究(オムニバス)	特殊講義	1-4	2	2	前期	木2	落合・出口・平田	世界展開力	社会学 146	
8190・147	アジア研究(オムニバス)	特殊講義	1-4	2	2	後期	木2	落合・出口・平田	世界展開力	社会学 147	
8191・148	アジア研究(若者)	特殊講義	2-4	4	2	前期	木3木4	Tuukka Toivonen	世界展開力	社会学 148	
8192・149	アジア研究(ベトナム)	特殊講義	2-4	4	1	後期	木3木4	Dang Nguyen Anh-Vu Manh Loi	世界展開力	社会学 149	
8193・150	アジア研究(韓国と日本)	特殊講義	2-4	4	1	前期	木3木4	韓 栄恵	世界展開力	社会学 150	
8194・151	アジア研究(日本史)	特殊講義	2-4	4	1	後期	木3木4	Steven Trenson	世界展開力	社会学 151	
8195・152	アジア研究(ベトナム研修)	特殊講義	2-4	30	2	前期	不定	落合 恵美子	世界展開力	社会学 152	
8196・153	アジア研究(東アジアワークショップ)	特殊講義	3-4	2	2	前期	月5	落合・安里	世界展開力	社会学 153	
8198・155	アジア研究(移民)	特殊講義	2-4	2	2	前期	火2	安里 和晃	世界展開力	社会学 155	
8199・156	アジア研究(韓国研修)	演習	2-4	60	4	前期	不定	田窪 行則	世界展開力	言語学 156	社会学 156
8189・157	アジア研究(中国南京研修)	語学	2-4	60	2	前期	不定	平田 昌司	世界展開力	中国語学中国文学 157	
8188・158	アジア研究(分析アジア哲学入門I)	特殊講義	1-4	30	2	前期	集中	出口・Garfield・Siderits・Yagisawa	世界展開力		
8187・159	アジア研究(分析アジア哲学入門II)	特殊講義	1-4	15	1	前期	集中	出口・Priest	世界展開力		

## (5) 文学部講義題目（シラバス）について

平成 24 年度より，本学部では講義題目（シラバス）については，KULASIS（京都大学教務情報システム）および本学部・研究科ホームページ等で掲載しますので，下記 URL より講義題目（シラバス）を確認してください。

■KULASIS（京都大学教務情報システム）

<https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp>

■本学部・研究科ホームページ（シラバス掲載）

[http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/for\\_students/student\\_index/](http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/for_students/student_index/)

■KYOTO-U OPENCOURSEWARE（京都大学オープンコースウェア）

<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/faculty-of-lettersja>

## (6) 全学共通科目の履修について

全学共通科目の履修に際しては、「全学共通科目履修の手引き」「全学共通科目授業内容」及び本便覧 P. 4『履修上の注意事項』を熟読し、必ず所定の手続きを行うこと。

基礎教育科目（全学共通科目として履修登録するが、学部科目の単位として認定される科目）  
（総合人間学部提供全学共通科目）

科目名	毎週時間	単位	対象回生	旧科目名
日本古代・中世政治文化論	前期2	2	1-4	日本古代・中世政治文化論 A (2 単位)
日本古代・中世の歴史社会	後期2	2	1-4	日本古代・中世政治文化論 B (2 単位)
中国歴史風土論	不開講	2	1-4	中国歴史風土論 A (2 単位)
中国歴史地理論	不開講	2	1-4	中国歴史風土論 B (2 単位)
西洋史 IA	前期2	2	1-4	西洋前近代史 A (2 単位) <平成 24 年度以前>
西洋史 IB	後期2	2	1-4	西洋前近代史 B (2 単位) <平成 24 年度以前>
人文地理学各論 I (都市)	後期2	2	1-4	都市空間論 (4 単位)
人文地理学各論 II (村落)	前期2	2	1-4	村落空間論 (4 単位)
人文地理学各論 III (歴史地理)	後期2	2	1-4	歴史地域構造論 (4 単位)
地域地理学各論 I (日本)	前期2	2	1-4	比較地域構造論 (4 単位)
地域地理学各論 II (欧米)	後期2	2	1-4	
地域地理学各論 III (アジア・アフリカ)	後期2	2	1-4	
<p>備考 ・上記の科目は全学共通科目として履修登録するが、単位を修得した場合、文学部の学部科目（自由選択）として認定される。ただし、全学共通科目の必要単位が不足している場合、所定の手続きを経て、全学共通科目 A 群（平成 24 年度以前入学者）あるいは人文・社会科学系科目群（平成 25 年度入学者）に変更することができる。</p> <p>（「全学共通科目履修の手引き」を参照） 手続期間は、4 月初旬及び 10 月初旬のみ。詳細は文学部教務掛関係掲示板に掲示します。</p> <p>・担当者、曜時限等については「全学共通科目履修の手引き」または KULASIS を参照。</p>				

文学部提供全学共通科目「コンピュータリテラシー演習 I・II」・「文学部英語 A・B」

科目名 (対象回生)	講義別	担当者		コメ ン ト	毎週時間	単位	曜時限
		職	氏 名				
コンピュータリテラシー演習 I (1~4 回生)	講義・実習	准教授	宮崎 泉	重複履修は認められない。	前期 2	2	月 1
” II	”	講 師	辻内 宣博	”	前期 2	2	月 1
”	”	”	”	”	前期 2	2	月 2
”	”	”	”	”	後期 2	2	火 2
文学英語 A (2~4 回生)	講義	教 授	氣多 雅子	哲学基礎文化学系, 科学哲学科学史専修 (志望) 情報・史科学専修 (志望) の学生を対象とする。	前期 2	1	金 2
” B	”	准教授	児玉 聡	”	後期 2	1	金 2
” A	”	准教授	ACHARYA, Diwakar Nat	東洋文化学系の学生を対象とする。	前期 2	1	火 4
” B	”	准教授	横地 優子	”	後期 2	1	火 4
” A・B	”	准教授	家入 葉子	西洋文化学系の学生を対象とする。	2	1+1	金 3
” A・B	”	准教授	金澤 周作	歴史基礎文化学系, 二十世紀学専修 (志望), 現 代史学専修 (志望) の学生を対象とする。	2	1+1	火 2
” A	”	准教授	高嶋 航	”	前期 2	1	月 5
” B	”	准教授	小野沢 透	”	後期 2	1	月 5
” A	”	教 授	田窪 行則	行動・環境文化学系の学生を対象とする。	前期 2	1	金 3
” B	”	教 授	吉田 豊	”	後期 2	1	金 3
” A	”	准教授	太郎丸 博	”	前期 2	1	金 4
” B	”	教 授	伊藤 公雄	”	後期 2	1	金 4

備考

1. 「コンピュータリテラシー演習 I・II」

- ・全学共通科目 B 群 (平成 24 年度以前入学者) 及び現代社会適応科目群 (平成 25 年度入学者) の単位として認定される。授業内容等については「全学共通科目授業内容」を参照し、全学共通科目の「履修届」にて履修登録を行うこと。
- ・この科目は、平成 12 年度以前「基礎情報処理」「基礎情報処理実習」(ともに学部科目), 平成 13 年度「基礎情報処理 I」(全学共通科目), 平成 14 年度「基礎情報処理 I」(学部科目), 平成 15 年度「基礎情報処理 I」(全学共通科目), 平成 16・17 年度「基礎情報処理」(全学共通科目), 平成 18~24 年度「人文情報基礎 A・B」(全学共通科目), 平成 25 年度より「コンピュータリテラシー演習 I・II」として開講しているものである。

2. 「文学部英語 A・B」

- ・全学共通科目 C 群 (平成 24 年度以前入学者) 及び外国語科目群 (平成 25 年度入学者) の単位として認定される。(「全学共通科目履修の手引き」, 及び本便覧の『履修上の注意事項』を必ず読むこと。)
- ・授業内容については「全学共通科目授業内容」を参照し、全学共通科目の「履修届」にて履修登録を行うこと。
- ・原則として、自分の所属する系 (基礎現代文化学系は志望する専修) を対象とするクラスで A (前期)・B (後期) を履修すること。(受講クラス申込み, その他については掲示等で指示されるので注意しておくこと。)
- ・A (前期, 1 単位) と B (後期, 1 単位) で 2 単位修得すること。
- ・平成 11 年度以前入学者が単位を修得しても、卒業に必要な単位としては認定されないので注意すること。
- ・この科目は、平成 13 年度開講の「文学部英語」を平成 14 年度以降「文学部英語 A」(前期), 「文学部英語 B」(後期) に分割したものである。

# 1. 京都大学大学院文学研究科の理念と目標に関する内規

平成 21 年 1 月 15 日 文学研究科・文学部教授会決定

京都大学大学院文学研究科の理念と目標について、次のとおり定める。

京都大学大学院文学研究科は、京都大学創立以来の自由の学風を継承し、人文学の各分野の伝統を発展させつつ、他の学問分野との調和や融合をはかりながら、人文学における世界最高水準の研究と教育を推進し、その成果を通じて人類の調和ある共存に貢献することを目的として、以下の目標を定める。

- 一 京都大学大学院文学研究科は、人間の諸活動の原理的な解明と、絶えず変化する環境の中でのそれらのもつ価値の問い直しを通じて、思想、言語、文学、歴史、行動、さらに現代文化に関わる学術を教授・研究する。
- 一 京都大学大学院文学研究科は、人類の文化の継承と調和ある共存に寄与し、真に新しい文化を創造しうる卓越した学識と応用能力を有する、学術研究者および高度専門職業人を育成する。
- 一 京都大学大学院文学研究科は、地域密着的な視点と地球規模の広角的視点の両面から、京都・日本・アジアに固有の知的遺産の維持・継承・発展に寄与すると同時に、人類の文化全般についての多元的・総合的探求を推進する。
- 一 京都大学大学院文学研究科は、地域連携と国際交流の強化を通じて、教育と研究の成果を地域社会ならびに国際社会にひろく還元する。
- 一 京都大学大学院文学研究科は、人権を尊重し、環境に配慮した運営を行うとともに、社会的な説明責任に応える。

## 附 則

この内規は、平成 21 年 1 月 15 日から施行する。

## 2. 京都大学大学院文学研究科 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

平成 22 年 3 月 15 日 文学研究科・文学部教授会決定

### 大学院課程

京都大学大学院文学研究科は、「人間の諸活動の原理的な解明と、絶えず変化する環境の中でのそれらのもつ価値の問い直しを通じて、思想、言語、文学、歴史、行動、さらに現代文化に関わる学術を教授すること」という理念を教育の根幹とし、「人類の文化の継承と調和ある共存に寄与し、真に新しい文化を創造しうる卓越した学識と応用能力を有する学術研究者および高度専門職業人の育成」という教育目標を実現するために、次の方針のもとに教育課程を編成し、実施する。

1. 修士課程では、専修を単位とした専門分野の知識を習得し、その分野にかかわる研究能力と高度な専門性を必要とする職業を担うための能力を身につける。
2. 修士課程では、修士論文を完成し、自己の研究を専門分野の中に位置づけ、研究の成果と意義について客観的に把握する能力を身につける。
3. 博士後期課程では、専門的研究者として自立できる研究能力と、指導的な高度専門職業人としての能力を身につける。
4. 博士後期課程では、博士論文の完成にむけて、年次ごとに定められた研究計画書、研究報告書を提出し、研究を計画的に進めることで、専門家としての能力を身につける。
5. 大学院課程の五年間を通じて、専門家としての強い責任感と高い倫理性をもってその研究を遂行する能力を身につける。



### 3. 京都大学大学院文学研究科学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

平成 22 年 3 月 15 日 文学研究科・文学部教授会決定

#### 大学院課程

京都大学大学院文学研究科は、「人間の諸活動の原理的な解明と、絶えず変化する環境の中でのそれらのもつ価値の問い直しを通じて、思想、言語、文学、歴史、行動、さらに現代文化に関わる学術を教授すること」という理念を教育の根幹とし、「人類の文化の継承と調和ある共存に寄与し、真に新しい文化を創造しうる卓越した学識と応用能力を有する学術研究者および高度専門職業人の育成」という教育目標を掲げて、それを実現するために教育課程（カリキュラム）を編成・実施している。その課程を修了して学位が授与されるためには、学生には以下のことが求められる。

1. 修士課程にあつては、所定の年限以上在籍して、文学研究科が教育と研究の理念と目的に沿って設定した授業科目を履修し、基準となる三〇単位を修得することが、学位授与の要件である。さらに、修士論文の審査および試験に合格することが必須である。
2. 修士課程にあつては、幅広く深い学識を備え、専門分野における研究能力と、高度な専門性を必要とする職業を担うための優れた能力とを身につけているかどうか、課程修了の目安となる。
3. 博士後期課程にあつては、定められた年限在籍して、文学研究科の教育と研究の理念と目的に沿った研究指導を受け、かつ標準修業年限内に博士論文の審査および試験に合格することが、課程修了の要件である。
4. 博士後期課程にあつては、研究者として自立して活動しあるいは高度な専門業務に従事するために必要な能力や知識を身につけているかどうか、課程修了の目安となる。
5. 修士課程および博士後期課程の修了に際しては、高い倫理性と強固な責任感をもって、自らの研究を遂行する能力を身につけているかどうか、考慮されるべき重要な点となる。

## 4. 授業及び論文関係

### (1) 文学研究科の授業、研究指導及び学修方法に関する申合せ事項

昭和 51 年 12 月 9 日教授会決定

平成 16 年 3 月 22 日改正

1. (1) 各学生について、指導教授のほかに、研究科を担当する本学の教員のうちから、指導教員若干名を定める。  
(2) 当該専修の教授が欠員又は事故のある場合は、研究科会議の議を経て、指導教員の 1 名が指導教授の任務を代行することがある。
2. 学生は、学修及び研究の指導を受けるために、履修及び研究の計画を定め、所定の期日までにこれを提出しなければならない。
3. 修士課程の学生に必要な 30 単位のうち、各専修に属する必修科目の単位は、別表に掲げるとおりとし、その他の単位は、自由選択とすることができる。
4. 博士後期課程の学生は、研究指導を受けて、毎学年、演習などを履修し、学年末に研究報告書を提出しなければならない。

### 成績評価基準

成績は 100 点満点とし、評価基準は 60 点以上を合格、60 点未満は不合格とする。評点は、素点（一部の科目は「合格」・「不合格」）で表示するが、80 点以上を「優」、70 点～79 点を「良」、60 点～69 点を「可」、59 点以下を「不可」と記すこともある。

### 試験における不正行為の取扱いについて

受験に際し自己または他人のために不正行為をした者の当該セメスターの科目及び当該年度の通年科目の成績は、すべて無効とする。

## 大学院修士課程単位表

	必修		自由選択	合計	備考
	特殊講義	演習			
国語学国文学専修	12		18	30	
中国語学中国文学専修	8	8	14	30	
中国哲学史専修	16		14	30	
インド古典学専修	16		14	30	
仏教学専修	8	8	14	30	
西洋古典学専修	12		18	30	
スラブ語学スラブ文学専修	12		18	30	
ドイツ語学ドイツ文学専修	16		14	30	
英語学英米文学専修	8	12	10	30	
フランス語学フランス文学専修	8	8	14	30	
イタリア語学イタリア文学専修	8	8	14	30	
哲学専修	16		14	30	
西洋哲学史(古代・中世・近世)専修	16		14	30	
日本哲学史専修	16		14	30	
倫理学専修	16		14	30	
宗教学専修	16		14	30	
キリスト教学専修	16		14	30	
美学美術史学専修	4	8	18	30	
日本史学専修	12		18	30	
東洋史学専修	12		18	30	

	必修		自由選択	合計	備考
	特殊講義	演習			
西南アジア史学専修	12		18	30	
西洋史学専修	12		18	30	
考古学専修	12		18	30	
心理学専修	8	8	14	30	
言語学専修	8	12	10	30	
社会学専修	8	12	10	30	
地理学専修	8	8	14	30	
科学哲学科学史専修	8	8	14	30	
情報・史料学専修	8	8	14	30	
二十世紀学専修	8	8	14	30	
現代史学専修	8	8	14	30	

## (2) 履修登録について

### ●文学研究科科目を履修する場合（KULASIS での履修登録）

文学研究科科目を履修するには、KULASIS での履修登録が必要です。履修登録をしていない授業科目は、受講し試験（筆記、レポート等）を受けても単位認定がされないため、必ず期間内にパソコンから KULASIS に登録してください（携帯電話からは履修登録出来ません）。

	前期 (前期科目・通年科目・修士論文)	後期 (後期科目)
履修登録ページ公開日	4月2日(火)	9月24日(火)
履修登録期間	4月19日(金)～4月23日(火)	10月11日(金)～10月15日(火)
履修登録確認・修正期間	4月26日(金)～4月30日(火)	10月18日(金)～10月22日(火)
履修登録確認表開示期間	5月7日(火)～5月16日(木)	10月25日(金)～11月3日(日)

※集中講義の履修登録については、別途6月上旬頃に掲示で案内します。

### ●文学部科目を履修する場合（履修届での履修登録）

文学部科目の登録は「履修届」を提出期間内に文学部教務掛に提出してください。（ただし、学部科目の単位は、修了に必要な単位として認められません。）

	前期 (前期科目・通年科目)	後期 (後期科目)
届出用紙配布期間	4月15日(月)～	10月7日(月)～
提出期間	4月19日(金)・22日(月) 16:00	10月11日(金)・14日(月) 16:00

### ●他研究科科目を履修する場合（他研究科聴講願での履修登録）

他研究科科目の登録は「他研究科聴講願」を提出期限までに文学部教務掛に提出のうえ、各研究科の指示に従って手続きを行ってください。（ただし、他研究科科目の単位は、修了に必要な単位として認められません。）

	前期	後期
願出用紙配布期間	4月1日(月)～	10月1日(火)～
提出期限	4月17日(水)まで	10月16日(水)まで

### ●全学共通科目を履修する場合（KULASIS での履修登録）

全学共通科目の履修については、「全学共通科目履修登録について」の掲示に注意してください。（ただし、全学共通科目の単位は、修了に必要な単位として認められない。）

### (3) 修士論文の提出について

今年度の大学院修士課程修了希望者は、下記により論文題目届及び論文を提出すること。

なお、前年度に論文題目届及び論文を提出した後、修了を延期した者も今年度改めて論文題目届・論文とも提出すること。

#### 記

論文題目	<p><b>提出期間：文学部・文学研究科行事予定表のとおり</b></p> <p>文学部・文学研究科 HP に掲載の論文題目届用紙に論文題目その他必要事項を記入のうえ、指導教員の検印を受けて教務掛へ提出後、メールを送信すること。          なお、論文題目が英・欧文等の場合はパソコン等で作成のこと。(貼付可。)</p>										
論文	<p><b>提出期間：文学部・文学研究科行事予定表のとおり</b></p> <p>論文の表紙には、表紙ラベルに題目・入学年・専修・氏名等を記入して貼付し、教務掛へ提出すること。</p>										
注意事項	論文題目届・論文とも締め切り後は受理しない。										
書式	<p>論文は原則として日本語とする。          但し、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ドイツ語学ドイツ文学，英語学英米文学，フランス語学フランス文学専修学生はそれぞれの言語で書くものとする。</li> <li>その他の専修の学生も専修によって認められた場合には、日本語以外の言語で書いてもよい。</li> </ol>										
用紙枚数	<p><b>和文の場合</b></p> <p>400字詰原稿用紙に換算して、</p> <table> <tr> <td>文献文化学専攻</td> <td>50枚以内</td> </tr> <tr> <td>思想文化学専攻</td> <td>100枚以内</td> </tr> <tr> <td>歴史文化学専攻</td> <td>100枚以内</td> </tr> <tr> <td>行動文化学専攻</td> <td>100枚以内</td> </tr> <tr> <td>現代文化学専攻</td> <td>100枚以内</td> </tr> </table> <p>但し、中国哲学史，インド古典学，仏教学の各専修は100枚以内とする。          なお、歴史文化学専攻学生は別に400字詰原稿用紙5枚分に相当する論文要旨を本文の前に綴じ込むこと。</p> <p><b>欧文の場合</b></p> <p>A4判用紙に1ページ25行程度で50ページ以内とする。          なお、「外国語」で書いた論文には必ず和文の要旨を添付すること。</p>	文献文化学専攻	50枚以内	思想文化学専攻	100枚以内	歴史文化学専攻	100枚以内	行動文化学専攻	100枚以内	現代文化学専攻	100枚以内
文献文化学専攻	50枚以内										
思想文化学専攻	100枚以内										
歴史文化学専攻	100枚以内										
行動文化学専攻	100枚以内										
現代文化学専攻	100枚以内										
その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>修士論文には黒表紙をつけ仮製本して提出すること。              論文の提出期限は厳守し、提出後の誤字・脱字の訂正、プリントアウトの欠損などがないように十分な点検をおこなうこと。  <u>パソコン使用の場合、ハードディスクやUSBの異常、または機器の故障を理由とした提出延期や不完全な形での提出は認めない。</u></li> <li>論文題目届提出後は原則として題目の変更は認めない。止むを得ず変更する場合は、教務掛交付の「修士論文題目変更届」（所定用紙）に指導教員の確認印を得て教務掛へ届け出ること。              提出された論文題目は、学位記データに使用される。</li> <li>論文題目届を提出した者は修了予定者として扱う。その後、事情により留年することになった者は、必ず教務掛交付の「論文提出取止届」に指導教員の承認印を受けて提出すること。</li> <li><u>修士論文は口頭試問の前に限り撤回することができる。</u></li> <li>修士論文は返却しない。審査終了後、本研究科で製本し文学研究科図書館で保管する。従って各自「写し」をとっておくことが望ましい。</li> </ol>										

## (4) 京都大学大学院文学研究科課程博士論文提出の手續

(全体の流れ)

博士後期 1 年次	4 月	「研究計画書」を提出，希望する指導教員 3 名を届けでる。
	3 月	「論文作成計画書」および「研究報告書」を提出し，第 1 年次研究指導認定を受ける。
博士後期 2 年次	3 月	「研究報告書」を提出，第 2 年次研究指導認定を受ける。
博士後期 3 年次	7 月末	「資格申請書」を提出，承認されれば「博士論文提出資格」を得る。
	12 月	「課程博士論文」を提出。

※「論文作成計画書」、「研究報告書」等の表紙は文学部・文学研究科HPにあるので各自ダウンロードすること。

(説明)

### 1. 研究計画書

博士後期課程全体を通じての研究主題・修士論文までの研究実績との関連性・研究の具体的計画を年度をおったかたちで 400 字詰原稿用紙 5 枚程度の分量にまとめて説明し，第 1 年次の 4 月に提出する。また希望する指導教員 3 名を選んで申請する。指導教員は「研究計画書」を通覧し，必要に応じて，指導教員の選定を含めた補足・変更を求め，主任指導教員 1 名を選ぶ。

### 2. 博士論文指導

博士論文指導の時間を定期的に設けるので，必ず出席すること。

### 3. 論文作成計画書

第 1 年次の 3 月に，

- (1) 論文の主題
- (2) 現在までの研究状況
- (3) 今後の進展の見通し
- (4) 自己の研究の国内外における位置づけ

以上につき，400 字詰原稿用紙で 10 枚程度の分量にまとめて提出する。執筆にあたっては実際にどのような論文を書こうとしているのか，どのように研究をすすめるのか，その研究によりどのような点が明らかにされるのかが具体的にわかるよう，明晰に記述しなくてはならない。

指導教員は，計画書の内容について検討し，不備と認めた場合に補足・変更を求める。

提出後に止むをえず主題変更・修正をおこなう必要が出てきた際は，ただちに主任指導教員に届けでること。

#### 4. 各年次研究報告書

- (1) 当初の研究計画および論文作成計画に沿った、独立の研究論文としての実質をそなえたものを、第1・2年次末に提出する。400字詰50枚程度のものを基準にする。審査を経て学会誌に掲載された論文の抜刷などでもかまわない。
- (2) 指導教員は、(1)の研究報告書の内容が不備と認めた場合には翌年度6月末までに書き直しを求め、改めて研究指導認定を行う。
- (3) 1年次または2年次に研究報告書未提出などの理由により研究指導認定を受けることが出来なかったものは、翌年度以降に所定の研究報告書を提出し、各年次の研究指導認定を受けなければならない。なおその際、複数年次の研究報告書を同一年度に提出することは出来ない。
- (4) 3年次については次のように取り扱う
  - ・在学中に課程博士論文を完成し、提出した者は学位論文提出の際に作成した「論文要旨」を研究報告として提出すること。
  - ・在学中に学位論文を提出せずに研究指導認定を受ける者は、(1)に準じて研究報告を作成し、提出すること。なお、研究指導認定を受けた者は当該年度末に研究指導認定退学することになるので、別途所定の手続きを取ること。3年次で研究報告を提出する期間は1,2年次とは異なるので、予定表を確認のうえ遺漏のないように提出すること。

#### 5. 資格申請書

上記でいう第1年次および第2年次に相当する2回の研究指導認定を受けたものは、第2年次研究指導認定を受けた翌年度(第3年次)の7月末に、以下の内容を含む「資格申請書」を提出する(分量・体裁・内容については専修ごとに基準を作成のうえ公表するが、博士論文を実際に完成できるか否か判断できるだけの内容をそなえたものとする)。その際、以下の各項目は必ず含んでいなければならない。

- (1) 論文の進行状況と今後の作業の見通し
- (2) 論文全体の章・節および見出しを含む詳細な目次
- (3) 各章・節の内容についての要旨

本申請書提出後、指導委員会(指導教員3名に、必要があれば他の教員を加える)による審査をおこない、承認されれば「博士論文提出資格」を与える。「博士論文提出資格」の有効期限は博士課程在学中および研究指導認定退学後3年間、論文の提出時期は別途定める(行事予定表に明示)。

「資格申請書」が審査の結果不承認となったとき、あるいは一旦提出し承認を受けた後で論文構想に変更が生じたときには、次回の提出時期に再度承認を求めるものとする。

「資格申請書」の最終提出期限は博士課程退学以前の定められた時期(行事予定表に明示)とする。提出されないまま退学した場合、以後の課程博士論文の提出資格は認めない。

#### 6. 論文

第3年次の12月に、別紙「博士學位論文出願手続について」(教務掛で資格申請が認められた時に交



付及び文学研究科ホームページに掲載)を参照し、誤りのないよう提出すること。

課程博士論文の提出期限は、「博士論文提出資格」を有する最終年度12月上旬(掲示で周知)の定められた時期とする。第3年次で論文を提出せず退学する者は、最終年次研究報告を提出し当該年度の研究指導認定を受ける。

## 7. 論文審査

課程博士論文受理後、指導委員会の中から選ばれた委員3名による調査委員会が論文審査を開始する。原則として、課程博士論文を受理の後3カ月以内に、審査・試問を終了するものとする。ただし、この期間内に審査を終了できなかった場合、6カ月以内の期間延長をおこなうことができる。

## 8. 博士後期課程第3年次において論文を完成できない場合

- (a) 第3年次7月に「資格申請書」を完成・提出できなかった場合。
- (b) 同年次12月に論文を提出できなかった場合。

いずれの場合も、その旨をただちに主任指導教員に届け出るものとする。

上記(a)・(b)のような場合、「資格申請書」および課程博士論文提出の機会は、それ以後半年ごとに与えられる。ただし、「資格申請書」については、5.の項目に明記したように、博士後期課程退学以前の定められた時期(行事予定表に明示)に提出しなければならない。

## 9. 留学計画

博士後期課程の途中で留学するときには、どの大学院の博士課程(ないしそれに相当する水準の教育研究機関)においてどの教授の指導を受けるか、また研究進捗状況と留学の関連につき指導教員と協議し、助言・承認を得るものとする。

留学を終了し帰国する際には、留学期間における研究状況について、留学先の指導教授による説明書(ないしそれに代るもの)をたずさえることが望ましい。

## 10. 留学を事由とする休学者の論文提出資格

博士後期課程在学中に、休学のうえ海外の大学院博士課程(ないしそれに相当する水準の教育研究機関)に留学して正規の研究指導を受けた者については、本研究科博士後期課程における在学期間が通算で1年(修士課程の修了の要件を満たした者で、大学院における在学期間が2年未満のものにあつては、その在学期間を含めて3年)以上の場合、以下に定める申し合せによって審査の対象とすることができる。

### 課程博士論文提出の手続のうち留学を事由とする休学者の論文提出資格に関する申し合せ

#### 【目的】

博士後期課程在学中に、休学のうえ海外の大学院博士課程(ないしそれに相当する水準の教育研究機関)に留学して正規の研究指導を受けた者について、一定の条件を満たした者については、課程博士論文提出資格申請を認める。

**【資格】**

博士後期課程在学中に、休学のうえ海外の大学院博士課程（ないしそれに相当する水準の教育研究機関）に留学して正規の研究指導を受けた者のうち、本研究科博士後期課程における在学期間が通算で1年（修士課程の修了の要件を満たした者で、大学院における在学期間が2年未満の者にあつては、その在学期間を含めて3年）以上の者で、留学による休学期間を含め、博士後期課程の期間が、その年度の末をもって3年以上となる者。

**【審査手続き等】**

- 1 資格申請時及び論文提出時には在学していること。
- 2 留学による休学中の各年次の、研究報告書の提出を要しない。
- 3 通常の申請期間に受付け、所属する専修において指導委員会による審査を行い、研究科教授会で承認を受けるものとする。

## (5) 京都大学文学研究科課程博士論文執筆要綱

(文学研究科共通ガイドライン)

### 1. 使用言語

論文には原則として日本語を用いる。但し、専修によって認められた場合にはその他の言語で書いてもよい。なお、主論文要旨は日本語で書くこと。

### 2. 体裁

縦（横）書きとし、正本1部・副本2部ともに製本のうえ提出する。製本仕上がりの大きさはA4判もしくはB5判とする。なお、手続用以外に審査用としてさらに3部必要である。

論文は国立国会図書館、京都大学附属図書館、文学研究科図書館において保存するので、堅牢な製本とすよう注意すること。

表紙には論文題目・氏名を省略せずに記載する。複数冊に分けるときは、それぞれの表紙に記入のうえ、全体の通し番号をつける。

### 3. 用紙・論文書式

正本・副本ともにコピー機による複写を提出してもかまわない。

(1) 和文手書きの場合は、縦書き B4 判 400 字詰原稿用紙二つ折（または B5 判 200 字詰原稿用紙）、ペンまたはボールペン書きとする。横書きの場合は、A4 判原稿用紙でもよい。

(2) ワープロ・パソコンまたはタイプライター使用の場合は、A4 判または B5 判の上質紙に印刷する（ワープロでの印字には、レーザープリンターの使用が望ましい）。感熱紙など、印字内容の長期保存に適さない紙を用いてはならない。

a. 和文書式については、横書き・縦書きとも、製本仕上がり状態に留意の上、読みやすい仕上がりになるよう定めるものとする（〔例〕横書き毎ページ全角文字 30 字×25 行程度、縦書き毎ページ全角文字 50 字×15 行程度が目安となる）。

b. 欧文の場合、ダブルスペースに印字する。

c. その他の文字の場合、上記のいずれかに準じて定める。

(3) 参考論文・主論文要旨は、上記に準ずる。付図・付表については、必要があれば見やすさを損なわない範囲で用紙・書式の変更を行っても差し支えない。

### 4. 論文の構成

(1) 目次・本文・注の構成とする。より具体的な章立てなどを統一する必要がある場合は、各講座もしくは専攻で定める。参考論文は本項規程の扱いに準じる（ただし、学術誌などに既公刊の論文を参考として提出する場合、強いて体裁を合わせる必要はない）。

(2) 引用した単行本については、初出の個所で、

著者（編集）名・書名・出版地・出版社・出版年・総ページ数

を省略せずに記すこと。未公開博士論文についても、上に準じる。

[例] 尾崎雄二郎 『漢字の年輪』, 東京, 角川書店, 1989年, 335 ページ。

Klaus Röhrborn und Wolfgang Veenker(hrsg.), *Sprachen des Buddhismus in Zentralasien*, Wiesbaden : Otto Harrassowitz, 1983, 141 S.

周一良 『魏晉南北朝史札記』, 北京, 中華書局, 1985年, 總 484 頁。

Richard VanNess Simmons, “The Hangzhou dialect”, Ph. D. thesis, Seattle : University of Washington, 1992, 709 p.

(3) 引用した論文については、初出の個所で、

著者名・論文名・掲載雑誌（論文集）名・巻号・出版年・掲載ページ

を省略せずに記すこと。また、引用ページについてはそのつど指示すること。

会議論文集（Proceedings）についても、上に準じる。

[例] 杉藤美代子「音変化の過程に関する一考察—「四つ仮名」の混同と「ザゼゾーダデド」の混同—」, (国語学会)『国語学』138, 1984年, 20 - 34 ページ。

Hideo Suzuki, “Climatic change and human migration”, *Computational Analyses of Asian & African Languages* No. 22, 1984, pp. 1-7.

(4) 初出以外の引用文献は、どの著作を指示しているかがはっきりわかるように「○○前掲論文」などと記すこと。

(5) 論文末尾に一括して引用文献目録をつけ、本文中では「Suzuki (1984)」のように示すかたちをとってもよい。

(6) 各講座で適当と認める場合は、欧文論文の体裁・欧文書誌記載などについて、たとえば、

*A Manual of Style, The Chicago Manual of Style.*

のような基本的なマニュアルを指定し、統一することも考えられる。

5. 論文の提出期限は厳守し、提出後の誤字・脱字の訂正、プリントアウトの欠損などがないように十分な点検をおこなうこと。

ワープロ・パソコン使用の場合、ハードディスクやフロッピーディスクの異常、または機器の故障を理由とした提出延期や不完全な形での提出は認めない。

(6) 平成25年度文学研究科開講科目一覽

【文献文化学】

講義コード	科目名		週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通	
科目コード・連番	専修・科目	講義形態								
1330003	国語学国文学	特殊講義	2	4	通年	水2	木田 章義			
1330004	国語学国文学	特殊講義	2	4	通年	金2	大谷 雅夫			
1331005	国語学国文学	特殊講義	2	2	前期	水4	須田 千里	二十世紀学 005 ◎総合人間学部	◎人間・環境学研究科	
1331006	国語学国文学	特殊講義	2	2	後期	水4	須田 千里	二十世紀学 006 ◎総合人間学部	◎人間・環境学研究科	
1331007	国語学国文学	特殊講義	2	2	前期	火3	佐野 宏	◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部	
1331008	国語学国文学	特殊講義	2	2	後期	火3	佐野 宏	◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部	
1331009	国語学国文学	特殊講義	2	2	前期	金4	清水 康次	二十世紀学 007		
1331010	国語学国文学	特殊講義	2	2	後期	金4	清水 康次	二十世紀学 008		
1331011	国語学国文学	特殊講義	2	2	前期	月2	岡島 昭浩			
1331012	国語学国文学	特殊講義	2	2	後期	月2	岡島 昭浩			
1331013	国語学国文学	特殊講義	30	2	前期	集中	小峯 和明	美学美術史学 015		
1340016	国語学国文学	演習	2	4	通年	金5	大槻 信			
1340017	国語学国文学	演習	2	4	通年	月4	金光 桂子			
1340018	国語学国文学	演習	2	4	通年	火4	森 真理子			
1341019	国語学国文学	演習	2	2	後期	木3	岩坪 健			
M112001	国語学国文学	演習	2	4	通年	月3	木田 章義			
M112002	国語学国文学	演習	2	4	通年	火5	大谷 雅夫			
M112003	国語学国文学	演習	2	4	通年	水1	木田・大谷・大槻・金光			
M990001	修士論文(国語学国文学)				通年		木田・大谷・大槻・金光			
1431005	中国語学中国文学	特殊講義	2	2	前期	火1	井波 陵一	中国哲学史 005		
1431006	中国語学中国文学	特殊講義	2	2	後期	火1	井波 陵一	中国哲学史 006		
1431007	中国語学中国文学	特殊講義	2	2	前期	月5	金 文京			
1431008	中国語学中国文学	特殊講義	2	2	後期	月5	金 文京			
1431009	中国語学中国文学	特殊講義	2	2	前期	木1	池田 巧			
1431010	中国語学中国文学	特殊講義	2	2	後期	木1	池田 巧			
1431011	中国語学中国文学	特殊講義	2	2	前期	火2	道坂 昭廣	◎人間・環境学研究科		
1431012	中国語学中国文学	特殊講義	2	2	後期	火2	道坂 昭廣	◎人間・環境学研究科		
1431013	中国語学中国文学	特殊講義	2	2	後期	水3	貴志 俊彦	東洋史学 013	二十世紀学 017	
1431014	中国語学中国文学	特殊講義	30	2	前期	集中	杉村 博文			
M121001	中国語学中国文学	特殊講義	2	2	前期	金1	高田 時雄			
M121002	中国語学中国文学	特殊講義	2	2	後期	金1	高田 時雄			
M123003	中国語学中国文学	演習	2	2	前期	金3	平田 昌司			
M123004	中国語学中国文学	演習	2	2	後期	金3	平田 昌司			
M123005	中国語学中国文学	演習	2	2	前期	火3	木津 祐子			
M123006	中国語学中国文学	演習	2	2	後期	火3	木津 祐子			
M123007	中国語学中国文学	演習	2	2	前期	水4	緑川 英樹			
M123008	中国語学中国文学	演習	2	2	後期	水4	緑川 英樹			
M123009	中国語学中国文学	演習	隔週2	2	通年	水2	平田・木津・緑川			
1463025	中国語学中国文学	外国人実習	2	1	前期	木4	王 宜瑗			
1463026	中国語学中国文学	外国人実習	2	1	後期	木4	王 宜瑗			
M990002	修士論文(中国語学中国文学)				通年		平田・木津・緑川 他			
1530002	中国哲学史	特殊講義	2	4	通年	金3	宇佐美 文理	美学美術史学 008		
1530003	中国哲学史	特殊講義	2	4	通年	火4	船山 徹	◎仏教学 003		
1530004	中国哲学史	特殊講義	2	4	通年	木2	武田 時昌			
1531005	中国哲学史	特殊講義	2	2	前期	火1	井波 陵一	◎中国語学中国文学 005		
1531006	中国哲学史	特殊講義	2	2	後期	火1	井波 陵一	◎中国語学中国文学 006		
1540007	中国哲学史	演習	2	4	通年	水5	宇佐美 文理			
1540008	中国哲学史	演習	2	4	通年	火2	吉本 道雅	◎東洋史学 020		
1540009	中国哲学史	演習	2	4	通年	水3	木下 鉄矢			

講義コード	科目名		週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通	
	科目コード	連番								
1540	010	中国哲学史	演習	2	4	通年	月3	古勝 隆一		
1541	013	中国哲学史	演習	2	2	前期	金4	金 志玟	◎人間・環境学研究所	◎総合人間学部
1541	014	中国哲学史	演習	2	2	後期	金4	金 志玟	◎人間・環境学研究所	◎総合人間学部
M990	003	修士論文(中国哲学史)				通年		宇佐美 文理 他		
1633	003	インド古典学	特殊講義	2	2	前期	木2	横地 優子		
1633	004	インド古典学	特殊講義	2	2	前期	月5	Diwakar Acharya		
1633	005	インド古典学	特殊講義	2	2	後期	水3	VASUDEVA, Somdev		
1633	006	インド古典学	特殊講義	2	2	前期	水5	藤井 正人		
1633	007	インド古典学	特殊講義	2	2	後期	水5	藤井 正人		
1633	008	インド古典学	特殊講義	2	2	前期	火5	山下 勤		
1633	009	インド古典学	特殊講義	2	2	前期	金2	スダン・シャキヤ		
1633	010	インド古典学	特殊講義	2	2	後期	火5	Sarma, S.R.		
1633	011	インド古典学	特殊講義	2	2	後期	金3	堂山 英次郎		
1633	012	インド古典学	特殊講義	2	2	後期	木4	山口 周子		
1633	013	インド古典学	特殊講義	30	2	前期	集中	榊 和良		
1643	014	インド古典学	演習	2	4	通年	火1	横地・Acharya・藤井・VASUDEVA		
1644	015	インド古典学	演習	2	2	前期	水2	横地 優子		
1644	016	インド古典学	演習	2	2	後期	木2	横地 優子		
1644	017	インド古典学	演習	2	2	前期	火2	志田 泰盛		
1644	018	インド古典学	演習	2	2	後期	火2	Diwakar Acharya		
1644	019	インド古典学	演習	2	2	前期	月2	VASUDEVA, Somdev		
1644	020	インド古典学	演習	2	2	後期	月2	VASUDEVA, Somdev		
1643	021	インド古典学	演習	2	4	通年	木5	Diwakar Acharya		
1644	022	インド古典学	演習	2	2	前期	木4	山口 周子		仏教学 010
1644	023	インド古典学	演習	2	2	後期	月5	河崎 豊		仏教学 011
1644	024	インド古典学	演習	2	2	前期	金4	VASUDEVA, Somdev		
1644	025	インド古典学	演習	2	2	後期	金4	VASUDEVA, Somdev		
1653	026	インド古典学	講読	2	2	前期	月4	横地 優子		
1653	027	インド古典学	講読	2	2	後期	月4	藤井 正人		
1653	028	インド古典学	講読	2	2	前期	木3	VASUDEVA, Somdev		仏教学 012
1653	029	インド古典学	講読	2	2	後期	木3	VASUDEVA, Somdev		仏教学 013
1653	030	インド古典学	講読	2	2	前期	金5	デロシュ マルク・ヘンリ		◎仏教学 014
1653	031	インド古典学	講読	2	2	後期	金5	デロシュ マルク・ヘンリ		◎仏教学 015
8104	135	インド古典学	語学	2	2	通年	金5	小松 久恵	ヒンディー語(初級)	大学院共通科目 アジア・アフリカ地域研究研究科 西南アジア史学 135
8105	136	インド古典学	語学	2	2	通年	火3	西岡 美樹	ヒンディー語(中級)	大学院共通科目 ◎アジア・アフリカ地域研究研究科
M990	004	修士論文(インド古典学)				通年		横地 優子 他		
1830	002	仏教学	特殊講義	2	4	通年	水4	宮崎 泉		
1830	003	仏教学	特殊講義	2	4	通年	火4	船山 徹		中国哲学史 003
1830	004	仏教学	特殊講義	2	4	通年	木5	室寺 義仁		
1840	005	仏教学	演習	2	4	通年	火3	宮崎 泉		
1840	006	仏教学	演習	2	4	通年	水5	熊谷 誠慈		
1841	007	仏教学	演習	2	2	後期	金2	志賀 浄邦		
1841	008	仏教学	演習	2	2	前期	月3	加納 和雄		
1841	009	仏教学	演習	2	2	後期	月3	佐藤 直実		
1841	010	仏教学	演習	2	2	前期	木4	山口 周子		◎インド古典学 022
1841	011	仏教学	演習	2	2	後期	月5	河崎 豊		◎インド古典学 023
1851	012	仏教学	講読I	2	2	前期	木3	VASUDEVA, Somdev		◎インド古典学 028
1851	013	仏教学	講読I	2	2	後期	木3	VASUDEVA, Somdev		◎インド古典学 029
1853	014	仏教学	講読II	2	2	前期	金5	デロシュ マルク・ヘンリ		インド古典学 030
1853	015	仏教学	講読II	2	2	後期	金5	デロシュ マルク・ヘンリ		インド古典学 031

講義コード 科目コード・連番	科目名		週 時間	単 位	開 講 期	曜 時 限	担 当 者	備 考	他専修・他学部(研究科)共通	
	専修・科目	講義形態								
8078 127	仏教学	語学	2	2	通年	月1	高橋 慶治	チベット語(初級)	大学院共通科目	
8079 128	仏教学	語学	2	2	通年	金3	宮崎 泉	チベット語(中級)	大学院共通科目	
8046 122	仏教学	語学	4	2	前期	月5木5	VASUDEVA, Somdev	サンスクリット4時間前期コース	大学院共通科目	
8046 123	仏教学	語学	4	2	後期	月5木5	VASUDEVA, Somdev	サンスクリット4時間後期コース	大学院共通科目	
8062 121	仏教学	語学	2	2	通年	木4	置田 清和	サンスクリット(2時間コース)	大学院共通科目	西南アジア史学 121
M990 005	修士論文(仏教学)				通年		宮崎 泉 他			
3130 003	西洋古典学	特殊講義	2	4	通年	火4	高橋 宏幸			
3130 004	西洋古典学	特殊講義	2	4	通年	水3	チエシュコ、マルティン			
3131 005	西洋古典学	特殊講義	30	2	前期	集中	西村 賀子			
3140 006	西洋古典学	演習	2	4	通年	木2	高橋 宏幸			
3140 007	西洋古典学	演習	2	4	通年	金4	チエシュコ、マルティン			
3141 008	西洋古典学	演習	2	2	前期	月5	平山 晃司			
3141 009	西洋古典学	演習	2	2	後期	火2	山下 修一		西洋史学 010	
3141 010	西洋古典学	演習	2	2	前期	月3	早瀬 篤		◎西洋哲学史 015	
3151 011	西洋古典学	講読	2	2	前期	水2	山下 修一			
3151 012	西洋古典学	講読	2	2	後期	水2	チエシュコ、マルティン			
3151 013	西洋古典学	講読	2	2	前期	水4	高橋 宏幸			
3151 014	西洋古典学	講読	2	2	後期	水4	高橋 宏幸			
M990 006	修士論文(西洋古典学)				通年		高橋 宏幸 他			
3231 003	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	2	2	前期	月2	佐藤 昭裕			
3231 004	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	2	2	後期	月2	佐藤 昭裕			
3230 005	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	2	4	通年	月3	服部 文昭		◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部
3231 006	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	2	2	後期	木4	楯岡 求美			
3231 007	スラブ語学スラブ文学	特殊講義	2	2	前期	月5	Grecko, Valerij			
3241 008	スラブ語学スラブ文学	演習	2	2	前期	水2	佐藤 昭裕			
3241 009	スラブ語学スラブ文学	演習	2	2	後期	水2	佐藤 昭裕			
3241 010	スラブ語学スラブ文学	演習	2	2	前期	月4	佐藤 昭裕			
3241 011	スラブ語学スラブ文学	演習	2	2	後期	月4	佐藤 昭裕			
3241 012	スラブ語学スラブ文学	演習	2	2	後期	木5	Grecko, Valerij			
8082 130	スラブ語学スラブ文学	語学	2	2	通年	金4	佐藤 昭裕	ポーランド語(初級I)	大学院共通科目	
8033 132	スラブ語学スラブ文学	語学	2	2	通年	火3	Bogna Sasaki	ポーランド語(初級II)	大学院共通科目	
8086 133	スラブ語学スラブ文学	語学	2	2	通年	水4	Bogna Sasaki	ポーランド語(中級II)	大学院共通科目	
M990 007	修士論文(スラブ語学スラブ文学)				通年		佐藤 昭裕			
3331 003	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	2	前期	月4	奥田 敏広		◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部
3331 004	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	2	後期	月4	奥田 敏広		◎人間・環境学研究科	
3331 005	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	2	前期	金4	河崎 靖		◎総合人間学部	
3331 006	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	2	後期	金4	河崎 靖		◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部
3331 007	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	2	前期	木3	Dieter Trauden			
3331 008	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	2	後期	木3	Dieter Trauden			
3331 009	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	2	前期	火3	岡田 暁生		美学美術史学 010	
3331 010	ドイツ語学ドイツ文学	特殊講義	2	2	後期	火3	岡田 暁生		美学美術史学 011	
3345 015	ドイツ語学ドイツ文学	演習III	2	2	前期	金5	松村 朋彦			
3345 016	ドイツ語学ドイツ文学	演習III	2	2	後期	金5	松村 朋彦			
M183 001	ドイツ語学ドイツ文学	演習	2	2	前期	水3	松村 朋彦			
M183 002	ドイツ語学ドイツ文学	演習	2	2	後期	水3	松村 朋彦			
M990 008	修士論文(ドイツ語学ドイツ文学)				通年		松村 朋彦			
M191 001	英語学英米文学	特殊講義	2	2	後期	火4	若島 正			
M191 002	英語学英米文学	特殊講義	2	2	前期	火4	森 慎一郎			
M190 003	英語学英米文学	特殊講義	2	4	通年	月4	廣田 篤彦			
M191 004	英語学英米文学	特殊講義	2	2	後期	木3	前川 玲子			
M191 005	英語学英米文学	特殊講義	2	2	前期	木2	谷口 一美		◎人間・環境学研究科	

講義コード	科目名		週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通
	科目コード	連番							
M191006		英語学英米文学	2	2	後期	木2	谷口 一美		◎人間・環境学研究所
M191007		英語学英米文学	2	2	前期	月2	林 以知郎		
M191008		英語学英米文学	2	2	後期	月2	林 以知郎		
M191009		英語学英米文学	2	2	前期	火3	西谷 拓哉		
M191010		英語学英米文学	2	2	後期	火3	西谷 拓哉		
M191011		英語学英米文学	2	2	前期	金2	藤井 光		
M191012		英語学英米文学	2	2	前期	金2	西村 秀夫		
M191013		英語学英米文学	2	2	後期	金2	西村 秀夫		
M191014		英語学英米文学	2	2	前期	水2	服部 典之		
M191015		英語学英米文学	2	2	後期	水2	服部 典之		
M191016		英語学英米文学	2	2	前期	木1	Michael Jamentz		
M191017		英語学英米文学	2	2	後期	木1	Michael Jamentz		
M191018		英語学英米文学	2	2	前期	月3	Gallimore, Daniel		
M191019		英語学英米文学	2	2	後期	月3	Gallimore, Daniel		
M191020		英語学英米文学	30	2	前期	集中	長畑 明利		
M194026		英語学英米文学	15	1	前期	集中	Jennifer Smith	世界展開力	
M192021		英語学英米文学	2	4	通年	水4	若島 正		
M192022		英語学英米文学	2	4	通年	金3	佐々木 徹		
M192023		英語学英米文学	2	4	通年	金4	家入 葉子		
M192024		英語学英米文学	2	4	通年	月1	廣田 篤彦		
M192025		英語学英米文学	2	4	通年	火2	森 慎一郎		
M990009		修士論文(英語学英米文学)			通年		佐々木 徹 他		
3630004		フランス語学フランス文学	2	4	通年	水4	田口 紀子		
3631005		フランス語学フランス文学	2	2	前期	月4	増田 眞		
3631006		フランス語学フランス文学	2	2	後期	月4	増田 眞		
3631007		フランス語学フランス文学	2	2	前期	月3	永盛 克也		
3631008		フランス語学フランス文学	2	2	後期	月3	永盛 克也		
3631009		フランス語学フランス文学	2	2	前期	木3	エリック・アヴォカ		
3631010		フランス語学フランス文学	2	2	後期	木3	エリック・アヴォカ		
3630011		フランス語学フランス文学	2	4	通年	水5	大浦 康介		
3630012		フランス語学フランス文学	2	4	通年	金2	王寺 賢太		西洋史学 005
3630013		フランス語学フランス文学	2	4	通年	水3	稲垣 直樹		◎総合人間学部
3631014		フランス語学フランス文学	2	2	前期	火2	嶋崎 陽一		
3631015		フランス語学フランス文学	2	2	後期	火2	嶋崎 陽一		
3645019		フランス語学フランス文学	2	2	前期	木4	エリック・アヴォカ		
3645020		フランス語学フランス文学	2	2	後期	木4	エリック・アヴォカ		
M202001		フランス語学フランス文学	2	4	通年	火4	田口・増田・永盛		
M203002		フランス語学フランス文学	2	2	前期	火3	エリック・アヴォカ		
M203003		フランス語学フランス文学	2	2	後期	火3	エリック・アヴォカ		
M990010		修士論文(フランス語学フランス文学)			通年		田口 紀子 他		
3730002		イタリア語学イタリア文学	2	4	通年	金4	天野 恵		
3730003		イタリア語学イタリア文学	2	4	通年	火2	村瀬 有司		
3730004		イタリア語学イタリア文学	2	4	通年	水3	ダニエラ・シャロム・ヴァガータ		
3730005		イタリア語学イタリア文学	2	4	通年	水5	ダニエラ・シャロム・ヴァガータ		
3731006		イタリア語学イタリア文学	2	2	後期	月2	内田 健一		
3731007		イタリア語学イタリア文学	30	2	後期	集中	鈴木 信五		
3740008		イタリア語学イタリア文学	2	4	通年	木3木4	天野・村瀬・ヴァガータ		
3740009		イタリア語学イタリア文学	2	4	通年	火4	天野 恵		
3740010		イタリア語学イタリア文学	2	4	通年	金2	村瀬 有司		
3760013		イタリア語学イタリア文学	2	2	通年	火3	ダニエラ・シャロム・ヴァガータ		
M990011		修士論文(イタリア語学イタリア文学)			通年		天野 恵		



【思想文化学】

講義コード	科目名		週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通	
	科目コード・連番	専修・科目								
5130	002	哲学	特殊講義	2	4	通年	水1	伊藤 邦武		
5130	003	哲学	特殊講義	2	4	通年	水5	出口 康夫		
5131	004	哲学	特殊講義	2	2	前期	火5	西村 正秀		
5140	005	哲学	演習	2	4	通年	月5	出口 康夫		
5141	006	哲学	演習	2	2	前期	月4	須藤 訓任		
5141	007	哲学	演習	2	2	後期	火5	久米 暁		
M222	001	哲学	演習	4	4	通年	金4金5	伊藤・出口		
M222	002	哲学	演習	2	4	通年	火5	矢田部 俊介		◎基礎現代文化学系 001
M224	003	哲学	語学	2	2	通年	金3	早瀬 篤	ギリシア語(2時間コース)	
M225	004	哲学	語学	2	2	通年	木3	堀川 宏	ラテン語(2時間コース)	
M990	012	修士論文(哲学)				通年		伊藤 邦武 他		
5230	006	西洋哲学史	特殊講義	2	4	通年	水3	中畑 正志	古代	
5231	007	西洋哲学史	特殊講義	30	2	前期	集中	近藤 智彦	古代	
5234	008	西洋哲学史	特殊講義	2	2	後期	金3	川添 信介	中世	
5234	009	西洋哲学史	特殊講義	2	2	前期	木3	仁子 寿晴	中世	
5234	010	西洋哲学史	特殊講義	30	2	前期	集中	山内 志朗	中世	
5235	011	西洋哲学史	特殊講義	2	4	通年	月5	福谷 茂	近世	
5235	012	西洋哲学史	特殊講義	隔週4	4	通年	木4木5	上野 修	近世	
5240	013	西洋哲学史	演習	2	4	通年	金2	中畑 正志	古代	
5240	014	西洋哲学史	演習	隔週4	4	通年	木4木5	中畑 正志	古代	
5241	015	西洋哲学史	演習	2	2	前期	月3	早瀬 篤	古代	西洋古典学 010
5241	016	西洋哲学史	演習	2	2	後期	月3	早瀬 篤	古代	
5243	017	西洋哲学史	演習	2	2	前期	月5	川添 信介	中世	
5243	018	西洋哲学史	演習	2	2	後期	月5	川添 信介	中世	
5243	019	西洋哲学史	演習	2	2	前期	金5	川添 信介	中世	
5243	020	西洋哲学史	演習	2	2	後期	金5	川添 信介	中世	
5243	021	西洋哲学史	演習	2	2	前期	木2	横田 蔵人	中世	
5243	022	西洋哲学史	演習	2	2	後期	木2	横田 蔵人	中世	
5242	023	西洋哲学史	演習	隔週4	4	通年	木4木5	川添 信介	中世	
5244	024	西洋哲学史	演習	2	4	通年	火5	福谷 茂	近世	
5244	025	西洋哲学史	演習	2	4	通年	水5	福谷 茂	近世	
5244	026	西洋哲学史	演習	隔週4	4	通年	金4金5	福谷 茂	近世	
5244	027	西洋哲学史	演習	2	4	通年	火4	山脇 雅夫	近世	
M990	013	修士論文(西洋古代哲学史)				通年		中畑 正志	古代	
M990	014	修士論文(西洋中世哲学史)				通年		川添 信介	中世	
M990	015	修士論文(西洋近世哲学史)				通年		福谷 茂	近世	
5331	003	日本哲学史	特殊講義	2	2	前期	水3	上原 麻有子		
5331	004	日本哲学史	特殊講義	2	2	後期	水3	上原 麻有子		
5331	005	日本哲学史	特殊講義	30	2	前期	集中	平子 友長		
5331	006	日本哲学史	特殊講義	2	2	後期	火3	岡田 勝明		
5331	007	日本哲学史	特殊講義	2	2	後期	水5	林 晋		◎情報・史科学 004
5341	008	日本哲学史	演習	2	2	後期	火4	高坂 史朗		
5340	009	日本哲学史	演習	2	4	通年	水4	芦名 定道		◎キリスト教学 006
5340	010	日本哲学史	演習	2	4	通年	金2	林 晋		◎情報・史科学 011
M244	001	日本哲学史	演習II	隔週4	4	通年	金3金4	上原 麻有子		
M990	016	修士論文(日本哲学史)				通年		上原 麻有子		
5430	002	倫理学	特殊講義	2	4	通年	火3	水谷 雅彦		
5431	007	倫理学	特殊講義	2	2	前期	月4	児玉 聡		
5431	003	倫理学	特殊講義	2	2	後期	月4	児玉 聡		
5443	004	倫理学	特殊講義	30	2	前期	集中	島内 明文		

講義コード 科目コード	連番	科目名		週 時 間	単 位	開 講 期	曜 時 限	担 当 者	備 考	他専修・他学部(研究科)共通	
		専修・科目	講義形態								
5440	005	倫理学	演習	2	4	通年	火4	水谷・児玉			
5440	006	倫理学	演習	2	4	通年	金4	水谷・児玉			
5440	008	倫理学	演習	2	4	通年	水3	児玉 聡			
5443	009	倫理学	演習	2	2	前期	金5	北尾 宏之			
5443	010	倫理学	演習	2	2	後期	金5	北尾 宏之			
5443	011	倫理学	演習	2	2	前期	金3	佐藤 義之	◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部	
5443	012	倫理学	演習	2	2	後期	金3	佐藤 義之	◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部	
M990	017	修士論文(倫理学)				通年		水谷・児玉			
5530	002	宗教学	特殊講義	2	4	通年	火4	氣多 雅子			
5530	010	宗教学	特殊講義	2	4	通年	水3	芦名 定道	◎キリスト教学 003		
5531	003	宗教学	特殊講義	30	2	前期	集中	安藤 泰至			
5540	004	宗教学	演習	2	4	通年	火5	氣多 雅子			
5541	005	宗教学	演習	2	2	後期	水5	杉村 靖彦			
5541	006	宗教学	演習	2	2	後期	金2	杉村 靖彦			
5551	008	宗教学	講読	2	2	前期	木4	鶴 真一			
5551	009	宗教学	講読	2	2	後期	木4	鶴 真一			
M264	001	宗教学	演習II	隔週4	4	通年	金3金4	氣多・杉村			
M990	018	修士論文(宗教学)				通年		氣多・杉村 他			
5630	002	キリスト教学	特殊講義	2	4	通年	火5	芦名 定道			
5630	003	キリスト教学	特殊講義	2	4	通年	水3	芦名 定道	宗教学 010		
5631	004	キリスト教学	特殊講義	2	2	後期	火4	手島 勲矢			
5631	005	キリスト教学	特殊講義	30	2	前期	集中	津田 謙治			
5640	006	キリスト教学	演習	2	4	通年	水4	芦名 定道	日本哲学史 009		
5641	007	キリスト教学	演習	2	2	前期	金4	芦名 定道			
5641	008	キリスト教学	演習	2	2	後期	金4	芦名 定道			
5641	009	キリスト教学	演習	2	2	前期	水5	方 俊植			
5641	010	キリスト教学	演習	2	2	後期	水5	堀川 敏寛			
8102	124	キリスト教学	語学	2	1	前期	火3	手島 勲矢	ヘブライ語(初級)	大学院共通科目	西南アジア史学 124
8103	125	キリスト教学	語学	2	1	後期	火3	手島 勲矢	ヘブライ語(中級)	大学院共通科目	西南アジア史学 125
M272	001	キリスト教学	演習	隔週4	4	通年	木4木5	芦名 定道			
M272	002	キリスト教学	演習	2	4	通年	金5	芦名 定道			
M990	019	修士論文(キリスト教学)				通年		芦名 定道			
5730	004	美学美術史学	特殊講義	2	4	通年	水2	吉岡 洋			
5730	005	美学美術史学	特殊講義	2	4	通年	水3	根立 研介			
5730	006	美学美術史学	特殊講義	2	4	通年	木1	平川 佳世			
5730	007	美学美術史学	特殊講義	2	4	通年	金3	中村 俊春			
5730	008	美学美術史学	特殊講義	2	4	通年	金3	宇佐美 文理	◎中国哲学史 002		
5730	009	美学美術史学	特殊講義	2	4	通年	月3	篠原 資明	◎人間・環境学研究科		
5731	010	美学美術史学	特殊講義	2	2	前期	火3	岡田 暁生	◎ドイツ語ドイツ文学 009		
5731	011	美学美術史学	特殊講義	2	2	後期	火3	岡田 暁生	◎ドイツ語ドイツ文学 010		
5730	012	美学美術史学	特殊講義	2	4	通年	金2	稲本 泰生			
5731	013	美学美術史学	特殊講義	2	2	前期	木3	加須屋 誠			
5731	014	美学美術史学	特殊講義	2	2	後期	木3	安田 篤生			
5731	015	美学美術史学	特殊講義	30	2	前期	集中	小峯 和明	◎国語学国文学 013		
5740	016	美学美術史学	演習I	2	4	通年	火2	中村・根立・平川			
5742	017	美学美術史学	演習II	2	4	通年	木2	中村・平川			
5742	018	美学美術史学	演習II	2	4	通年	水5	平川 佳世			
5745	019	美学美術史学	演習II	2	2	前期	月2	永井 隆則			
5745	020	美学美術史学	演習II	2	2	後期	月2	永井 隆則			
M285	001	美学美術史学	演習III	2	4	通年	金5	中村・根立・吉岡・平川			
M990	020	修士論文(美学美術史学)				通年		中村・根立・吉岡・平川			

【歴史文化学】

講義コード 科目コード・連番	科目名		週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通	
	専修・科目	講義形態								
6630 002	日本史学	特殊講義	2	4	通年	水1	横田 冬彦			
6630 003	日本史学	特殊講義	2	4	通年	火3	吉川 真司			
6630 004	日本史学	特殊講義	2	4	通年	金2	上島 享			
6631 005	日本史学	特殊講義	2	2	後期	金4	谷川 穰			
6630 006	日本史学	特殊講義	2	4	通年	木2	西山 良平		◎人間・環境学研究所	◎総合人間学部
6630 007	日本史学	特殊講義	2	4	通年	木3	元木 泰雄		◎人間・環境学研究所	◎総合人間学部
6630 008	日本史学	特殊講義	2	4	通年	火4	岩城 卓二			
6630 009	日本史学	特殊講義	2	4	通年	月3	岩崎 奈緒子			
6631 010	日本史学	特殊講義	2	2	前期	木4	鈴木 栄樹		現代史学 013	
6631 011	日本史学	特殊講義	2	2	前期	金4	飯塚 一幸		現代史学 012	
6631 012	日本史学	特殊講義	2	2	後期	水5	安国 良一			
6631 013	日本史学	特殊講義	2	2	後期	金5	倉本 一宏			
6631 014	日本史学	特殊講義	30	2	前期	集中	川岡 勉			
6631 015	日本史学	特殊講義	2	2	後期	月1	松田 利彦		◎現代史学 008	二十世紀学 010
6630 016	日本史学	特殊講義	2	4	通年	水2	高木 博志		◎現代史学 006	
6631 017	日本史学	特殊講義	2	2	後期	金3	高橋 照彦		◎考古学 010	
6632 033	日本史学	特殊講義	15	1	前期	集中	王 新生	世界展開力		
M292 001	日本史学	演習	2	4	通年	月4	横田 冬彦			
M292 002	日本史学	演習	2	4	通年	水3	吉川 真司			
M292 003	日本史学	演習	2	4	通年	火5	上島 享			
M292 004	日本史学	演習	2	4	通年	月5	谷川 穰			
M990 021	修士論文(日本史学)				通年		横田 冬彦 他			
D021 001	日本史学	博士論文指導			通年	木5	横田・吉川・上島・谷川			
6730 002	東洋史学	特殊講義	2	4	通年	月5	杉山 正明			
6730 003	東洋史学	特殊講義	2	4	通年	金4	吉本 道雅			
6731 028	東洋史学	特殊講義	2	2	前期	月3	中砂 明德			
6731 029	東洋史学	特殊講義	2	2	後期	月3	中砂 明德			
6730 005	東洋史学	特殊講義	2	4	通年	火1	高嶋 航			
6730 006	東洋史学	特殊講義	2	4	通年	金1	松浦 茂		◎総合人間学部	◎人間・環境学研究所(前期)
6730 007	東洋史学	特殊講義	2	4	通年	火3	浅原 達郎			
6730 008	東洋史学	特殊講義	2	4	通年	水1	岩井 茂樹			
6730 009	東洋史学	特殊講義	2	4	通年	金5	富谷 至			
6730 010	東洋史学	特殊講義	2	4	通年	月2	石川 禎浩		◎現代史学 005	二十世紀学 004
6730 011	東洋史学	特殊講義	2	4	通年	木1	矢木 毅			
6730 012	東洋史学	特殊講義	2	4	通年	木2	辻 正博		◎人間・環境学研究所	◎総合人間学部
6731 013	東洋史学	特殊講義	2	2	後期	水3	貴志 俊彦		◎中国語学中国文学 013	二十世紀学 017
6731 014	東洋史学	特殊講義	2	2	前期	金2	木田 知生			
6731 015	東洋史学	特殊講義	2	2	後期	金2	木田 知生			
6731 016	東洋史学	特殊講義	2	2	前期	木5	松浦 典弘			
6731 017	東洋史学	特殊講義	2	2	後期	木5	松浦 典弘			
6731 018	東洋史学	特殊講義	30	2	前期	集中	林 謙一郎			
6740 019	東洋史学	演習I	2	4	通年	月2	杉山 正明			
6742 020	東洋史学	演習II	2	4	通年	火2	吉本 道雅		中国哲学史 008	
6744 021	東洋史学	演習III	2	4	通年	火5	中砂 明德			
6746 022	東洋史学	演習IV	2	4	通年	火3	高嶋 航			
6748 023	東洋史学	演習	2	4	通年	水2	水野 直樹		◎現代史学 020	二十世紀学 016
6748 024	東洋史学	演習	2	4	通年	木2	村上 衛		◎現代史学 019	二十世紀学 022
M302 001	東洋史学	演習	2	4	通年	水4	杉山 正明			

講義コード 科目コード・連番	科目名		週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通	
	専修・科目	講義形態								
M302002	東洋史学	演習	2	4	通年	火4	吉本 道雅			
M990022	修士論文(東洋史学)				通年		杉山 正明 他			
D022001	東洋史学	博士論文指導			通年		杉山 正明 他			
6830002	西南アジア史学	特殊講義	2	4	通年	水5	稲葉 稔			
6831003	西南アジア史学	特殊講義	2	2	前期	水5	磯貝 健一			
6831004	西南アジア史学	特殊講義	2	2	後期	水5	磯貝 健一			
6831005	西南アジア史学	特殊講義	2	2	前期	金4	真下 裕之			
6831006	西南アジア史学	特殊講義	2	2	後期	火5	渡邊 千香子			
6831007	西南アジア史学	特殊講義	30	2	前期	集中	新井 政美		現代史学 014	
6842009	西南アジア史学	演習II	2	4	通年	月4	井谷 鋼造			
6842010	西南アジア史学	演習II	2	4	通年	月3	久保 一之			
6844011	西南アジア史学	演習II	2	2	前期	木5	谷口 淳一			
6844012	西南アジア史学	演習II	2	2	後期	木5	谷口 淳一			
6844013	西南アジア史学	演習II	2	2	前期	木1	吉田 豊		◎言語学 023	
6844014	西南アジア史学	演習II	2	2	後期	木1	吉田 豊		◎言語学 024	
6850015	西南アジア史学	講読	2	4	通年	金2	井谷 鋼造			
6850016	西南アジア史学	講読	2	4	通年	火5	久保 一之			
6850017	西南アジア史学	講読	2	4	通年	月5	東長 靖			◎アジア地域研究研究科
8080129	西南アジア史学	語学	2	2	通年	木2	西尾 哲夫	アラブ語(初級)	大学院共通科目	
8070126	西南アジア史学	語学	2	2	通年	水4	森 茂男	イラン語(初級)	大学院共通科目	
8036108	西南アジア史学	語学	2	2	通年	金1	森 若葉	シュメール語(初級)	大学院共通科目	言語学 108
8102124	西南アジア史学	語学	2	1	前期	火3	手島 勲矢	ヘブライ語(初級)	大学院共通科目	キリスト教学 124
8103125	西南アジア史学	語学	2	1	後期	火3	手島 勲矢	ヘブライ語(中級)	大学院共通科目	キリスト教学 125
8104135	西南アジア史学	語学	2	2	通年	金5	小松 久恵	ヒンディー語(初級)	大学院共通科目 アジア地域研究研究科	インド古典学 135
8062121	西南アジア史学	語学	2	2	通年	木4	置田 清和	サンスクリット(2時間コース)	大学院共通科目	仏教学 121
M990023	修士論文(西南アジア史学)				通年		久保 一之 他			
D023001	西南アジア史学	博士論文指導			通年		井谷・久保			
6930002	西洋史学	特殊講義	2	4	通年	水5	南川 高志			
6930003	西洋史学	特殊講義	2	4	通年	火5	金澤 周作			
6930004	西洋史学	特殊講義	2	4	通年	木2	伊藤 順二		現代史学 010	
6930005	西洋史学	特殊講義	2	4	通年	金2	王寺 賢太		◎フランス語学フランス文学 012	
6931006	西洋史学	特殊講義	2	2	前期	月1	渡邊 伸			
6930007	西洋史学	特殊講義	2	4	通年	水4	小関 隆		現代史学 011	二十世紀学 013
6931008	西洋史学	特殊講義	2	2	前期	木4	中谷 功治			
6931009	西洋史学	特殊講義	30	2	前期	集中	深沢 克己			
6931010	西洋史学	特殊講義	2	2	後期	火2	山下 修一		◎西洋古典学 009	
6931011	西洋史学	特殊講義	2	2	後期	木4	佐藤 昇			
6940012	西洋史学	演習I	2	4	通年	金5	南川 高志			
6942013	西洋史学	演習II	2	4	通年	金5	服部 良久			
6944014	西洋史学	演習III	2	4	通年	金5	小山 哲			
6946015	西洋史学	演習IV	2	4	通年	金5	金澤 周作			
M322001	西洋史学	演習	2	4	通年	金3	南川・服部・小山・金澤			
M990024	修士論文(西洋史学)				通年		南川 高志 他			
D024001	西洋史学	博士論文指導			通年	金4	南川・服部・小山・金澤			
7030002	考古学	特殊講義	2	4	通年	月4	上原 真人			
7030003	考古学	特殊講義	2	4	通年	火2	吉井 秀夫			
7030004	考古学	特殊講義	2	4	通年	月2	岡村 秀典			
7031007	考古学	特殊講義	2	2	前期	金4	杉山 淳司			
7031008	考古学	特殊講義	2	2	後期	金4	矢野 健一			

講義コード	科目名		週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通	
科目コード・連番	専修・科目	講義形態								
7031009	考古学	特殊講義	2	2	後期	火4	小方 登		◎人間・環境学研究科	◎総合人間学部
7031010	考古学	特殊講義	2	2	後期	金3	高橋 照彦		日本史学 017	
7031011	考古学	特殊講義	30	2	前期	集中	小林 正史			
7042013	考古学	演習II	2	4	通年	金2	吉井 秀夫			
M334001	考古学	演習IV	2	4	通年	火5	上原・吉井			
M990025	修士論文(考古学)				通年		上原 真人 他			
D025001	考古学	博士論文指導			通年	金1	上原・吉井			

【行動文化学】

講義コード 科目コード・連番	科目名		週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通	
	専修・科目	講義形態								
7131011	心理学	特殊講義	2	2	前期	木5	Daniel Callan		教育学部	
7131012	心理学	特殊講義	2	2	後期	水4	小林 哲生		教育学部	
7131013	心理学	特殊講義	30	2	前期	集中	伊澤 栄一		教育学部	
7131014	心理学	特殊講義	2	2	前期	水4	阿部 修士		◎教育学研究科	
7131015	心理学	特殊講義	30	2	前期	集中	今井 むつみ		◎教育学研究科	
M341001	心理学	特殊講義	2	2	前期	水2	藤田 和生		教育学研究科	
M341002	心理学	特殊講義	2	2	後期	水2	櫻井 芳雄		教育学研究科	
M341003	心理学	特殊講義	2	2	後期	水3	板倉 昭二		教育学研究科	
M341004	心理学	特殊講義	2	2	前期	火2	蘆田 宏		教育学研究科	
M341005	心理学	特殊講義	2	2	後期	月2	齋木 潤		◎人間環境学研究科	教育学研究科
M341007	心理学	特殊講義	2	2	前期	月2	乾・水原		◎情報学研究科	
M341009	心理学	特殊講義	2	2	前期	木1	楠見・子安・齊藤・野村・高橋(雄)		◎教育学研究科	
M342008	心理学	演習	2	4	通年	火3	藤田・櫻井・板倉・蘆田			
M990026	修士論文(心理学)				通年		藤田 和生 他			
7231005	言語学	特殊講義	2	2	前期	金2	吉田 和彦			
7231006	言語学	特殊講義	2	2	後期	金2	吉田 和彦			
7231007	言語学	特殊講義	2	2	前期	火4	田窪 行則			
7231008	言語学	特殊講義	2	2	後期	火4	田窪 行則			
7231009	言語学	特殊講義	2	2	前期	木2	谷口 一美		英語学英米文学 005	◎人間・環境学研究科
7231010	言語学	特殊講義	2	2	後期	木2	谷口 一美		英語学英米文学 006	◎人間・環境学研究科
7231011	言語学	特殊講義	2	2	前期	水2	郡司 隆男			
7231012	言語学	特殊講義	2	2	後期	水2	郡司 隆男			
7231013	言語学	特殊講義	2	2	前期	火3	上田 功			
7231014	言語学	特殊講義	2	2	後期	火3	上田 功			
7231015	言語学	特殊講義	2	2	後期	月2	林 範彦			
7231016	言語学	特殊講義	2	2	前期	月5	定延 利之			
7231017	言語学	特殊講義	2	2	後期	月5	定延 利之			
7231018	言語学	特殊講義	30	2	前期	集中	木部 暢子			
7231019	言語学	特殊講義	2	2	前期	水4	齋藤 治之			
7231020	言語学	特殊講義	2	2	後期	水4	齋藤 治之			
7241023	言語学	演習	2	2	前期	木1	吉田 豊		西南アジア史学 013	
7241024	言語学	演習	2	2	後期	木1	吉田 豊		西南アジア史学 014	
7241025	言語学	演習	2	2	前期	火5	吉田 豊			
7241026	言語学	演習	2	2	後期	火5	吉田 豊			
7241027	言語学	演習	2	2	前期	木2	笹間 史子			
7241028	言語学	演習	2	2	後期	木2	笹間 史子			
8199156	言語学	演習	60	4	前期	不定	田窪 行則	世界展開力 アジア研究(韓国研修)	大学院共通科目	社会学 156
8036108	言語学	語学	2	2	通年	金1	森 若葉	シムール語(初級)	大学院共通科目	西南アジア 108
8039109	言語学	語学	2	1	前期	火3	井戸根 綾子	スワヒリ語(初級)	大学院共通科目	◎アジア・アフリカ地域研究研究科
8038110	言語学	語学	2	1	後期	火3	井戸根 綾子	スワヒリ語(中級)	大学院共通科目	アジア・アフリカ地域研究研究科
M351001	言語学	特殊講義	2	2	前期	月2	東郷 雄二		◎人間・環境学研究科	
M352002	言語学	演習	2	4	通年	金4金5	田窪・吉田和・吉田豊			
M990027	修士論文(言語学)				通年		田窪・吉田和・吉田豊			
7330002	社会学	特殊講義	2	4	通年	木5	伊藤 公雄			
7331003	社会学	特殊講義	2	2	前期	月4	落合 恵美子			
7331004	社会学	特殊講義	2	2	後期	月4	落合 恵美子			
7330005	社会学	特殊講義	2	4	通年	水2	田中 紀行			
7331006	社会学	特殊講義	2	2	前期	水2	太郎丸 博			
7330008	社会学	特殊講義	2	4	通年	火4	富永 茂樹			

講義コード 科目コード・連番	科目名		週 時間	単 位	開 講 期	曜 時 限	担 当 者	備 考	他専修・他学部(研究科)共通	
	専修・科目	講義形態								
7331009	社会学	特殊講義	2	2	前期	金4	高橋 由典		◎人間・環境学研究所	◎総合人間学部
7331010	社会学	特殊講義	2	2	前期	火3	吉田 純		情報・史科学 005 総合人間学部	◎人間・環境学研究所 エネルギー科学研究科
7331011	社会学	特殊講義	2	2	前期	金3	岩井 八郎		◎教育学部	
7331012	社会学	特殊講義	2	2	後期	金3	岩井 八郎		◎教育学部	
7330014	社会学	特殊講義	2	4	通年	火1	小野寺 史郎	中書講読		
7330015	社会学	特殊講義	2	4	通年	水1	小山 哲	仏書講読		
7330016	社会学	特殊講義	2	4	通年	水2	小林 致広		◎地理学 002	
7331017	社会学	特殊講義	2	2	前期	金5	上杉 和央		◎二十世紀学 019 地理学 023	現代史学 023
7331018	社会学	特殊講義	2	2	後期	金5	上杉 和央		◎二十世紀学 020 地理学 024	現代史学 024
7331019	社会学	特殊講義	2	2	後期	金2	中野 康人			
7331020	社会学	特殊講義	2	2	前期	金2	阿部 潔			
7331021	社会学	特殊講義	2	2	前期	木4	森本 一彦			
7331040	社会学	特殊講義	2	2	後期	木4	森本 一彦			
7331022	社会学	特殊講義	30	2	前期	集中	町村 敬志			
8190146	社会学	特殊講義	2	2	前期	木2	落合・出口・平田	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	大学院共通科目	
8190147	社会学	特殊講義	2	2	後期	木2	落合・出口・平田	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	大学院共通科目	
8191148	社会学	特殊講義	4	2	前期	木3木4	Tuukka Toivonen	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	大学院共通科目	
8192149	社会学	特殊講義	4	1	後期	木3木4	Dang Nguyen Anh-Vu Manh Loi	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	大学院共通科目	
8193150	社会学	特殊講義	4	1	前期	木3木4	韓 栄恵	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	大学院共通科目	
8194151	社会学	特殊講義	4	1	後期	木3木4	Steven Trenson	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	大学院共通科目	
8195152	社会学	特殊講義	30	2	前期	不定	落合 恵美子	世界展開力	大学院共通科目	
8196153	社会学	特殊講義	2	2	前期	月5	落合・安里	世界展開力	大学院共通科目	
8197154	社会学	特殊講義	30	2	後期	集中	落合・安里	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	大学院共通科目	
8198155	社会学	特殊講義	2	2	前期	火2	安里 和晃	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	大学院共通科目	
8199156	社会学	演習II	60	4	前期	不定	田窪 行則	世界展開力 アジア研究(韓国研修)	大学院共通科目	言語学 156
M361001	社会学	特殊講義	2	2	後期	水3	稲垣 恭子		◎教育学研究科	
M361002	社会学	特殊講義	2	2	前期	火3	速水 洋子		◎アジア・アフリカ地域研究研究科	
M361003	社会学	特殊講義	2	2	後期	火4	吉田 純		情報・史科学 001	◎人間・環境学研究所
M361004	社会学	特殊講義	30	2	前期	水2	秋津 元輝		◎農学研究科	
M361005	社会学	特殊講義	2	2	後期	水2	秋津 元輝		◎農学研究科	
M360006	社会学	特殊講義	隔週2	4	通年	金4金5	竹沢 泰子			
M361007	社会学	特殊講義	2	2	通年	水4	太郎丸 博			
M361008	社会学	特殊講義	2	2	通年	月3	松田 素二			
M362009	社会学	演習	2	4	通年	水3	伊藤 公雄			
M362010	社会学	演習	2	4	通年	月5	松田 素二			
M362011	社会学	演習	2	4	通年	火5	落合 恵美子			
M362012	社会学	演習	2	4	通年	火4	田中 紀行			
M362013	社会学	演習	2	4	通年	金2	太郎丸 博			
M364014	比較社会学	演習	2	4	通年	月2	鶴飼 孝造			
M990028	修士論文(社会学)				通年		松田 素二 他			
7430002	地理学	特殊講義	2	4	通年	水2	小林 致広		社会学 016	
7430003	地理学	特殊講義	2	4	通年	金1	石川 義孝			
7430004	地理学	特殊講義	2	4	通年	月2	杉浦 和子			
7430005	地理学	特殊講義	2	4	通年	木2	米家 泰作			
7431006	地理学	特殊講義	2	2	前期	月3	小島 泰雄		◎人間・環境学研究所	◎総合人間学部
7431007	地理学	特殊講義	2	2	後期	月3	小島 泰雄		◎人間・環境学研究所	◎総合人間学部
7431008	地理学	特殊講義	2	2	前期	水2	小方 登		◎人間・環境学研究所	◎総合人間学部
7431010	地理学	特殊講義	30	2	前期	集中	滝波 章弘			
7431011	地理学	特殊講義	30	2	前期	集中	鈴木 康弘			

講義コード	科目名		週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通	
科目コード・連番	専修・科目	講義形態								
7431012	地理学	特殊講義	30	2	前期	集中	友澤 和夫			
7431013	地理学	特殊講義	2	2	前期	火2	生田 真人			
7431014	地理学	特殊講義	2	2	後期	火2	生田 真人			
7430015	地理学	特殊講義	4	4	後期	木3木4	木村 義成			
7443023	地理学	演習II	2	2	前期	金5	上杉 和央		◎二十世紀学 019 社会学 017	現代史学 023
7443024	地理学	演習II	2	2	後期	金5	上杉 和央		◎二十世紀学 020 社会学 018	現代史学 024
M372001	地理学	演習	2	4	通年	水5	小林・石川・杉浦・米家			
M990029	修士論文(地理学)				通年		小林・石川・杉浦・米家			



【現代文化学】

講義コード 科目コード連番	科目名		週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通	
	専修・科目	講義形態								
8231003	科学哲学科学史	特殊講義	2	2	前期	金2	伊藤 和行			
8231004	科学哲学科学史	特殊講義	2	2	後期	金2	伊藤 和行			
8231005	科学哲学科学史	特殊講義	2	2	前期	水2	伊勢田 哲治			
8231006	科学哲学科学史	特殊講義	2	2	後期	水2	伊勢田 哲治			
8231007	科学哲学科学史	特殊講義	2	2	後期	木5	平川 秀幸			
8231008	科学哲学科学史	特殊講義	2	2	後期	木3	喜多 千草	◎情報・史科学 007 現代史学 015	二十世紀学 012	
8231009	科学哲学科学史	特殊講義	30	2	前期	集中	直江 清隆			
8241010	科学哲学科学史	演習	2	2	前期	火3	伊藤 和行			
8241011	科学哲学科学史	演習	2	2	後期	火3	伊藤 和行			
8241012	科学哲学科学史	演習	2	2	前期	水3	伊勢田 哲治			
8241013	科学哲学科学史	演習	2	2	後期	水3	伊勢田 哲治			
M382001	科学哲学科学史	演習	2	4	通年	金4	伊藤・伊勢田			
M990030	修士論文(科学哲学科学史)				通年		伊藤 和行 他			
8531003	情報・史科学	特殊講義	2	2	前期	月5	林 晋			
8531004	情報・史科学	特殊講義	2	2	後期	水5	林 晋	日本哲学史 007		
8531005	情報・史科学	特殊講義	2	2	前期	火3	吉田 純	◎社会学 010 総合人間学部	◎人間・環境学研究科 エネルギー科学研究科	
8531006	情報・史科学	特殊講義	2	2	前期	金4	小田 宗兵衛			
8531007	情報・史科学	特殊講義	2	2	後期	木3	喜多 千草	科学哲学科学史 008 現代史学 015	二十世紀学 012	
8531008	情報・史科学	特殊講義	2	2	後期	火3	奥乃 博	◎工学部		
8531009	情報・史科学	特殊講義	2	2	後期	火5	岡田 至弘			
8531010	情報・史科学	特殊講義	30	2	前期	集中	大谷 卓史			
8540011	情報・史科学	演習	2	4	通年	金2	林 晋	日本哲学史 010		
8540012	情報・史科学	演習	2	4	通年	金3	林 晋			
M391001	情報・史科学	特殊講義	2	2	後期	火4	吉田 純	◎社会学 003	◎人間・環境学研究科	
M391002	情報・史科学	特殊講義	2	2	前期	火3	山本・Marco Cuturi	◎情報学研究科		
M393003	情報・史科学	演習	2	2	前期	木3	喜多 千草	◎基礎現代文化学系 004		
M990031	修士論文(情報・史科学)				通年		林 晋			
8330002	二十世紀学	特殊講義	2	4	通年	月3	小野澤 透	◎現代史学 003		
8330003	二十世紀学	特殊講義	2	4	通年	水4	Brian HAYASHI	◎現代史学 004	◎総合人間学部	
8330004	二十世紀学	特殊講義	2	4	通年	月2	石川 禎浩	◎現代史学 005	東洋史学 010	
8331005	二十世紀学	特殊講義	2	2	前期	水4	須田 千里	◎国語学国文学 005 ◎総合人間学部	◎人間・環境学研究科	
8331006	二十世紀学	特殊講義	2	2	後期	水4	須田 千里	◎国語学国文学 006 ◎総合人間学部	◎人間・環境学研究科	
8331007	二十世紀学	特殊講義	2	2	前期	金4	清水 康次	◎国語学国文学 009		
8331008	二十世紀学	特殊講義	2	2	後期	金4	清水 康次	◎国語学国文学 010		
8331009	二十世紀学	特殊講義	2	2	前期	木4	力久 昌幸	◎現代史学 007		
8331010	二十世紀学	特殊講義	2	2	後期	月1	松田 利彦	◎現代史学 008	日本史学 015	
8331011	二十世紀学	特殊講義	30	2	前期	集中	山内 昭人	◎現代史学 009		
8331012	二十世紀学	特殊講義	2	2	後期	木3	喜多 千草	◎情報・史科学 007 現代史学 015	科学哲学科学史 008	
8330013	二十世紀学	特殊講義	2	4	通年	水4	小関 隆	◎西洋史学 007	現代史学 011	
8341014	二十世紀学	演習I	2	2	前期	水4	杉本 淑彦			
8341015	二十世紀学	演習I	2	2	後期	水4	杉本 淑彦			
8343016	二十世紀学	演習II	2	4	通年	水2	水野 直樹	◎現代史学 020	東洋史学 023	
8344017	二十世紀学	演習II	2	2	後期	水3	貴志 俊彦	◎中国語学中国文学 013	東洋史学 013	
8344019	二十世紀学	演習II	2	2	前期	金5	上杉 和央	現代史学 023 地理学 023	社会学 017	
8344020	二十世紀学	演習II	2	2	後期	金5	上杉 和央	現代史学 024 地理学 024	社会学 018	
8344021	二十世紀学	演習II	30	2	前期	集中	山登 義明	現代史学 025		
8343022	二十世紀学	演習II	2	4	通年	木2	村上 衛	◎現代史学 019	東洋史学 024	
8344025	二十世紀学	演習II	2	2	後期	金2	吉村 和真	現代史学 026		

講義コード 科目コード・連番	科目名		週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通	
	専修・科目	講義形態								
8344026	二十世紀学	演習II	2	2	後期	水2	佐伯 順子		現代史学 030	
8344027	二十世紀学	演習II	2	2	後期	木4	山口 誠		現代史学 027	
8344029	二十世紀学	演習II	30	2	前期	集中	Dick STEGEWERNIS		◎現代史学 031	
M403001	二十世紀学	演習	隔週2	2	通年	木3	杉本 淑彦			
M402002	二十世紀学	演習	2	4	通年	水5	杉本・永井・永原・小野澤		現代史学 001	
M990032	修士論文(二十世紀学)				通年		杉本 淑彦			
8432003	現代史学	特殊講義	2	4	通年	月3	小野澤 透		二十世紀学 002	
8432004	現代史学	特殊講義	2	4	通年	水4	Brian Hayashi		二十世紀学 003	◎総合人間学部
8432005	現代史学	特殊講義	2	4	通年	月2	石川 禎浩		二十世紀学 004	東洋史学 010
8432006	現代史学	特殊講義	2	4	通年	水2	高木 博志		日本史学 016	
8433007	現代史学	特殊講義	2	2	前期	木4	力久 昌幸		二十世紀学 009	
8433008	現代史学	特殊講義	2	2	後期	月1	松田 利彦		二十世紀学 010	日本史学 015
8433009	現代史学	特殊講義	30	2	前期	集中	山内 昭人		二十世紀学 011	
8432010	現代史学	特殊講義	2	4	通年	木2	伊藤 順二		◎西洋史学 004	
8432011	現代史学	特殊講義	2	4	通年	水4	小関 隆		◎西洋史学 007	二十世紀学 013
8433012	現代史学	特殊講義	2	2	前期	金4	飯塚 一幸		◎日本史学 011	
8433013	現代史学	特殊講義	2	2	前期	木4	鈴木 栄樹		◎日本史学 010	
8433014	現代史学	特殊講義	30	2	前期	集中	新井 政美		◎西南アジア史学 007	
8433015	現代史学	特殊講義	2	2	後期	木3	喜多 千草		◎情報・史科学 007 二十世紀学 012	科学哲学科学史 008
8433031	現代史学	特殊講義	30	2	前期	集中	Dick STEGEWERNIS		二十世紀学 029	
8447019	現代史学	演習II	2	4	通年	木2	村上 衛		東洋史学 024	二十世紀学 022
8447020	現代史学	演習II	2	4	通年	水2	水野 直樹		東洋史学 023	二十世紀学 016
8447021	現代史学	演習II	2	4	通年	火5	永井 和			
8448023	現代史学	演習II	2	2	前期	金5	上杉 和央		◎二十世紀学 019 地理学 023	社会学 017
8448024	現代史学	演習II	2	2	後期	金5	上杉 和央		◎二十世紀学 020 地理学 024	社会学 018
8448025	現代史学	演習II	30	2	前期	集中	山登 義明		◎二十世紀学 021	
8448026	現代史学	演習II	2	2	後期	金2	吉村 和真		◎二十世紀学 025	
8448027	現代史学	演習II	2	2	後期	木4	山口 誠		◎二十世紀学 027	
8448030	現代史学	演習II	2	2	後期	水2	佐伯 順子		◎二十世紀学 026	
M412001	現代史学	演習	2	4	通年	水5	永井・永原・杉本・小野澤		二十世紀学 002	
M990033	修士論文(現代史学)				通年		永井・永原・小野澤			
D033001	現代史学	博士論文指導			通年	水3	永井 和	博士論文指導		

【大学院共通科目】

講義コード	科目コード	科目名		週時間	単位	開講期	曜時限	担当者	備考	他専修・他学部(研究科)共通	
		専修・科目	講義形態							言語学	歴史学
8036	108	シュメール語(初級)	語学	2	2	通年	金1	森 若葉		言語学 108	西南アジア 018
8039	109	スワヒリ語(初級)	語学	2	1	前期	火3	井戸根 綾子		②アジア・アフリカ地域研究研究科 言語学 109	
8038	110	スワヒリ語(中級)	語学	2	1	後期	火3	井戸根 綾子		アジア・アフリカ地域研究研究科 言語学 110	
8062	121	サンスクリット(2時間コース)	語学	2	2	通年	木4	置田 清和		仏教学 121	西南アジア史学 121
8046	122	サンスクリット(4時間前期コース)	語学	4	2	前期	月5木5	VASUDEVA, Somdev		仏教学 122	
8046	123	サンスクリット(4時間後期コース)	語学	4	2	後期	月5木5	VASUDEVA, Somdev		仏教学 123	
8102	124	ヘブライ語(初級)	語学	2	1	前期	火3	手島 勲矢		キリスト教学 124	西南アジア史学 124
8103	125	ヘブライ語(中級)	語学	2	1	後期	火3	手島 勲矢		キリスト教学 125	西南アジア史学 125
8070	126	イラン語(初級)	語学	2	2	通年	水4	森 茂男		西南アジア史学 126	
8078	127	チベット語(初級)	語学	2	2	通年	月1	高橋 慶治		仏教学 127	
8079	128	チベット語(中級)	語学	2	2	通年	金3	宮崎 泉		仏教学 128	
8080	129	アラブ語(初級)	語学	2	2	通年	木2	西尾 哲夫		西南アジア史学 129	
8082	130	ポーランド語(初級I)	語学	2	2	通年	金4	佐藤 昭裕		スラブ語学スラブ文学 130	
8033	132	ポーランド語(初級II)	語学	2	2	通年	火3	Bogna Sasaki		スラブ語学スラブ文学 132	
8086	133	ポーランド語(中級II)	語学	2	2	通年	水4	Bogna Sasaki		スラブ語学スラブ文学 133	
8104	135	ヒンディー語(初級)	語学	2	2	通年	金5	小松 久恵		アジア・アフリカ地域研究研究科 西南アジア史学 135	インド古典学 135
8105	136	ヒンディー語(中級)	語学	2	2	通年	火3	西岡 美樹		②アジア・アフリカ地域研究研究科	インド古典学 136
8190	146	アジア研究(オムニバス)	特殊講義	2	2	前期	木2	落合・出口・平田	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	社会学 146	
8190	147	アジア研究(オムニバス)	特殊講義	2	2	後期	木2	落合・出口・平田	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	社会学 147	
8191	148	アジア研究(若者)	特殊講義	4	2	前期	木3木4	Tuukka Toivonen	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	社会学 148	
8192	149	アジア研究(ベトナム)	特殊講義	4	1	後期	木3木4	Dang Nguyen Anh-Vu Manh Loi	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	社会学 149	
8193	150	アジア研究(韓国と日本)	特殊講義	4	1	前期	木3木4	韓 栄恵	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	社会学 150	
8194	151	アジア研究(日本史)	特殊講義	4	1	後期	木3木4	Steven Trenson	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	社会学 151	
8195	152	アジア研究(ベトナム研修)	特殊講義	30	2	前期	不定	落合 恵美子	世界展開力	社会学 152	
8196	153	アジア研究(東アジアワークショップ)	特殊講義	2	2	前期	月5	落合・安里	世界展開力	社会学 153	
8197	154	アジア研究(次世代グローバルワークショップ)	特殊講義	30	2	後期	集中	落合・安里	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	社会学 154	
8198	155	アジア研究(移民)	特殊講義	2	2	前期	火2	安里 和晃	世界展開力 横断型教育科目(Aタイプ)	社会学 155	
8199	156	アジア研究(韓国研修)	演習	60	4	前期	不定	田窪 行則	世界展開力	言語学 156	社会学 156
8188	158	アジア研究(分析アジア哲学入門I)	特殊講義	2	30	前期	集中	出口・Garfield・Siderits・Yagisawa			
8187	159	アジア研究(分析アジア哲学入門II)	特殊講義	2	15	前期	集中	出口・Priest			
M601	001	研究科横断型教育科目(Bタイプ)	講義	2	1	後期	木5	水谷・児玉	横断型教育科目(Bタイプ)		

## (7) 文学研究科講義題目（シラバス）について

平成 24 年度より，本学研究科では講義題目（シラバス）については，KULASIS（京都大学教務情報システム）および本学部・研究科ホームページ等で掲載しますので，下記 URL より講義題目（シラバス）を確認してください。

■ KULASIS（京都大学教務情報システム）

<https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp>

■ 本学部・研究科ホームページ（シラバス掲載）

[http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/for\\_students/student\\_index/](http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/for_students/student_index/)

■ KYOTO-U OPENCOURSEWARE（京都大学オープンコースウェア）

<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/graduate-school-of-letters-jp>

## (8) 奈良女子大学との学生交流について

平成 11 年 11 月に、本研究科と奈良女子大学人間文化研究科との間において学生交流協定が締結され、平成 12 年 4 月より実施されています。

本研究科修士課程の学生が、奈良女子大学人間文化研究科博士前期課程において、授業の履修および単位の取得を希望する場合、5 科目 10 単位以内に限りその聴講が許可されます。履修した科目について修得した単位は、本研究科の各専修の自由選択科目として、認定されます。

詳細については、掲示によりお知らせします。



## 1. 教務掛窓口及び学生への連絡について

〈教務掛窓口〉

平日：9時～17時

（土・日・祝日，創立記念日，12月29日～1月3日は休止。夏季休業及び年度末は，昼休み閉室）

ただし，入試等により臨時休止することがある。（予め掲示で周知する。）

〈学生への連絡〉

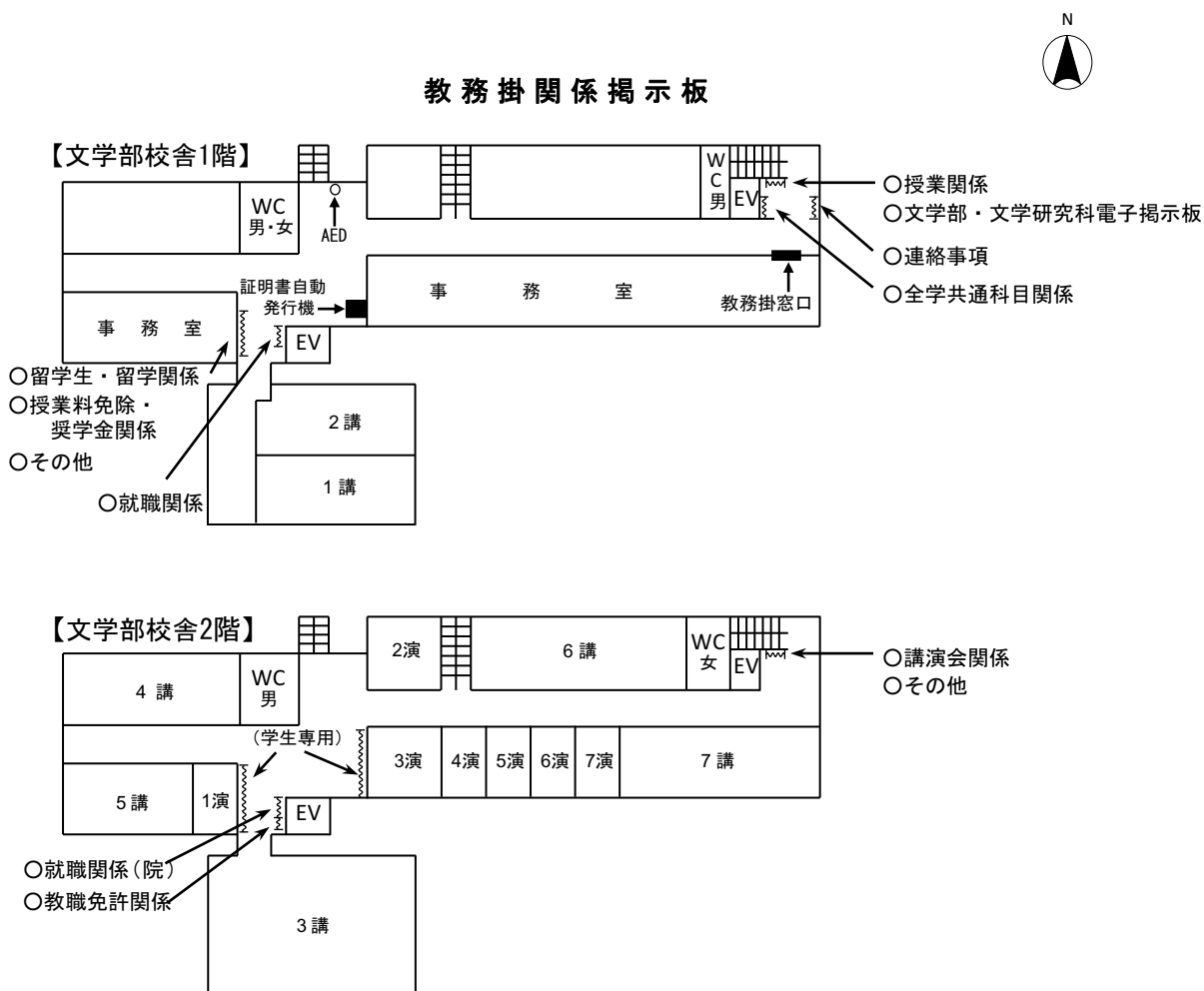
休講，呼出等はすべてKULASIS（京都大学教務情報システム）または掲示で行うため，見なかったことによる不利益等を受けることがないように，各自が注意すること。

また，学生の呼び出しや連絡先等個人情報の照会には応じられないので，家族・親戚・知人・下宿先等へその旨周知しておくこと。

なお，一部の掲示については，「京都大学大学院文学研究科・文学部」ホームページ→「事務からのお知らせ」→「教務掛からののお知らせ」にも掲載している。

〈学生からの問い合わせ〉

授業等に関する問い合わせは，文学部教務掛窓口で直接行ってください。電話による問い合わせには，原則応じられません。



## 2. KULASIS (クラシス) —京都大学教務情報システム—について

KULASIS とは、あらゆる教務に関する情報を Web 化し、より早く正確な情報の伝達・学生への支援やサービスの充実を目指して開発されているシステムの名称です。

KULASIS では、休講情報・学生呼び出しなどのお知らせ情報を始め、授業資料のダウンロード・教員からの授業連絡メールなどの機能が利用できます。

KULASIS にログインするためには、情報環境機構交付の学生アカウント(ECS-ID) (a0\*\*\*\*\*) が必要です。必ず、学生アカウント(ECS-ID)利用講習会を受講して、ECS-ID の交付を受けてください。ログイン画面の URL は、<https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp> です。

(PC・携帯電話共通)

メニュー		携帯電話	パソコン	備 考
お知らせ	学生呼び出し	●	●	
	授業変更情報	●	●	
	休講情報	●	●	
	補講情報	●	●	
	授業連絡	▲	●	携帯電話の▲は、画像ファイルが情報に添付されている場合があります。添付ファイルはパソコンで確認してください。
	レポート情報	▲	●	
	教務・厚生情報	▲	●	
シラバス		▲	●	携帯電話の▲は、科目検索のみできます。
登録情報		●	●	連絡先(メールアドレス・電話番号)の登録・変更
授業資料		—	●	
授業連絡メール		●	●	
履修登録		—	●	
成績確認		—	●	

KULASIS を利用するにはメールアドレスの登録が必要です。学生呼び出しや教員からの連絡、その他いろいろなお知らせや情報が送信されますので、頻りに利用するメールアドレスを登録してください。メールアドレスは3つまで登録することができます。

ここで登録された情報は、原則として各学部・研究科・全学共通科目における業務以外には使用しません。ただし、プライバシーに配慮したうえで、京都大学における業務のために使用する場合があります。

新しく登録したメールアドレスには、登録確認のメールが送信されます。メールが届かない場合は、入力間違いや、受信拒否が設定されている可能性がありますので、確認してください。特に携帯電話のアドレスは、初期設定でパソコンからのメール受信を拒否している場合がありますので注意してください。

注意) 迷惑メール対策のために受信許可設定をしている場合は、許可メールアドレスに [kulasis@k.kyoto-u.ac.jp](mailto:kulasis@k.kyoto-u.ac.jp) を追加してください。

携帯電話等の変更でメールアドレスや電話番号の変更が生じた場合には、「登録情報」より修正してください。



### 3. 各種証明書の発行について

(イ) 証明書自動発行機で発行する証明書……学内設置のすべての発行機で利用可能。

種 類	申 込 方 法 等
正 規 生 学生生徒旅客運賃割引証（学割証）※ 通学証明書 在学証明書（和文・英文） 卒業見込証明書（和文・英文） 修了見込証明書（和文・英文） 成績証明書（和文・英文） 成績及び卒業・修了見込証明書（和文・英文） 健康診断結果通知書 健康診断証明書	① 学生証の認証（非正規生は学生番号 10 桁入力） ② パスワード入力 ③ 証明書の種類、枚数の選択  ※初期パスワード（ECS-ID アカウント通知書）は入学時に学生証と共に配付します。  ※パスワードを忘れた場合、学生証を持参の上、吉田南構内学術情報メディアセンター南館 1 階事務室（共同利用担当）に行ってください。
非正規生 在籍証明書（和文・英文） 成績証明書（和文・英文） （科目等履修生・特別聴講学生のみ） 健康診断結果通知書 健康診断証明書	

※学割証は年間 1 人 15 枚割り当てられているので、計画的に利用すること。（有効期間は 3 ヶ月）

（注）証明書自動発行機で交付する書類は、時間外・学生証紛失・発行機が故障等の場合即時発行できないので、余裕を持って交付を受けておくこと。

(ロ) 教務掛窓口で発行する証明書……受領の際は、学生証（身分証）を提示すること。

種 類	申 込 方 法 等
正 規 生 卒業証明書（和文・英文） 修了証明書（和文・英文） 成績証明書（和文・英文） 各種証明書（和文・英文） 〈教員免許・学芸員等〉	申込：教務掛窓口備え付けの「証明書発行願」により申し込みこと。  交付：和文は 3 日後。（土・日・祝日を除く） 英文は 1 週間後。 （ただし、証明書の種類によっては上記以上の日数を要することがある。）
非正規生 在籍期間証明書（和文・英文）	

※上記以外の証明書についても必要が生じた場合は教務掛に申し出ること。

(ハ) 上記以外の証明書

種 類	申 込 方 法 等
健康診断書	保健診療所で申し込むこと。（当該年度の学生定期健康診断を受検した者に限る。） 証明書自動発行機で発行された健康診断結果通知書を持参すること。

※健康診断について

「学校保健法（昭和 33 年 4 月 10 日法律第 56 号）」及び「京都大学学生健康診断規程」に定めるところにより、学生は毎年指定された時期に、必ず健康診断を受けなければならない。特に、卒業・修了年次の学生は就職・進学等の際に健康診断書が必要となるので必ず受検しておくこと。

## 4. 各種届出について

教務掛で所定用紙を受領のうえ、提出すること。

種 類	
休学願	疾病その他の事由により3ヶ月以上修学を中止しようとするとき。 (休学しようとする期(前期:4~9月,後期:10月~3月)以前の授業料領収書の写しが必要,疾病の場合「診断書」が必要)
復学届(願)	休学期間内,または疾病治癒につき復学しようとするとき。 (疾病による休学の場合「大学指定様式の診断書」が必要)
退学願	やむを得ない事情により退学しなければならなくなったとき。 (退学しようとする期の授業料領収書の写しが必要)
海外渡航届(願)	勉学・旅行その他で海外へ行くとき。 なお,3ヶ月以上の場合は原則として休学を願い出ること。
住所カード	3回生進学・大学院入学・住所変更の際,教務掛に提出すること。
住所変更(本人又は父母)	教務掛窓口備え付けの「住所カード」を提出すること。
学生証再発行願	学生証を紛失したとき。(受領の際,印鑑持参のこと)
改正(名)届	改姓(名)したとき。(新・旧氏名が記載された改姓(名)の事実が確認できる公的書類を添付)
(住所・送付先)変更届	保証人及び本人の住所が変更したとき。 授業料振込依頼書の送付先を変更するとき。 保証人を変更したときは保証書を添付すること。

※その他詳細については、「学生便覧」(京都大学発行)を参照のこと。

休学・退学の願い出は、遡及して認められない。必ず、事実発生の3週間前までに指導教員の許可を得て、教務掛に願い出ること。(願い出が遅延すると、希望する日付で許可されず、また、授業料納付について不利益が生じる。)

## 5. キャンパス・ハラスメントについて

文学研究科・文学部は、ここに集い、学習、教育、研究、就労するものが構成するアカデミック・コミュニティであり、その構成員すべての基本的人権を尊重し、安全、平等かつ快適な状態で、学習、教育、研究、就労ができる権利を保障します。セクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントなどはこれらの人権を侵害し、個人の尊厳を損ねる行為であり、本研究科は決してこれを容認せず、キャンパスで起こりうるさまざまなハラスメントの防止につとめます。

### 1. ハラスメントへの対応の原則

京都大学には京都大学人権委員会のもとに、ハラスメントに関わるさまざまな規定やガイドラインが作られています。文学研究科・文学部のハラスメントに対する対応は、原則的にこれら全学の規定やガイドラインに準拠して行われます。

具体的なハラスメントの定義、対応する組織、解決のプロセスなどについては、京都大学人権委員会から出されているパンフレット「「人権」を考えるために」・「ハラスメントの防止と対応について」やウェブサイト(<http://www.kyoto-u.ac.jp/jinken/>)をご覧ください。

### 2. 文学研究科・文学部 「ハラスメント等相談窓口」

文学研究科・文学部では、1995年以來、セクシュアル・ハラスメント等の人権問題が生じた場合の相談に応じる窓口が設けられています。このような人権問題は、固定された人間関係の中でなかなか実態がつかみにくく、被害を受けた人聞が精神的な苦痛を一人で抱え込むというようなことになりがちです。

「相談窓口」では、問題をできる限り早い段階でキャッチし、被害者と相談し協力しあって、事態が解決に向かうのをサポートしていきます。

少しでも、不安や不審を感じたら、どうぞ「相談窓口」にアクセスしてみてください。

#### (a) 「相談窓口」の構成について

毎年若干のメンバーの入れ替えがありますが、窓口委員は、必ず男性と女性によって構成されています。相談申し込みの段階で、実際に面談する窓口委員についても、できる限り要望に応じていきたいと考えています。

平成24年度の窓口委員については、京都大学ホームページ「ハラスメント相談窓口」をご覧ください。

URL : [http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/human\\_rights/harassment/madoguti.htm](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/human_rights/harassment/madoguti.htm)

#### (b) 相談の申し込みがあったら

相談は、相談者と窓口委員との間の面談によって行います。

まず、相談の申し込みがあれば、改めて窓口委員の方から具体的な面談に関しての要望をうかがい日時のご相談をします。原則として二人の委員で話を聞かせていただきます。

相談内容の秘密は絶対に守ります。

セクシュアル・ハラスメントなどの被害の実態は、ケースによってまちまちですし、解決へのプロセスも一定ではありません。窓口委員は、解決に向けてもっともふさわしい方策は何か、相談者の意向を第一にしながら、一緒に考えていきます。全学のカウンセリングセンターや専門の

カウンセラーを紹介することもできます。問題の内容によっては、人権問題対策委員会など、他の関連する委員会と連絡を取り合い、対応することもあります。

### (c)こんな場合に相談して下さい

セクシュアル・ハラスメント等の人権問題は、加害者と被害者双方のいろいろな立場や事情がからんでいて解決をおくらせることになりがちです。不愉快な言動はやめてほしいのだが、はっきりそうとは言いにくい、それは決しておかしいことではありません。一人で悩まずに、また拒絶できない自分を責めたりせずに、「相談窓口」やカウンセリングセンターに、相談してみてください。きっと解決できます。もちろん、早ければ早いほどいいですが、遅すぎるということはありません。

例えば、「自分が不快に感じている行為がセクハラにあたるのかどうか知りたい」「そのような行為はやめさせたいが、どうしたらよいかわからない」というような時、連絡を取ってみてください。

また、「身近にセクハラ等の人権侵害が行われている状況を解決したい」と思われる時にもご相談ください。対策を講じるために、被害を受けている本人の申し出は必須ですが、被害者の立場によっては、相談窓口に来ることすらも躊躇されるということがあり得ます。解決のプロセスは若干異なるでしょうが、その場合も最善の方法を探っていきます。とにかく迷ったら、ご相談ください。

### (d)相談の申し込み方法

下記のいずれかの方法で、氏名ならびに連絡先を明示のうえ申し込んでください。折り返し、こちらから連絡いたします。

原則として本人が申し込んでください。ただ、周りの人、あるいは本人から相談を受けた人が申し込むこともできます。

相談者のプライバシーは絶対に守ります。

**手紙の場合** 606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院文学研究科・文学部 「相談窓口」

**電話の場合** 窓口委員の内線電話まで

**電子メール** S-H.soudan@bun.kyoto-u.ac.jp

(なお、京都大学にはカウンセリングセンターがあり、専門のスタッフが、セクシュアル・ハラスメントなどの人権侵害についての全学相談窓口となっています。)

(文学研究科・文学部人権問題対策委員会)

## 6. カウンセリングセンター

京都大学に籍を置く、学生、教職員のための、総合的な相談機関です。修学上あるいは学生生活上の悩み、さまざまな人間関係など、どのような悩みや苦しみについての相談にも、学生相談、心理相談の専門スタッフが応じています。秘密は守られますので、実り豊かな学生生活のために、日々の充実のために、気軽に、安心してご利用ください。こんなことを相談に行ってもよいのだろうかと思うような時にもぜひ一度訪ねてみてください。

### 相談のご案内

#### ◆たとえばこんな時に

学生生活上の様々な悩みの相談に応じています。

- ・人間関係について悩んでいる
- ・自分の性格について考えてみたい
- ・異性とのつきあい方や性のことで悩んでいる
- ・どういうわけか研究にやる気がでない
- ・進路を変更しようか迷っている
- ・気持ちが落ち込んだり不安になることがあって苦しい
- ・指導教員から（性的な）嫌がらせをうけている
- ・自分の可能性や適性を知りたい
- ・その他どのようなことでも

#### ◆相談申し込みの方法

センターまで直接来室されるか、電話にて申し込んでください。手紙やファックス、電子メールでも受け付けます。手紙、ファックス、電子メールの場合、所属、氏名ならびに連絡先を必ず明記してください。折り返し連絡します。また、電子メールの件名には必ず「相談申し込み」の文字を入れてください。

#### ◆場所および連絡先

カウンセリングセンターは、本部キャンパス、附属図書館の南側にある赤レンガの建物の1階、西の端にあります。ご連絡・お問い合わせは下記まで。

住所：606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学カウンセリングセンター

電話：075-753-2515

ファックス：075-753-2594 電子メール [counseling@www.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:counseling@www.adm.kyoto-u.ac.jp)

#### ◆受付時間

原則として月曜から金曜の午前10時から午後5時まで

◆スタッフ

心理学（臨床心理学，相談心理学，青年心理学など）を専門とするスタッフが相談に当たります。

センター長	青木 健次 教授
カウンセラー	青木 健次 教授
	杉原 保史 教授
	村上嘉津子 准教授
	中川 純子 講師
	和田 竜太 講師
	千原 雅代 非常勤講師
	伊藤 一美 非常勤講師
	平田富美子 非常勤講師
	康 智善 非常勤講師
	多田 昌代 非常勤講師

ハラスメントについて

もしあなたが、ハラスメントを受けていると感じているなら、一人で悩まず、誰か信頼できる人に相談することが必要です。また、あなたの周囲でそういう事態を見聞きしたという場合も同様です。

相談しようとする人は、文学部・文学研究科のハラスメント相談窓口相談にすることも、カウンセリングセンター内のハラスメント相談窓口相談することもできます。これらの相談窓口では、相談する人の意向を尊重し解決の方向性を探ります。相談する人はこれらの窓口を通じて、文学研究科長ないしは、人権担当理事に申し立てをすることができます。文学研究科長または人権担当理事はその申し立てを受けて、調査を行い可能な対応を実施します。

ハラスメントに当たるのかどうかよく分からないというような場合でも、何か気がかりなことがあれば、カウンセリングセンターに問い合わせてください。他の相談でもそうですが、相談者のプライバシーには万全の注意を払いますので、安心して相談してください。

## 1. 教育職員免許状取得について

京都大学の教職課程では高度な専門性をもった教師，豊かな教養と確かな実践力，創造的な探求力を身に付けた教師の養成をめざしており，「教科に関する科目」と「教職に関する科目」について必要な単位を修得することによって教育職員免許状（教員免許）を取得することができる。各科目については，それぞれ履修が許可される回生が指定されているので，各回生で取得できる単位から計画的に取得していくこと。

5月に教育学部が開催する教職課程オリエンテーションに参加すること。

### 1. 教育職員免許状について

大学を除くすべての国公立，私立学校の教員となるためには教育職員免許状が必要であり，本学で取得できるのは高等学校教諭，中学校教諭及び特別支援学校教諭の免許状である。

高等学校及び中学校の免許状は教科＜国語・社会・地理歴史・公民・理科・数学・英語など＞別になっており，教育職員免許法に定められた所要の単位を修得すれば，相当の免許状が取得できる。

文学部・文学研究科で取得できる免許状の種類と教科

文学部	中学校一種	国語・社会・英語・フランス語・中国語・宗教
	高等学校一種	国語・地理歴史・公民・英語・フランス語・中国語・宗教
文学研究科	中学校専修	国語・社会・英語・フランス語・中国語・宗教
	高等学校専修	国語・地理歴史・公民・英語・フランス語・中国語・宗教

### 2. 単位の修得について

単位は「教科に関する科目」「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」について，それぞれ必要な単位を修得しなければならない。

(1)「教科に関する科目」の単位については，文学部ホームページに掲載の教員免許取得のための手引きを参照すること。（一部，学部の専門科目として認定される場合がある。）平成 18 年度以前入学者は文学部教務掛に照会すること。

(2)「教職に関する科目」の単位は教育学部で開講している授業科目の中から，指定された科目を履修し，修得すること（配当は 2 回生から）。

※平成 22 年度学部入学者から，教職総合演習（平成 24 年度を以て廃止）に替わる科目として教職実践演習（平成 25 年度後期から開講）が必修科目となった。この科目は 4 回生の後期に履修することが求められており，「教科に関する科目及び教職に関する科目の履修状況を踏まえ，教員として必要な知識技能を修得したことを確認する」（教育職員免許状施行規則）ための科目である。従って，教職実践演習を履修するまでに，教師として求められる力量をほぼ身につけていることが望ましい。そこで本学では教員免許を希望する学生を支援するため平成 22 年度から履修カルテと教職課程ポートフォリオ（※注）を用いた教職指導を行っているので，履修カルテ（文学部 HP に掲載）を確認しつつ，教育学部提供の教職ポートフォリオに蓄積すること。詳細について

は教育学部主催の教職課程オリエンテーションで説明があるので参加すること。

- (3)「教科又は教職に関する科目」＜平成 12 年度以降入学者から適用＞については、「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」の必要単位数を超えて修得した場合、その単位を当該単位として充当する。

### 3. 教育実習について

教育実習は「教職に関する科目」として必修であり、実習に係る事前、事後指導（いずれも講義）並びに中・高等学校で行う実習（中学校免許状は 4 週間、高等学校免許状は 2 週間）からなっている。教育実習は京都大学に附属学校がないため、原則として学生の出身校（中学校・高等学校）において実施する。教育実習参加についての説明会は 3 回生時の 4 月下旬、実習に係る事前指導は 4 回生の 4 月下旬から 5 月中旬に、また事後指導は 11 月下旬から 12 月に行う予定である。取得希望者は必ず説明会に出席し、また事前指導を受けたうえで教育実習に参加すること。教育実習に参加できるのは学部 4 回生（中学校免許状取得希望者は 3 回生からでも可能な場合がある。）、大学院生、または本学卒業の科目等履修生で教員免許状取得希望者に限る。

さらに事故対策としての保険、「学生教育研究災害障害保険」（学研災）と「学研災付帯賠償責任保険」（学研賠）に加入しておかないと教育実習に参加できない。

### 4. 介護等体験について

中学校教諭免許状取得希望者については、平成 10 年度入学者から、特別支援学校で 2 日間と社会福祉施設等（保育所を除く）で 5 日間、合計 7 日間の介護等体験を行うことが義務づけられている。介護等体験についての制度や申請方法については教育学部で説明会が実施され、その後申込受付を行う。また、申請にあたっては健康診断証明書が必要なので当該年度に実施される学生一般定期健康診断は必ず受検しておくこと。その場合、胸部 X 線検査を省略しないこと。さらに事故対策としての保険、「学生教育研究災害障害保険」（学研災）と「学研災付帯賠償責任保険」（学研賠）に加入しておかないと介護等体験に参加できない。

＜保険の担当：奨学厚生課厚生掛＞

中学校・高等学校の教員免許を取得する条件を満たした上で「特別支援教育に関する科目」の単位を修得すれば特別支援教育学校の免許を取得することができる。（詳細は教育学部学生便覧の該当ページを参照）

### 5. 教育職員免許状の授与申請

教育委員会への申請手続きについては例年 10 月頃に掲示で周知するので、卒業・修了予定者は見落としのないよう注意すること。

#### (※注) 教職ポートフォリオ

ポートフォリオとは求められている目標を達成したことを示すような成果資料を学習者本人が蓄積していくファイルのことで、教職課程ポートフォリオ作りによって学習者は教員となるために求められている目標の達成に、より自覚的に取り組むことができる。また、学習者とそれを支援する指導教員が蓄積された成果を基に達成点と今後の課題を検討する資料となる。



- ※教育学部インターネット上サポートシステム「Moodle@京大教育」(<http://lms.educ.kyoto-u.ac.jp/>)  
教職課程に関わる各種の学習機会等に関して適宜、連絡や交流を行うために教員免許取得希望者には「Moodle@京大教育」(ウェブベースのeラーニングソフトウェア)の登録を勧める。
- ※教職課程に関わる諸連絡は教育学部本館入口の掲示板に掲示される。(同じ内容が教育学部ホームページ(<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp>)にも掲載される。)説明会や事前指導などの情報については文学部新館2階掲示板でも確認することができる。
- ※卒業直前に、単位不足により免許取得が不可能であることが判明する例が稀に見られるので注意すること。京都大学発行「学生便覧」の「教育職員免許状」の項目も熟読しておくこと。
- ※その他、不明なことがあれば、文学部教務掛に問い合わせること。

## 2. 学芸員となる資格取得について

### 学芸員の職務

博物館法に基づく専門的職員で、博物資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。

### 学芸員の資格

学芸員となるには、学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得しなければならない。

### 大学において修得すべき博物館に関する科目の単位

博物館法(昭和26年法律第285号)第5条第1項第1号の規定により大学において修得すべき博物館に関する科目の単位と本年度本学部、教育学部、理学部及び総合博物館において開講される科目との関係を示すと下記のとおりである。

#### 【新科目（新規則に規定する科目）】

科 目	法律上の単位	区分	本年度、本学部等の授業科目のうちこれらに該当するもの	学部等	備 考
生涯学習概論	2	選必	「生涯学習概論Ⅰ」：本年度開講なし	教育学部	※教育学部での履修登録が必要
			「生涯学習概論Ⅱ」渡邊准教授		
博物館概論	2	必修	「博物館学Ⅰ」佐々木講師	文学部	学部共通科目参照
博物館経営論	2	必修	「博物館学Ⅱ」佐々木講師		
博物館資料論	2	必修	「博物館学Ⅲ」宮川講師		
博物館資料保存論	2	必修	「博物館資料保存論」本川准教授、五島講師	総合博物館 (全学共通科目)	全学共通科目参照
博物館展示論	2	必修	「博物館展示論」塩瀬准教授		
博物館教育論	2	必修	「博物館教育論」大野教授		
博物館情報・メディア論	2	必修	「博物館情報・メディア論」五島講師		
博物館実習	3	選必	(学内実習・文系) 「博物館実習(文化史)」吉井教授他	文学部 (全学共通科目)	全学共通科目参照
			(学内実習・理系) 「博物館実習(自然史)」理学研究科・総合博物館教員多数	理学部 (全学共通科目)	
		必修	(館園実習) 「博物館実習(館園実務)」総合博物館教員多数	総合博物館 (全学共通科目)	

注：平成24年度以降は、新科目のみの開講となります。

博物館法第5条により、大学において博物館に関する科目を修得し、学士の学位を得た者には学芸員の資格が発生する。この証明を必要とする者は、教務掛に証明書発行願を提出し、交付を受けること。

「博物館法施行規則の一部を改正する省令」が平成24年4月1日から施行されたことに伴い、以下のとおり取り扱われますのでご留意願います。

■平成24年3月31日までに、旧科目（旧規則に規定する科目）の単位の全部を修得した者  
新科目（新規則に規定する科目）の単位の全部を修得したものとみなします。

■平成24年3月31日までに、旧科目の単位の全部を修得していない者  
以下に該当する類型の取扱いとなります。

類 型		取 扱 い
1. 平成24年4月1日以後に入学した者		新科目・単位数の修得が必要
平成24年4月1日以前から在籍している者	2. 引き続き当該大学（大学院を除く）に在籍して卒業する者 ※1 【留年した場合を含む】	旧科目・単位数の修得で可
	3. 大学院へ進学した者 ※2	新科目・単位数の修得が必要
4. 他の大学から編入学した者 ※3		新科目・単位数の修得が必要

注：平成24年4月1日以降に入学した編入生は、新課程の対象になります。

また、平成24年4月1日以前から在籍している大学院生も新課程の対象になります。

【※1】

次の表の左欄に掲げる新科目を修得すれば、当該科目に相当する右欄に掲げる旧科目を修得したものとみなします。

新 科 目		旧 科 目	
生涯学習概論	2単位	生涯学習概論	1単位
博物館概論	2単位	博物館概論	2単位
博物館経営論	2単位	博物館経営論	1単位
博物館資料論	2単位	博物館資料論	2単位
博物館教育論	2単位	教育学概論	1単位
博物館情報・メディア論	2単位	博物館情報論	1単位
		視聴覚教育メディア論	1単位
博物館実習	3単位	博物館実習	3単位

注：卒業までに旧科目・単位数をすべて修得できなかった者は、旧科目への読み替えが出来なくなり、資格取得のためには、新科目・単位数の修得が必要となります。

【※2・※3・科目等履修生】

次の表の左欄に掲げる旧科目を既に修得していれば、当該科目に相当する右欄に掲げる新科目を修得したものとみなします。

旧 科 目		新 科 目	
生涯学習概論	1単位	生涯学習概論	2単位
博物館概論	2単位	博物館概論	2単位
博物館経営論	1単位	博物館経営論	2単位
博物館資料論	2単位	博物館資料論	2単位
読み替え不可		博物館資料保存論	2単位
読み替え不可		博物館展示論	2単位
読み替え不可		博物館教育論	2単位
博物館情報論	1単位	博物館情報・メディア論	2単位
視聴覚教育メディア論	1単位		
博物館実習	3単位	博物館実習	3単位

注：未修得の科目及び読み替えが出来ない『博物館資料保存論』、『博物館展示論』、『博物館教育論』を修得する必要があります。

◎その他、不明なことがあれば、文学部教務掛に問い合わせてください。

### 3. 図書館司書・学校図書館司書教諭となる資格の取得について

図書館学の科目は、公立図書館司書、学校図書館司書教諭の資格取得上の必修科目である。  
これに関する科目はすべて教育学部で開講されているので、教育学部で履修登録を行うこと。

#### 1. 図書館司書

図書館法に規定している図書館において、専門的な職務に従事する司書となるための資格は、大学在学中に図書館学に関する一定の科目を履修することによって取得できるが、その科目とは下記のように、必修 11 科目 22 単位、選択 2 科目 2 単位以上(合計 22 単位以上)となっており、これらの科目と、本年度、教育学部において開講される講義科目との関係を示すと次のとおりである。原則として各科目とも隔年開講であり、従って開講年度に履修しておくことが望ましい。なお、図書館法第 5 条により、大学を卒業した者で、大学において図書館学に関する科目を履修し、その単位を満たした者にはこの司書の資格が発生する。その証明を必要とする者は文学部教務掛に届け出て証明書の交付を受けること。

必修科目 (11 科目 22 単位)			
	科目名	単位数	教育学部における講義科目
甲          群	生涯学習概論	2	「生涯学習概論Ⅰ」本年度は開講しない
	図書館概論	2	「図書館概論」本年度は開講しない
	図書館制度・経営論	2	「図書館制度・経営論」塩見講師
	図書館情報技術論	2	「図書館情報技術論」古賀講師
	図書館サービス概論	2	「図書館サービス論」高嶽講師
	情報サービス論	2	「情報サービス論」本年度は開講しない
	児童サービス論	2	「児童サービス論」本年度は開講しない
	情報サービス演習	2	「情報サービス演習Ⅰ」本年度は開講しない 「情報サービス演習Ⅱ」本年度は開講しない
	図書館情報資源概論	2	「図書館情報資源概論」川崎教授
	情報資源組織論	2	「情報資源組織論」渡邊(隆)講師
情報資源組織演習	2	「情報資源組織演習Ⅰ」「情報資源組織演習Ⅱ」渡邊(隆)講師	
選択科目 2 科目 2 単位			
乙   群	図書館基礎特論	1	「図書館情報学特講Ⅱ」北村講師、川崎教授
	図書館サービス特論	1	「図書館情報学特講Ⅰ」北村講師
	図書館情報資源特論	1	「図書館情報学特講Ⅰ」北村講師
	図書・図書館史	1	「図書館情報学特講Ⅱ」北村講師、川崎教授

なお、「情報サービス演習」については、「情報サービス演習Ⅰ」「情報サービス演習Ⅱ」の両方、「情報資源組織演習」については、「情報資源組織演習Ⅰ」「情報資源組織演習Ⅱ」の両方の科目を履修しないと司書の資格は得られない。

平成 24 年 4 月 1 日以前からの在學生には以下が適用されるので注意すること。

備考 1: 平成24年3月31日までに旧規則に規定する科目(以下「旧科目」という。)の単位を全て修得した者は、新規則に規定する科目(以下「新科目」という。)の単位を全て修得したものとみなす。

2: 平成24年4月1日以前から引き続き在学し、卒業するまでに旧科目の単位を全て修得した者は、新科目の単位を全て修得したものとみなす。ただし、平成24年度以降は、新科目のみの開講となり、平成24年3月31日以前から引き続き在学している者が旧科目の一部を残している場合は、卒業するまでに次の表の左欄に掲げる新科目を修得すれば当該科目に相当する右欄に掲げる旧科目を修得したものとみなす。

新 科 目		旧 科 目	
生涯学習概論	2 単位	生涯学習概論	1 単位
図書館概論	2 単位	図書館概論	2 単位
図書館制度・経営論	2 単位	図書館経営論	1 単位
図書館サービス概論	2 単位	図書館サービス論	2 単位
情報サービス論	2 単位	情報サービス概説	2 単位
児童サービス論	2 単位	児童サービス論	1 単位
情報サービス演習	2 単位	レファレンスサービス演習	1 単位
		情報検索演習	1 単位
図書館情報資源概論	2 単位	図書館資料論	2 単位
情報資源組織論	2 単位	資料組織概説	2 単位
情報資源組織演習	2 単位	資料組織演習	2 単位
図書館情報資源特論	1 単位	専門資料論	1 単位

※新科目の「情報サービス演習Ⅰ」を修得すれば、旧科目の「レファレンスサービス演習」を修得したものとみなす。新科目の「情報サービス演習Ⅱ」を修得すれば、旧科目の「情報検索演習」を修得したものとみなす。

※新科目の「情報資源組織演習Ⅰ」を修得すれば、旧科目の「資料組織演習Ⅰ」を修得したものとみなす。新科目の「情報資源組織演習Ⅱ」を修得すれば、旧科目の「資料組織演習Ⅱ」を修得したものとみなす。

※「専門資料論」を修得していない者は、「図書館情報学特講Ⅰ」と「図書館情報学特講Ⅱ」の両方を修得しなくてはならない。

## 2. 学校図書館司書教諭

教員免許状をもつ者が、さらに学校図書館の専門的職務に従う司書教諭の資格を得るためには、大学在学中に、下記左欄に示す司書教諭講習科目(5科目10単位)を修得しておくこと。この司書教諭講習科目と本年度教育学部において開講される講義科目との関係は下記のとおりである。なお、司書教諭の資格発生には特別の手続きを必要とするので、文学部教務掛に申し出ること。(5月初旬に掲示予定)

司書教諭講習科目	単位数	教育学部における講義科目
学校経営と学校図書館	2	「学校経営と学校図書館」本年度は開講しない
学校図書館メディアの構成	2	「情報資源組織論」渡邊(隆)講師 「図書館情報資源概論」川崎(良)教授
学習指導と学校図書館	2	「学習指導と学校図書館」本年度は開講しない
読書と豊かな人間性	2	「読書と豊かな人間性」川崎(佳)講師
情報メディアの活用	2	「情報メディアの活用」高銀講師

なお、「学校図書館メディアの構成」については、「図書館情報資源概論(2単位)」と「情報資源組織論(2単位)」の両方の科目(計4単位)を履修しなくてはならない。

各科目とも隔年開講であり、従って開講年度に履修しておくことが望ましい。



# 1. 京都大学通則

(昭和 28 年達示第 3 号)

## 第 1 章 学 年

第 1 条 学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

第 2 条 学期は、次の 2 期とする。

前期 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

後期 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

第 3 条 学年中の定期休業日は、次のとおりとする。

日曜日

土曜日

国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日

創立記念日 6 月 18 日

夏季休業 8 月 6 日から 9 月 30 日まで

冬季休業 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育上の必要があると認めるときは、夏季休業及び冬季休業の期間を変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

3 前 2 項の規定にかかわらず、教育上の必要があると認めるときは、定期休業日に授業を行うことができる。

4 前 2 項の規定の実施に関し必要な事項については、総長が別に定める。

## 第 2 章 学 部

第 3 条の 2 本学の学部及び学科並びにその学生定員は、別表第 1 に掲げるとおりとする。

第 3 条の 3 前条の学部においては、当該学部の定めるところにより、学部又は学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定め、公表するものとする。

第 4 条 入学は、学年の初め 1 回とする。ただし、特別の必要があると認めるときは、当該学部の定めるところにより、学期の初めにも入学させることができる。

2 入学の手続は、当該学部の定めるところによる。

第 5 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を有する者とする。

(1) 高等学校を卒業した者

(2) 中等教育学校を卒業した者

(3) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者

(4) 通常の課程以外の課程により前号に相当する学校教育を修了した者

(5) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(6) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(7) 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8) 文部科学大臣の指定した者

(9) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令

第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

(10) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

第6条 入学志望者に対しては、試験を行う。

2 試験は、当該学部の定めるところによる。

第7条 次の各号の一に該当する者は、前条の規定にかかわらず選考のうえ、入学を許可することがある。

(1) 一の学部を卒業した者が、他の学部又は同一学部の他の学科に入学を志望するとき。

(2) 中途退学をした者が同一学部に入學を志望するとき。

(3) 他の大学の学部を卒業した者

2 前項に規定するもののほか、編入学については、当該学部の定めるところによる。

第8条 本学の他学部へ転学を志望し、又は他大学から本学へ転学を志望する者は、欠員のある場合に限り、当該学部の定めるところにより許可することがある。

第9条 入学志望者は、所定の期日までに、願書を学部長あてに提出しなければならない。

第10条 入学志望者は、願書に添えて検定料を納めなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生(国費外国人留学生制度実施要項(昭和29年3月31日文教大臣裁定。以下「実施要項」という。))第2条に定めるものをいう。以下同じ。)は、検定料の納付を要しない。

3 受理した検定料は、返還しない。ただし、京都大学における学生納付金に関する規程(平成16年達示第63号。第67条において「学納金規程」という。)に定めるものについては、この限りでない。

第11条 入学志望者には、健康診断を行う。

第12条 入学に際しては、所定の入学手続期間内に入学料を納めなければならない。

2 入学料を納めない者には、入学を許可しない。ただし、次項の規定による手続をとった者については、この限りでない。

3 第1項の規定にかかわらず、特別の事由のある者については、別に定める京都大学授業料、入学料免除等規程(昭和53年達示第5号。以下「免除等規程」という。)による。

4 前項の規定による手続をとった者が入学料全額の免除若しくは入学料の徴収猶予をされなかつた場合又は入学料の徴収猶予をされた場合において、免除等規程の定めるところにより所定の期日までに納めるべき入学料を納めないときは、学生の身分を失う。

5 第1項の規定にかかわらず、第37条第1項第8号、第3項第7号又は第53条の3第8号の規定により本学大学院に入学し、課程を修了した者が、当該入学前に在学した学部へ再入学するときは、入学料の納付を要しない。

6 第1項の規定にかかわらず、国費外国人留学生は、入学料の納付を要しない。

7 受理した入学料は、返還しない。ただし、所定の入学手続期間内に入学を辞退し、かつ、申し出た者については、この限りでない。

第13条 入学を許可された者は、本学の定めた方式によつて宣誓を行うものとする。

第14条 除籍された者が、再入学を願い出たときは、除籍された日から3年以内に限り、学部長の申請により教育研究評議会の議を経て、総長が許可することがある。

第15条 教育課程は、教育上の目的を達成するために必要な科目を開設して、体系的に編成するものとする。

2 教育課程の編成に当たっては、学部及び学科の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮するものとする。



第 16 条 科目の区分は、開講対象による区分として全学共通科目及び学部科目とし、教育目的・内容による区分として教養科目及び専門科目とする。

第 17 条 科目の単位数の計算の基準については、別に定める。

第 18 条 科目、授業、修業年限及び在学年限は、当該学部の定めるところによる。

2 前項の場合において、学部は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

第 18 条の 2 授業の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究を行うものとする。

第 19 条 学生は、他学部の科目を履修することができる。ただし、この場合は、所属学部長を経て、当該学部長の許可を受けなければならない。

第 20 条 教育上有益と認めるときは、当該学部の定めるところにより、他の大学又は短期大学と協議のうえ、学生に、その科目を履修することを許可することがある。

2 教育上有益と認めるときは、当該学部の定めるところにより、外国の大学又は短期大学と協議のうえ、学生に、休学することなく当該外国の大学又は短期大学に留学し、その科目を履修することを許可することがある。

3 教育上有益と認めるときは、当該学部の定めるところにより、学生に、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することを許可することがある。

4 前 3 項の規定により履修した科目について修得した単位は、当該学部の定めるところにより、60 単位を超えない範囲で、本学における科目の履修により修得したものとみなすことができる。

第 21 条 教育上有益と認めるときは、当該学部の定めるところにより、学生が行う短期大学又は高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項の規定により与えることができる単位数は、前条第 4 項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 22 条 教育上有益と認めるときは、当該学部の定めるところにより、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した科目について修得した単位(大学設置基準(昭和 31 年文部省令第 28 号)第 31 条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 教育上有益と認めるときは、当該学部の定めるところにより、学生が本学に入学する前に行つた前条第 1 項に規定する学修を、本学における科目の学修とみなし、単位を与えることができる。

3 前 2 項の規定により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第 20 条第 4 項の規定により修得したものとみなす単位数及び前条第 1 項の規定により与えることができる単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

4 第 1 項に定めるもののうち、学生が本学の科目等履修生として修得した単位(大学の学生として修得した単位及び学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 90 条の規定による入学資格を有する前に修得した単位を除く。)を本学に入学した後に修得したものとみなすときは、その単位数、修得に要した期間その他当該学部が必要と認める事項を勘案して当該学部が認める期間は、第 18 条の修業年限に通算することができる。ただし、その期間は、当該修業年限の 2 分の 1 を超えることができない。

第 23 条 疾病その他の事故により、3 月以上修学を中止しようとするときは、所属学部長の許可を得て、休学することができる。

2 疾病のため、修学が不相当と認められる者に対しては、学部長は、総長の許可を得て、休学を命ずるこ

とができる。

3 休学は、通算4年を超えることができない。

4 休学期間内に復学しようとするときは、その旨届け出なければならない。

5 休学期間は、在学年に算入しない。

第24条 学生が退学しようとするときは、その事由を申し出て、総長の許可を受けなければならない。

第25条 次の場合には、学部長の申請により教育研究評議会の議を経て、総長が除籍する。

(1) 疾病その他事故により成業の見込みがない者

(2) 授業料納付の義務を怠る者

第26条 試験は、当該学部の定めるところにより行う。

第27条 卒業の要件は、学部所定の期間在学し、学士試験に合格することとする。

第27条の2 学部においては、学生に対して、前条の学士試験及び学修の成果に係る評価の基準をあらかじめ明示するものとする。

第28条 授業料は、年額を次の2期に分けて、所定の期日までに納めなければならない。ただし、第2期に係る授業料については、学生が申し出た場合、当該年度の第1期に係る授業料を納めるときに納めるものとする。

第1期 4月から9月まで 年額の2分の1に相当する額

第2期 10月から3月まで 年額の2分の1に相当する額

2 前項の規定にかかわらず、特別の事由がある者については、別に定める免除等規程による。

3 第1項本文の規定にかかわらず、国費外国人留学生は、授業料の納付を要しない。

4 受理した授業料は、返還しない。

5 第1項ただし書の規定により、第2期に係る授業料を当該年度の第1期に係る授業料を納めるときに併せて納めた者が第2期に係る授業料の徴収時期前に休学又は退学し、かつ、申し出た場合にあつては、既に納めた第2期に係る授業料に相当する額を返還するものとする。

第29条 休学中は、別に定める免除等規程により授業料を免除する。

第30条 停学を命ぜられた者は、その期間中であつても授業料を納付しなければならない。

第31条 学生は、別に定める学生票の交付を受け、常に携帯しなければならない。

第32条 本学学規に違背し、学生の本分を守らない者があるときは、総長は懲戒する。

2 懲戒に関する手続は、別に定める。

第33条 懲戒の種類は、次のとおりとする。

(1) 譴責

(2) 停学

(3) 放学

第34条 停学3月以上にわたるときは、その期間は、在学年に算入しない。

### 第3章 大学院

第35条 本学大学院の研究科等及び専攻並びにその学生定員は、別表第2に掲げるとおりとする。

第35条の2 前条の研究科等においては、当該研究科等の定めるところにより、研究科等又は専攻ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定め、公表するものとする。

第36条 研究科(地球環境学舎を含む。以下同じ。)に博士課程を置く。

2 博士課程の標準修業年限は、5年とする。ただし、医学研究科医学専攻の博士課程の標準修業年限は、4年とする。

- 3 博士課程(前項ただし書の博士課程を除く。)は、前期2年の課程及び後期3年の課程に区分し、前期2年の課程は、これを修士課程として取り扱う。
- 4 薬学研究科薬科学専攻の博士課程は、前期2年の課程とし、医学研究科社会健康医学系専攻及び地球環境学舎地球環境学専攻の博士課程は、後期3年の課程とする。
- 5 第3項の規定にかかわらず、アジア・アフリカ地域研究研究科の博士課程は、課程の区分を設けない。
- 6 第3項の前期2年及び後期3年の課程並びに前項の課程は、それぞれ「修士課程」及び「博士後期課程」並びに「一貫制博士課程」という。

第36条の2 入学は、学年の初め1回とする。ただし、特別の必要があると認めるときは、当該研究科の定めるところにより、学期の初めにも入学させることができる。

2 入学の手続は、当該研究科の定めるところによる。

第37条 修士課程及び一貫制博士課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を有する者とする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学に3年以上在学した者(学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であつて、本学において、所定の単位を優れた成績をもつて修得したものと認められた者
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの

2 博士後期課程に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を有する者とする。

- (1) 修士の学位又は修士(専門職)若しくは法務博士(専門職)の学位を有する者
- (2) 外国において、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が指定するものの当該課程(本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程に限る。)を修了した者
- (5) 国際連合大学(国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項の規定によるものをいう。)の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 本学において、個別の入学資格審査により、第1号に掲げる者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの

3 医学研究科の博士課程(第36条第2項ただし書の博士課程に限る。以下同じ。)に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する資格を有する者とする。

- (1) 医学部医学科又は歯学部を卒業した者
- (2) 大学における修業年限6年の獣医学を履修する課程を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 大学(医学、歯学又は獣医学を履修する課程に限る。)に4年以上在学した者(学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であつて、本学において、所定の単位を優れた成績をもつて修得したものと認めた者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、第1号に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

第38条 入学志望者に対しては、試験を行う。

2 試験は、当該研究科の定めるところによる。

第39条 次の各号の一に該当する者は、前条の規定にかかわらず、選考のうえ、入学を許可することがある。

- (1) 第37条第2項各号の一に該当する資格を有する者が、一貫制博士課程における博士後期課程の第1年次に相当する年次に入学を志望するとき。
- (2) 中途退学した者が、同一研究科に入学を志望するとき。

第40条 本学大学院の他研究科に転科(地球環境学舎にあつては転部)を志望し、又は他大学大学院から本学大学院に転学を志望する者は、欠員のある場合に限り、当該研究科の定めるところにより、許可することがある。

2 同一研究科内における転専攻については、当該研究科の定めるところによる。

第41条 除籍された者が再入学を願い出たときは、除籍された日から3年以内に限り、研究科長(地球環境学舎長を含む。以下同じ。)の申請により教育研究評議会の議を経て、総長が許可することがある。

第42条 入学志望者は、所定の期日までに、願書を研究科長あてに提出しなければならない。

第42条の2 入学志望者は、願書に添えて検定料を納めなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生及び実施要項第4条第2号の推薦による入学志望者は、検定料の納付を要しない。

第42条の3 入学に際しては、所定の入学手続期間内に入学料を納めなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生及び実施要項第4条第2号又は第4号の推薦により、前項の期間までにその採用が決定している者は、入学料の納付を要しない。

第42条の4 教育課程は、教育上の目的を達成するために必要な科目を開設するとともに研究指導の計画を策定して、体系的に編成するものとする。

2 教育課程の編成に当たっては、専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養するよう適切に配慮するものとする。

第43条 科目、その授業及び研究指導は、当該研究科の定めるところによる。

- 2 前項の場合において、研究科は、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。
- 3 当該研究科において必要と認めるときは、学部若しくは他の研究科等(研究科、公共政策教育部又は経営管理教育部をいう。以下同じ。)の科目を履修させ、修士課程、博士後期課程、一貫制博士課程若しくは医学研究科の博士課程の単位とし、又は他の研究科において研究指導を受けさせ、修士課程、博士後期課程、一貫制博士課程若しくは医学研究科の博士課程の修了に必要な研究指導の一部とすることができる。
- 第43条の2 授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究を行うものとする。
- 第44条 学生は、他の研究科等の科目を履修し、又は他の研究科において研究指導を受けることができる。ただし、この場合所属の研究科及び当該他の研究科等の長の許可を受けなければならない。
- 2 前項の規定により履修した科目及びこれについて修得した単位並びに前項の規定により受けた研究指導の取扱いについては、当該研究科の定めるところによる。
- 第45条 教育上有益と認めるときは、当該研究科の定めるところにより、他の大学と協議のうえ、学生に、当該他の大学の大学院の科目を履修することを許可することができる。
- 2 教育上有益と認めるときは、当該研究科の定めるところにより、外国の大学と協議のうえ、学生に、休学することなく当該外国の大学の大学院に留学し、その科目を履修することを許可することができる。
- 3 教育上有益と認めるときは、当該研究科の定めるところにより、学生に、外国の大学の大学院が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することを許可することができる。
- 4 前3項の規定により履修した科目について修得した単位は、当該研究科の定めるところにより、10単位を超えない範囲で、本学大学院における科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 第46条 学生で、他の大学の大学院若しくは研究所等において研究指導を受け、又は休学することなく外国の大学の大学院若しくは研究所等に留学し、研究指導を受けることを志望するものには、それぞれ前条第1項又は第2項に定めるものと同様の要件及び手続により、これを許可することができる。ただし、修士課程及び一貫制博士課程の修士課程に相当する年次の学生について許可する場合には、当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。
- 2 前項の規定により受けた研究指導は、当該研究科の定めるところにより、修士課程、博士後期課程、一貫制博士課程又は医学研究科の博士課程の修了に必要な研究指導の一部とすることができる。
- 第46条の2 教育上有益と認めるときは、当該研究科の定めるところにより、学生が本学大学院に入学する前に大学院において履修した科目について修得した単位(大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第15条において準用する大学設置基準第31条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本学大学院に入学した後の本学大学院における科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 前項の規定により修得したものとみなすことができる単位数は、転学等の場合を除き、本学大学院において修得した単位以外のものについては、10単位を超えないものとする。
- 第47条 疾病その他の事故により、3月以上修学を中止しようとするときは、研究科長の許可を得て、休学することができる。
- 2 疾病のため、修学が不相当と認められる者に対しては、研究科長は、総長の許可を得て、休学を命ずることができる。
- 3 休学は、修士、博士後期の各課程、一貫制博士課程及び医学研究科の博士課程において、それぞれ通算3年を超えることができない。ただし、特別の事情がある者に対し、一貫制博士課程においては、なお、2年以内の、医学研究科の博士課程においては、なお、1年以内の休学を許可することができる。
- 第48条 試験及び研究指導の認定方法は、当該研究科の定めるところによる。

第49条 修士課程の修了の要件は、同課程に2年以上在学して、研究指導を受け、専攻科目につき30単位以上を修得し、かつ、当該研究科の行う修士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間については、当該研究科の定めるところにより、優れた研究業績を挙げた者について、同課程に1年以上の在学をもつて足りるものとするができる。

2 在学年限は、4年を超えることができない。

第50条 博士後期課程の修了の要件は、同課程に3年(専門職大学院設置基準(平成15年文部科学省令第16号)第18条第1項の法科大学院の課程を修了した者にあつては、2年)以上在学して、研究指導を受け、かつ、当該研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。

2 一貫制博士課程の修了の要件は、同課程に5年以上在学して専攻科目につき30単位以上修得し、研究指導を受け、かつ、当該研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。

3 前2項に規定するもののほか、当該研究科において必要と認めたときは、専攻科目につき当該研究科の定める単位の修得を博士後期課程又は一貫制博士課程の修了の要件に加えることができる。

4 医学研究科の博士課程の修了の要件は、同課程に4年以上在学して専攻科目につき30単位以上修得し、研究指導を受け、かつ、医学研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。

5 第1項、第2項及び前項の在学期間については、当該研究科の定めるところにより、優れた研究業績を挙げた者について、それぞれ博士後期課程にあつては1年(修士課程又は専門職学位課程の修了の要件を満たした者で、大学院における在学期間が2年未満のものにあつては、その在学期間を含めて3年)以上の、一貫制博士課程にあつては3年(第39条第1号に該当して入学した者で、修士課程又は専門職学位課程の修了の要件を満たした者にあつては、大学院における2年以内の在学期間を含めて3年)以上の、医学研究科の博士課程にあつては3年以上の在学をもつて足りるものとするができる。

6 在学年限は、博士後期課程においては6年を、一貫制博士課程においては10年を、医学研究科の博士課程においては8年を超えることができない。

第50条の2 研究科においては、学生に対して、第49条第1項並びに前条第1項、第2項及び第4項の論文の審査及び試験に係る評価の基準をあらかじめ明示するものとする。

第51条 授業料は、年額を次の2期に分けて、所定の期日に納めなければならない。

第1期 4月から9月まで 年額の2分の1に相当する額

第2期 10月から3月まで 年額の2分の1に相当する額

第52条 休学中は、別に定める免除等規程により授業料を免除する。

第53条 第10条第3項、第11条、第12条第2項ないし第4項及び第7項本文、第13条、第17条、第23条第4項及び第5項ないし第25条、第28条第1項ただし書及び第2項ないし第5項、第30条ないし第34条の規定は、大学院学生の場合に準用する。この場合において、第25条中「学部長」とあるのは「研究科長」と読み替えるものとする。

### 第3章の2 専門職大学院

第53条の2 第36条に定めるもののほか、法学研究科、医学研究科、公共政策教育部及び経営管理教育部に専門職学位課程を置き、これを専門職大学院とする。

2 前項の専門職大学院は、法学研究科の専門職学位課程に関し、これを法科大学院とする。

3 専門職学位課程(法科大学院の課程を除く。)の標準修業年限は、2年とする。ただし、教育上の必要があると認めるときは、医学研究科又は経営管理教育部の定めるところにより、1年以上2年未満の期間とすることができる。

4 法科大学院の課程の標準修業年限は、3年とする。

5 専門職大学院である法学研究科，医学研究科，公共政策教育部及び経営管理教育部の専攻及びその学生定員は，別表第2に掲げるとおりとする。

6 前項の研究科及び教育部においては，当該研究科又は教育部の定めるところにより，研究科若しくは教育部又は専攻ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定め，公表するものとする。

第53条の3 専門職学位課程に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する資格を有する者とする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において，外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて，文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学に3年以上在学した者(学校教育法第102条第2項の規定により，これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であつて，本学において，定の単位を優れた成績をもつて修得したものと認められた者
- (9) 本学において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，22歳に達したもの

第53条の4 教育課程は，教育上の目的を達成するために専攻分野に応じ必要な科目を開設して，体系的に編成するものとする。

第53条の5 科目及び授業は，当該法学研究科，医学研究科，公共政策教育部又は経営管理教育部(以下第53条の15までにおいて「研究科又は教育部」という。)の定めるところによる。

2 前項の場合において，研究科又は教育部は，学生に対して，授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

3 当該研究科又は教育部において必要と認めるときは，学部又は他の研究科等の科目を履修させ，専門職学位課程の単位とすることができる。

第53条の6 学生が各年次にわたつて適切に授業科目を履修するため，当該研究科又は教育部の定めるところにより，学生が1年間又は1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるものとする。

2 当該研究科又は教育部において必要と認めるときは，学生が各年次において履修し，修得すべき授業科目，単位数その他上位の年次に進級させる基準並びに同一年次において在学することができる年限を定めることができる。

第53条の7 学生は，他の研究科等の科目を履修することができる。ただし，この場合所属の研究科又は教育部及び当該他の研究科等の長の許可を受けなければならない。

2 前項の規定により履修した科目及びこれについて修得した単位の取扱いについては，当該研究科又は教育部の定めるところによる。

第53条の8 教育上有益と認めるときは，当該研究科又は教育部の定めるところにより，他の大学と協議のうえ，学生に，当該他の大学の大学院の科目を履修することを許可することができる。

2 教育上有益と認めるときは、当該研究科又は教育部の定めるところにより、外国の大学と協議のうえ、学生に、休学することなく当該外国の大学の大学院に留学し、その科目を履修することを許可することができる。

3 前2項の規定により履修した科目について修得した単位は、当該研究科又は教育部の定めるところにより、医学研究科、公共政策教育部又は経営管理教育部にあつてはその修了要件として定める単位数の2分の1を超えない範囲で、法学研究科にあつては30単位を超えない範囲で、当該専門職大学院又は法科大学院(以下「専門職大学院等」という。)における科目の履修により修得したものとみなすことができる。ただし、法学研究科において、93単位を超える単位の修得を修了の要件とする場合は、その超える部分の単位数に限り30単位を超えてみなすことができる。

第53条の9 教育上有益と認めるときは、当該研究科又は教育部の定めるところにより、学生が当該専門職大学院等に入学する前に大学院において履修した科目について修得した単位(大学院設置基準第15条において準用する大学設置基準第31条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。)を、当該専門職大学院等に入学した後の当該専門職大学院等における科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により修得したものとみなすことができる単位数は、転学等の場合を除き、当該専門職大学院等において修得した単位以外のものについては、前条第3項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて、医学研究科、公共政策教育部又は経営管理教育部にあつてはその修了要件として定める単位数の2分の1を超えないものとし、法学研究科にあつては30単位(前条第3項ただし書の規定により30単位を超えてみなす単位を除く。)を超えないものとする。

第53条の10 休学は、通算3年を超えることができない。

第53条の11 試験は、当該研究科又は教育部の定めるところによる。

第53条の12 専門職学位課程(法科大学院の課程を除く。)の修了の要件は、同課程に2年(第53条の2第3項ただし書の規定により標準修業年限を1年以上2年未満の期間とする場合にあつては、当該期間)以上在学し、専攻科目につき医学研究科、公共政策教育部又は経営管理教育部が定める30単位以上の修得その他の教育課程の履修により課程を修了することとする。この場合において、単位の修得以外の教育課程の履修を課すときは、当該履修の方法及びその学修の成果に係る評価の基準をあらかじめ学生に対し明示するものとする。

2 法科大学院の課程の修了の要件は、同課程に3年以上在学し、法学研究科が定める93単位以上を修得することとする。

3 在学年限は、4年(法科大学院にあつては6年)を超えることができない。ただし、第53条の6第2項の規定により当該研究科又は教育部において同一年次に在学する年限を定めるときは、当該年限を超えることができない。

第53条の13 第53条の9第1項の規定により当該専門職大学院等に入学する前に修得した単位(学校教育法第102条第1項の規定により入学資格を有した後、修得したものに限る。)を当該専門職大学院等において修得したものとみなす場合であつて当該単位の修得により当該専門職大学院等の教育課程の一部を履修したと認めるときは、その単位数、修得に要した期間その他当該研究科又は教育部が必要と認める事項を勘案して当該研究科又は教育部が認める期間は、1年を超えない範囲で、当該専門職大学院等の課程に在学したものとみなすことができる。ただし、第53条の2第3項ただし書の規定により1年以上2年未満の期間を標準修業年限とする場合において、当該専門職大学院の課程に在学したものとみなすことができる期間は、当該1年以上2年未満の期間から1年を減じた期間を超えることができない。

第53条の14 第53条の12第2項に定めるもののうち、法学研究科の定めるところにより、当該法科大学



院において必要とされる法学の基礎的な学識を有すると認める者(以下本条において「法学既修者」という。)に関しては、在学期間については1年を超えない範囲で当該法科大学院の課程に在学し、単位については30単位を超えない範囲で当該法科大学院が認める単位を修得したものとみなすことができる。ただし、法学研究科において、93単位を超える単位の修得を修了の要件とする場合は、そのを超える部分の単位数に限り30単位を超えてみなすことができる。

2 前項の規定により法学既修者について在学したものとみなすことのできる期間は、前条の規定により在学したものとみなす期間と合わせて1年を超えないものとする。

3 第1項の規定により法学既修者について修得したものとみなすことのできる単位数(第1項ただし書の規定により30単位を超えてみなす単位を除く。)は、第53条の8第3項及び第53条の9第1項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて30単位(第53条の8第3項ただし書の規定により30単位を超えてみなす単位を除く。)を超えないものとする。

第53条の15 第10条第3項、第11条、第12条第2項ないし第4項及び第7項本文、第13条、第17条、第18条の2、第23条第4項及び第5項ないし第25条、第28条第1項ただし書及び第2項ないし第5項、第30条ないし第34条、第36条の2、第38条、第39条(第2号の場合に限る。)、第40条ないし第42条の3、第47条第1項及び第2項、第51条及び第52条の規定は、専門職大学院等学生の場合に準用する。この場合において、第25条中「学部長」とあるのは「法学研究科長、医学研究科長、公共政策教育部長又は経営管理教育部長」と、第36条の2、第38条第2項及び第39条(第2号の場合に限る。)中「研究科」とあるのは「研究科又は教育部」と、第40条第1項中「研究科に転科(地球環境学舎にあつては転部)」とあるのは「研究科又は教育部に、それぞれ、転科若しくは転部」と、「当該研究科」とあるのは「当該研究科又は教育部」と、同条第2項中「研究科」とあるのは「研究科又は教育部」と、第41条中「研究科長(地球環境学舎長を含む。以下同じ。)」とあるのは「法学研究科長、医学研究科長、公共政策教育部長又は経営管理教育部長」と、第42条並びに第47条第1項及び第2項中「研究科長」とあるのは「法学研究科長、医学研究科長、公共政策教育部長又は経営管理教育部長」と読み替えるものとする。

#### 第4章 学位

第54条 学士試験に合格した者には、学士の学位を授与する。

第55条 修士課程を修了した者には、修士の学位を授与する。

2 前項に規定するもののほか、一貫制博士課程において、第49条第1項に規定する修士課程の修了に相当する要件を満たした者にも、修士の学位を授与することができる。

第55条の2 専門職学位課程(法科大学院の課程を除く。)を修了した者には、修士(専門職)の学位を授与する。

2 法科大学院の課程を修了した者には、法務博士(専門職)の学位を授与する。

第56条 博士後期課程を修了した者、一貫制博士課程を修了した者及び医学研究科の博士課程を修了した者には、博士の学位を授与する。

第57条 前条に規定するもののほか、別に定めるところにより博士の学位の授与を申請して、博士論文の審査及び試験に合格し、かつ、学識の確認を経た者にも、前条と同様の学位を授与する。

第58条 この章に定めるもののほか、学位の授与に関し必要な事項は、別に定める。

#### 第5章 外国学生、委託生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、特別研究学生、特別交流学生等

第59条 外国人で第5条及び第37条によらないで学部又は大学院に入学しようとする者には、当該学部又は研究科等の定めるところにより、外国学生として入学を許可することがある。

2 外国学生で学部又は大学院の課程を修了した者には、当該学部又は研究科等の定めるところにより学位を授与する。

第60条 公の機関又は団体等から、その所属の職員につき、学修科目を定め、学部又は大学院に入学を願い出たときは、当該学部又は研究科等の定めるところにより、委託生として入学を許可することがある。

2 委託生で所定の科目につき試験に合格した者には、当該学部又は研究科等の定めるところにより、修了証書を授与する。

第61条 本学の学生以外の者で学部又は大学院において、1又は複数の科目の履修を志望する者には、当該学部又は研究科等の定めるところにより科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生で履修した科目につき、当該学部又は研究科等の定めるところにより試験のうえ、単位を与えることができる。

第62条 特定の科目を定め、学部又は大学院において、聴講を志望する者には、当該学部又は研究科等の定めるところにより聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生で聴講した科目につき、本人の希望があるときは、証明書を交付する。

第63条 他の大学若しくは外国の大学の学生又は他の大学若しくは外国の大学の大学院の学生で、大学間の協議に基づき、特定の科目を定め、それぞれ、学部又は大学院において聴講を志望する者には、当該学部又は研究科等の定めるところにより、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 他の大学又は外国の大学の大学院の学生で、大学間の協議に基づき、大学院において研究指導を受けることを志望する者には、当該研究科の定めるところにより、特別研究学生として入学を許可することがある。

3 「大学院教育における大学間学生交流に関する協定書」(平成19年12月25日発効)に基づき、大学院において研究指導を受け、又は聴講を志望する者には、当該研究科の定めるところにより、特別交流学生として入学を許可することがある。

4 特別聴講学生又は特別交流学生として聴講した科目については、試験のうえ、単位を与える。

第64条 委託生、科目等履修生又は聴講生として入学を志望する者は、願書に添えて検定料を納めなければならない。

2 委託生、科目等履修生又は聴講生として入学する者は、入学に際して、所定の期日までに入学料を納めなければならない。特別聴講学生、特別研究学生又は特別交流学生として入学する者は、入学料の納付を要しない。

3 委託生、科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生の授業料は、履修又は聴講科目の単位数に応じて、特別研究学生の授業料は、研究指導を受ける期間の月数に応じて、それぞれ所定の期日までに納めなければならない。ただし、特別交流学生並びに次の各号に掲げる特別聴講学生及び特別研究学生は、授業料の納付を要しない。

(1) 国立大学(国立大学法人法(平成15年法律第112号)に基づき設置される大学で、当該大学との間における学生の交流協定又は協議に基づき授業料の相互不徴収が確認できるものに限る。)の学生又は大学院の学生

(2) 本学と公立又は私立の大学との間において締結した大学間相互単位互換協定(相互に授業科目を履修し、単位を修得することを認めるもので、授業料の相互不徴収及び有効期間が記されているものに限る。)に基づき受け入れる公立又は私立の大学の学生

(3) 本学と公立又は私立の大学との間において締結した大学間特別研究学生交流協定(相互に研究指導を受けることを認めるもので、授業料の相互不徴収及び有効期間が記されているものに限る。)に基づき受け入れる公立又は私立の大学の大学院の学生

(4) 本学と外国の大学との間において締結した大学間交流協定(学部若しくは研究科間の協定又は協定に準じるものを含み、相互に学生を受け入れるもので、その数、授業料の相互不徴収及び有効期間が記されているものに限る。)に基づき受け入れる外国の大学の学生

4 前3項の規定にかかわらず、文部科学省科学技術振興調整費新興分野人材養成プログラムに基づく科目等履修生に係る検定料、入学料及び授業料は、その納付を要しない。

5 受理した検定料、入学料及び授業料は、返還しない。

6 入学料又は授業料を納めないときは、入学又は聴講若しくは研究指導を受けることを許可しない。

第65条 第4条、第6条、第8条、第9条、第10条第1項及び第3項、第11条、第12条第1項ないし第5項及び第7項、第13条、第14条、第18条ないし第26条、第28条第1項、第2項、第4項及び第5項、第29条ないし第34条の規定は、学部の外国学生に準用する。

2 第10条第1項及び第3項、第11条、第12条第1項ないし第4項及び第7項本文、第13条、第23条第4項及び第5項ないし第25条、第28条第1項ただし書、第2項、第4項及び第5項、第30条ないし第34条、第36条の2、第38条、第40条ないし第42条、第42条の4ないし第52条、第53条後段、第55条、第56条の規定は、大学院の外国学生に準用する。

3 第11条、第19条、第24条ないし第26条、第30条ないし第33条の規定は、学部の委託生、科目等履修生及び聴講生に準用する。

4 第11条、第19条、第24条ないし第26条、第30条ないし第33条、第40条、第41条、第44条第1項、第48条、第53条後段の規定は、大学院の委託生、科目等履修生及び聴講生に準用する。

5 第24条、第26条、第30条ないし第33条の規定は、学部の特別聴講学生に準用する。

6 第24条、第30条ないし第33条、第48条の規定は、大学院の特別聴講学生及び特別研究学生に準用する。

7 第24条、第31条ないし第33条、第48条の規定は、特別交流学生に準用する。

第66条 この章及び別に定めるもののほか、特定の学部又は研究科等において特定の方法により学修を志望する者については、当該学部又は研究科等の定めるところによる。

## 第6章 授業料等の額

第67条 第10条第1項及び第42条の2第1項の検定料並びに第12条第1項及び第42条の3第1項の入学料の額並びに第28条第1項及び第51条の授業料の年額並びに第64条第1項の検定料、同条第2項の入学料及び同条第3項の授業料の額は、それぞれ学納金規程の定めるところによる。

附 則 (略)

別 表 (略)

## 2. 京 都 大 学 文 学 部 規 程

平成 15 年度以降入学者適用

昭和 24 年 12 月 19 日制定

### 第 1 学 科

第 1 条 本学部の学科は、次に掲げるとおりとする。

人文学科

### 第 2 入 学

第 2 条 入学者の選抜方法は、教授会で定める。

第 3 条 入学者の決定は、教授会で行う。

### 第 3 修 学

第 4 条 授業は、学部科目及び全学共通科目を必修科目及び選択科目に分けて行う。

第 5 条 学部科目及び全学共通科目の単位数、配当及び授業時間数は、別に定めるところによる。

第 6 条 京都大学通則(昭和 28 年達示第 3 号。以下「通則」という。)第 19 条の規定により他学部の科目を履修しようとする者は、学年の初め又は学期の初めに学部長に願い出て、当該学部の学部長の許可を受けるものとする。

第 7 条 通則第 20 条第 1 項の規定により他の大学の科目を履修しようとする者には、教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、許可することがある。

第 8 条 通則第 20 条第 2 項の規定により外国の大学に留学し、その科目を履修しようとする者には、教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、許可することがある。

第 9 条 修学期間は、4 年とする。

2 前項の規定にかかわらず、第 3 年次に入学した者の修学期間は、2 年とする。

### 第 4 試 験

第 10 条 試験は、科目試験及び論文試験とする。

2 科目試験は、受験の申出をした者に対して行う。

3 論文試験は、所定の科目試験に合格した者に対して行う。ただし、論文題目は、専攻科目の範囲内に限る。

第 11 条 前条の論文は、教授会の指定した教員が審査する。

第 12 条 試験実施の期日その他については、あらかじめ告知する。

### 第 5 学士の学位授与

第 13 条 4 年以上在学し、学部の定めるところにより、140 単位以上を修得した者は、学士試験に合格した者とし、通則第 54 条に定める学士の学位を授与する。

- 2 次の各号に掲げる単位数は、教授会の議を経て、前項の単位数に含めることがある。
- (1) 第6条、第7条及び第8条の規定により他学部並びに他の大学及び外国の大学において履修し修得した単位数
  - (2) 通則第21条第1項の規定により文部科学大臣が別に定める学修により履修し修得した単位数
  - (3) 通則第22条第1項の規定により本学に入学する前に大学又は短期大学において履修し修得した単位数(大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条に定める科目等履修生として修得した単位数を含む。)
  - (4) 通則第22条第2項の規定により本学に入学する前に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修により履修し修得した単位数
- 3 第15条の規定により本学他学部又は他大学から本学部に転学した場合における転学前に履修し修得した単位数は、教授会の議を経て、第1項の単位数に含めることがある。
- 4 第1項の規定にかかわらず、第3年次に入学した者の学士の学位授与に必要な単位数は、別に教授会で定める。

## 第6 在 学

第14条 在学は、7年を超えることができない。

- 2 前項の規定にかかわらず、第3年次に入学した者の在学は、4年を超えることができない。

## 第7 転 学

第15条 本学他学部学生若しくは他大学の学生で本学部に転学を志望する者又は本学部学生で他学部へ転学を志望する者があるときは、教授会の議を経て、許可することがある。

## 第8 科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生

第16条 通則第61条第1項の規定により科目等履修生として入学を志望する者には、教授会の議を経て、入学を許可することがある。

第17条 特定の科目につき聴講を志望する者があるときは、教授会の議を経て、聴講生として入学を許可することがある。

- 2 聴講生の取扱いその他については、別に定める。

第18条 通則第63条第1項の規定により特別聴講学生として入学を志望する者には、教授会の議を経て、入学を許可することがある。

### 附則(中略)

### 附則

この規程は、平成15年4月1日から施行し、同日以後に入学する者から適用する。

### 附則

この規程は、平成16年7月30日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

# 京 都 大 学 文 学 部 規 程

平成 7～14 年度入学者適用

## 第 1 学 科

第 1 条 本学部に人文学科を置く。

## 第 2 入 学

第 2 条 入学者の選抜方法は、教授会で定める。

第 3 条 入学者の決定は、教授会で行う。

## 第 3 修 学

第 4 条 授業は、学部科目及び全学共通科目を必修科目及び選択科目に分けて行う。

第 5 条 学部科目及び全学共通科目の単位数、配当及び授業時間数は、別に定めるところによる。

第 6 条 京都大学通則(昭和 28 年達示第 3 号。以下「通則」という。)第 19 条の規定により他学部の科目を履修しようとする者は、学年の初め又は学期の初めに学部長に願い出て、当該学部の学部長の許可を受けるものとする。

第 7 条 通則第 20 条第 1 項の規定により他の大学の科目を履修しようとする者には、教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、許可することがある。

第 8 条 通則第 20 条第 2 項の規定により外国の大学に留学し、その科目を履修しようとする者には、教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、許可することがある。

第 9 条 修学期間は、4 年とする。

2 前項の規定にかかわらず、第 3 年次に入学した者の修学期間は、2 年とする。

## 第 4 試 験

第 10 条 試験は、科目試験及び論文試験とする。

2 科目試験は、受験の申出をした者に対して行う。

3 論文試験は、所定の科目試験に合格した者に対して行う。ただし、論文題目は、専攻科目の範囲内に限る。

第 11 条 前条の論文は、教授会の指定した教員が審査する。

第 12 条 試験実施の期日その他については、あらかじめ告知する。

## 第5 学士の学位授与

- 第13条 4年以上在学し、学部の定めるところにより、140単位以上を修得した者は、学士試験に合格した者とし、通則第54条に定める学士の学位を授与する。
- 2 次の各号に掲げる単位数は、教授会の議を経て、前項の単位数に含めることがある。
- (1) 第6条、第7条及び第8条の規定により他学部並びに他の大学及び外国の大学において履修し修得した単位数
  - (2) 通則第21条第1項の規定により文部科学大臣が別に定める学修により履修し修得した単位数
  - (3) 通則第22条第1項の規定により本学に入学する前に大学において履修し修得した単位数(大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条に定める科目等履修生として修得した単位数を含む。)
  - (4) 通則第22条第2項の規定により本学に入学する前に行つた文部科学大臣が別に定める学修により履修し修得した単位数
- 3 第15条の規定により本学他学部又は他大学から本学部に転学した場合における転学前に履修し修得した単位数は、教授会の議を経て、第1項の単位数に含めることがある。
- 4 第1項の規定にかかわらず、第3年次に入学した者の学士の学位授与に必要な単位数は、別に教授会で定める。

## 第6 在 学

- 第14条 在学は、7年を超えることができない。
- 2 前項の規定にかかわらず、第3年次に入学した者の在学は、4年を超えることができない。

## 第7 転 学

- 第15条 本学他学部学生若しくは他大学の学生で本学部に転学を志望する者又は本学部学生で他学部へ転学を志望する者があるときは、教授会の議を経て、許可することがある。

## 第8 科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生

- 第16条 通則第61条第1項の規定により科目等履修生として入学を志望する者には、教授会の議を経て、入学を許可することがある。
- 第17条 特定の科目につき聴講を志望する者があるときは、教授会の議を経て、聴講生として入学を許可することがある。
- 2 聴講生の取扱いその他については、別に定める。
- 第18条 通則第63条第1項の規定により特別聴講学生として入学を志望する者には、教授会の議を経て、入学を許可することがある。

附則(略)

### 3. 京都大学大学院文学研究科規程

昭和28年4月7日制定

#### 第1 専攻

第1条 本研究科の専攻は、次に掲げるとおりとする。

文献文化学専攻  
思想文化学専攻  
歴史文化学専攻  
行動文化学専攻  
現代文化学専攻

#### 第2 入学

第2条 入学手続及び入学者選抜方法は、文学研究科教授会(以下「研究科教授会」という。)で定める。

2 京都大学通則(以下「通則」という。)第36条の2第1項ただし書の規定による入学に関する事項は、研究科教授会で定める。

第3条 入学者の決定は、研究科教授会で行う。

#### 第3 転学、転科及び転専攻

第4条 通則第40条第1項の規定により本研究科に転学又は転科を志望する者には、欠員のある場合に限り、研究科教授会の議を経て、許可することがある。

2 本研究科学生で転専攻を志望する者には、欠員のある場合に限り、研究科教授会の議を経て、許可することがある。

#### 第4 授業、研究指導及び学修方法

第5条 科目、その単位数、授業時間数及び研究指導に関する事項は、研究科教授会で定める。

第6条 各学生につき、指導教員を定める。

2 学生は、学修につき、指導教員の指導を受けなければならない。

第7条 通則第44条第1項の規定により他の研究科等の科目を学修し、又は他の研究科において研究指導を受けようとする者は、指導教員の承認を得て、学年の初めに願い出なければならない。ただし、特別の事情があるときは、別の時期に願い出ることを認めることがある。

第8条 通則第45条第1項又は第2項の規定により他の大学の大学院の科目を学修し、又は休学することなく外国の大学の大学院に留学し、その科目を学修しようとする者には、教育上有益と認めるときは、研究科教授会の議を経て、許可することがある。

2 通則第46条第1項の規定により他の大学の大学院若しくは研究所等において研究指導を受け、又は休学することなく外国の大学の大学院若しくは研究所等に留学し、研究指導を受けようとする者には、前項と同様の要件及び手続により、許可することがある。

3 前2項の規定による許可の願い出については、前条の規定を準用する。

第9条 次の各号に掲げる科目、単位数、研究指導及び在学年数の一部又は全部は、研究科教授会の議を経て、それぞれ修士課程又は博士後期課程の修了に必要な科目、単位数、研究指導又は在学年数の一部として認定



することができる。

- (1) 転学、転科又は転専攻前に、本学又は他の大学の大学院で学修した科目及びその単位数、受けた研究指導並びに在学年数
- (2) 前2条の規定により学修した科目及びその単位数並びに受けた研究指導
- (3) 通則第46条の2第1項の規定により本研究科に入学する前に大学院において履修した科目について修得した単位数（大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第15条において準用する大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条に定める科目等履修生として修得した単位数を含む。)

## 第5 試 験

第10条 科目の試験は、学年の終わりに行う。ただし、特別の事情があるときは、その時期を変更することがある。

- 2 試験を受けようとする者は、受験科目を届け出なければならない。
- 3 前項の届出期日は、あらかじめ告知する。

## 第6 論文審査、課程修了の認定等

第11条 修士論文及び博士論文の審査及び試験は、京都大学学位規程の定めるところにより、修士論文にあっては研究科教授会、博士論文にあっては研究科会議（以下「研究科教授会等」という。）で行う。

第12条 修士論文及び博士論文の提出の時期及び要件並びに試験実施の時期及び方法は、研究科教授会等で定める。

第13条 修士課程及び博士後期課程の修了の認定は、研究科教授会等で行う。

第14条 通則第57条の規定により学位の授与を申請した者の博士論文の審査及び試験は、博士後期課程における論文の審査及び試験と同一の手続による。

第15条 前条に規定する者の学識の確認は、筆答試問及び口頭試問により行う。ただし、研究科会議の議を経て、他の方法によることができる。

- 2 前項の学識の確認については、専攻学術に関し、博士後期課程を修了した者と同等以上の学識を有することが確認されなければならない。

第16条 本研究科の博士後期課程に所定の年限在学し、必要な研究指導を受けて退学した者が、通則第57条の規定により学位の授与を申請したときは、研究科会議の議を経て、その者に係る前条の学識確認のための試問を免除することができる。

## 第7 外国学生、委託生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、特別研究学生及び特別交流学生

第17条 外国学生、委託生、科目等履修生又は聴講生として入学を志望する者には、選考のうえ、研究科教授会の議を経て、許可することがある。

第18条 通則第63条第1項、第2項又は第3項の規定により特別聴講学生、特別研究学生又は特別交流学生として入学を志望する者には、研究科教授会の議を経て、許可することがある。

附 則

この規定は、平成20年10月1日から施行する。

## 4. 系及び専修に関する内規

昭和 35 年 5 月 9 日制定

平成 16 年 12 月 16 日改正

平成 25 年 2 月 18 日改正

### 1. 平成 16 年度から 23 年度の入学者

- 1) 1 年次の 10 月に志望する系の届出を必ずしなければならない。
- 2) 志望する系の届出期日は毎年 10 月上旬に掲示する。
- 3) 2 年次の 10 月に志望する専修の届出を必ずしなければならない。
- 4) 志望する専修の届出期日は毎年 10 月上旬に掲示する。
- 5) 各系及び専修は次表のとおりであり、各専修の収容人員は同表を基準として決定する。なお、この内規でいう収容人員とは、1 学年あたりの受入可能数である。

哲学基礎文化学系		歴史基礎文化学系	
哲学専修	10 名	日本史学専修	20 名
西洋哲学史専修	20 名	東洋史学専修	20 名
日本哲学史専修	10 名	西南アジア史学専修	10 名
倫理学専修	10 名	西洋史学専修	20 名
宗教学専修	10 名	考古学専修	10 名
キリスト教学専修	10 名		
美学美術史学専修	20 名	行動・環境文化学系	
		心理学専修	20 名
東洋文化学系		言語学専修	20 名
国語学国文学専修	20 名	社会学専修	20 名
中国語学中国文学専修	20 名	地理学専修	20 名
中国哲学史専修	10 名		
インド古典学専修	20 名	基礎現代文化学系	
仏教学専修	10 名	科学哲学科学史専修	10 名
		情報・史料学専修	10 名
西洋文化学系		二十世紀学専修	10 名
西洋古典学専修	10 名	現代史学専修	10 名
スラブ語学スラブ文学専修	10 名		
ドイツ語学ドイツ文学専修	10 名		
英語学英文学専修	20 名		
アメリカ文学専修	10 名		
フランス語学フランス文学専修	20 名		
イタリア語学イタリア文学専修	10 名		

- 6) 専修志望者数が上記の基準を超過し、選考を行うときは、2 年次までの学業成績その他を勘案する。
- 7) 所属系及び専修が決定しない者は、2 年次及び 3 年次以降に配当された本学部学部科目を履修することができない。
- 8) 所属系及び専修は 11 月に決定し、翌年 4 月 1 日に分属する。
- 9) 分属後の専修の変更の願出期日は毎年 1 月とする。
- 10) 転学部(転入)の願出期日は毎年 10 月上旬に掲示する。

2. 平成 24 年度以降の入学者

- 1) 1 年次の 10 月に志望する系の届出を必ずしなければならない。
- 2) 志望する系の届出期日は毎年 10 月上旬に掲示する。
- 3) 2 年次の 10 月に志望する専修の届出を必ずしなければならない。
- 4) 志望する専修の届出期日は毎年 10 月上旬に掲示する。
- 5) 各系及び専修は次表のとおりであり、各専修の収容人員は同表を基準として決定する。なお、この内規でいう収容人員とは、1 学年あたりの受入可能数である。

哲学基礎文化学系		歴史基礎文化学系	
哲学専修	10 名	日本史学専修	20 名
西洋哲学史専修	20 名	東洋史学専修	20 名
日本哲学史専修	10 名	西南アジア史学専修	10 名
倫理学専修	10 名	西洋史学専修	20 名
宗教学専修	10 名	考古学専修	10 名
キリスト教学専修	10 名		
美学美術史学専修	20 名	行動・環境文化学系	
		心理学専修	20 名
東洋文化学系		言語学専修	20 名
国語学国文学専修	20 名	社会学専修	20 名
中国語学中国文学専修	20 名	地理学専修	20 名
中国哲学史専修	10 名		
インド古典学専修	20 名	基礎現代文化学系	
仏教学専修	10 名	科学哲学科学史専修	10 名
		情報・史料学専修	5 名
西洋文化学系		二十世紀学専修	5 名
西洋古典学専修	10 名	現代史学専修	10 名
スラブ語学スラブ文学専修	5 名		
ドイツ語学ドイツ文学専修	10 名		
英語学英文学専修	20 名		
アメリカ文学専修	10 名		
フランス語学フランス文学専修	20 名		
イタリア語学イタリア文学専修	10 名		

- 6) 専修志望者数が上記の基準を超過し、選考を行うときは、2 年次までの学業成績その他を勘案する。
- 7) 所属系及び専修が決定しない者は、2 年次及び 3 年次以降に配当された本学部学部科目を履修することができない。
- 8) 所属系及び専修は 11 月に決定し、翌年 4 月 1 日に分属する。
- 9) 分属後の専修の変更の願出期日は毎年 1 月とする。
- 10) 転学部(転入)の願出期日は毎年 10 月上旬に掲示する。

3. 専攻及び専修の収容人員は、事情により変更することがある。

4. この内規に定めるもののほか、専修等への分属に関し必要な事項は、文学部教授会が定める。

5. 本内規は、平成 25 年 4 月 1 日から適用する。ただし、平成 25 年 3 月 31 日までは、改正前の内規により取り扱う。

注 1 専修に分属する際、所属する系に関係なく分属できます。

注 2 転学部(転入)については掲示に注意すること。

## 5. 図 書

### (1) 京都大学文学研究科図書館利用規則

平成 22 年 7 月 15 日全部改正

平成 23 年 3 月 14 日改正

#### (趣旨)

第 1 条 この規程は、京都大学大学院文学研究科の組織に関する規程(平成 16 年 4 月 1 日達示第 7 号)第 9 条第 6 項に定める文学研究科図書館(以下「図書館」という。)の利用について、必要な事項を定めるものとする。

#### (図書館資料)

第 2 条 図書館に、以下の図書その他の資料(以下「図書館資料」という。)を置く。

- (1) 貴重図書
- (2) 普通図書
- (3) 閲覧室図書
- (4) 視聴覚資料
- (5) 逐次刊行物
- (6) その他の資料

#### (利用者)

第 3 条 図書館を利用できる者(以下「利用者」という。)は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 文学部の学生等
- (2) 文学研究科の学生等
- (3) 文学研究科の教職員、名誉教授、元教授
- (4) 京都大学の学生等(第 1 号及び第 2 号に該当する者を除く。)
- (5) 京都大学の役員、教職員、名誉教授(第 3 号に該当する者を除く。)
- (6) 文学部卒業者、文学研究科修士課程及び博士後期課程修了者、文学博士、文学研究科博士後期課程研究指導認定者(単位取得退学者を含む。)のうち、文学研究科図書館長(以下「図書館長」という。)の許可を得た者
- (7) その他図書館長が認めた者

2. 前項の学生等には、次の各号に該当する者を含むものとする。

- (1) 京都大学通則(昭和 28 年 4 月 7 日達示第 3 号)第 5 章に該当する者
- (2) 京都大学研修規程(昭和 24 年 5 月 12 日達示第 3 号)の各条に該当する者
- (3) 京都大学研究生規程(昭和 50 年 12 月 9 日達示第 37 号)の各条に該当する者

#### (施設)

第 4 条 図書館に、次の各号の施設を設置する。

- (1) 新館閲覧室
- (2) 学術雑誌閲覧室
- (3) 新館書庫
- (4) 学術雑誌閲覧室書庫
- (5) 貴重書庫

#### (施設の利用)

第 5 条 利用者は、新館閲覧室及び学術雑誌閲覧室を利用することができる。

2. 利用者のうち次の各号に掲げる者は、所定の手続きを経た上で、新館書庫を利用することができる。

- (1) 第 3 条第 1 項第 1 号から第 3 号及び第 5 号の各号に該当する者
- (2) 同項第 4 号のうち図書館長が特に認めた大学院の学生
- (3) その他図書館長が特に認めた者

3. 利用者のうち次の各号に掲げる者は、所定の手続きを経た上で、学術雑誌閲覧室書庫を利用することができる。

- (1) 第 3 条第 1 項第 1 号から第 6 号の各号に該当する者
- (2) その他図書館長が特に認めた者

4. 図書館長が、図書館の運営に支障をきたすおそれがあると認めたときは、図書館施設の利用を制限することができる。

#### (開館日及び開館時間)

第 6 条 開館日及び開館時間は、図書館長が別に定める。

#### (休館日)

第 7 条 休館日は、以下の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日
- (2) 創立記念日(6 月 18 日)
- (3) 8 月 12 日から 18 日まで
- (4) 京都大学通則(昭和 28 年達示第 3 号)第 3 条に規定する冬季休業の期間

2. 前項の規定にかかわらず、図書館長が特に必要と認めたときは、臨時に休館又は開館することができる。

#### (図書整理休館日)

第 8 条 毎月 15 日は図書整理のため休館日とする。

2. 図書整理休館日においても、利用者は午後 1 時から午後 5 時まで、新館閲覧室及び閲覧室図書を利用することができる。

3. 第 7 条第 1 項第 1 号に定められた休館日と図書整理休館日が重なる場合は、休館日の次の開館日を図書整理休館日とする。

### (目録及び利用規則の備付)

第 9 条 図書館資料の利用に供するため、図書館資料の目録及び本利用規則を新館閲覧室及び学術雑誌閲覧室に備え付けるものとする。

### (閲覧室及び書庫内の閲覧)

第 10 条 利用者は、新館書庫及び学術雑誌閲覧室書庫に保管されている図書館資料を、所定の手続きを経た上で、書庫から持ち出し閲覧することができる。

2. 利用者は、新館閲覧室及び学術雑誌閲覧室に保管されている図書館資料を自由に閲覧することができる。また所定の手続きを経た上で、新館閲覧室及び学術雑誌閲覧室から持ち出し閲覧することができる。
3. 利用者は、第 1 項及び第 2 項の手続きを経た上で持ち出した図書館資料を、当日中に返却しなければならない。

### (貴重図書の閲覧)

第 11 条 貴重図書の閲覧を希望する者は、あらかじめ所定の閲覧願により、当該貴重図書を所有する専修の主任教授の許可を得るものとする。

2. 貴重図書は、あらかじめ定められた場所で閲覧するものとする。

### (普通図書の貸出)

第 12 条 第 3 条第 1 項第 1 号から第 5 号に該当する利用者は、所定の手続きを経た上で、別表に定める冊数及び期間を限度に、普通図書の貸出を受けることができる。

2. 前項に掲げる貸出期間が夏季休業(京都大学通則第 3 条)期間中に満了する場合、図書館長は前項の規定にかかわらず、貸出時に貸出期間を延長することができる。
3. 利用者は、貸出期間の延長を希望する際は、所定の貸出期間延長手続きを経なければならない。
4. 前項に定める貸出期間の延長は、1 度のみ可能とする。ただし第 2 項の適用を受ける場合は、延長を認めない。
5. 卒業、退学、休学又は 2 か月以上の旅行等の場合、貸出を受けた者は図書館資料を返却しなければならない。
6. 第 1 項に定める貸出期間にかかわらず、図書館長は利用者が貸出を受けている図書館資料の返却を求めることができる。

### (貸出及び閲覧の制限)

第 13 条 以下の各号に掲げる図書館資料の貸出は行わない。

- (1) 第 2 条第 1 号及び第 3 号から第 5 号
  - (2) 第 2 条第 6 号のうち、修士論文及び博士論文
2. 図書館長は、以下の各号に掲げる範囲内で、図書館資料の閲覧及び貸出を制限することができる。
    - (1) 当該図書館資料に独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成 13 年法律第 140 号。以下「情報公開法」という。)第 5 条第 1 号、第 2 号及び第 4 号イに掲げる情報が記録されていると認められる場合における当該情報が記録されている部分
    - (2) 当該図書館資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は情報公開法第 5 条第 2 号に規定する法人等から寄贈又は寄託を受けている場合における当該期間が経過するまでの間

(3) 当該図書館資料等を利用させることにより、資料に破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合

#### (研究室備付図書)

第14条 第12条及び第13条第1項第1号の規定にかかわらず、文学研究科教員は研究又は教育のために図書館資料の貸出を受け、自身の個人研究室又は専修の共同研究室に備え付けることができるものとする。

2. 研究室に備え付ける目的で、図書館資料の貸出を希望する者は、所定の手続きを経なければならない。
3. 研究室備付図書の貸出期間は、貸出を受けた者の退職日までとする。
4. 貸出を受けた者が出張等により1年以上文学研究科を離れる場合、研究室備付図書は返却しなければならない。

#### (転貸の禁止)

第15条 貸し出された図書館資料は、他人に転貸してはならない。

#### (汚損・紛失)

第16条 利用者は、図書館資料を紛失、汚損、又は機器その他の設備をき損したときは、速やかに図書館長に届け出なければならない。

2. 図書館資料を汚損若しくは紛失した者には、代本又は相当の弁済を求めるものとする。

#### (延滞による借受の禁止)

第17条 第12条の貸出期間を超過した者に対し、図書館長は一定期間、図書館資料の貸出を禁止するものとする。

#### (複写及び撮影)

第18条 利用者は、学術研究及び教育並びに学習のために図書館資料の複写及び撮影を希望する場合、所定の手続きを経なければならない。

2. 図書館資料の複写及び撮影に係る著作権侵害等についての責任は、利用者が負わなければならない。
3. 寄託書及び未刊私文書等の複写及び撮影は、利用者が所有者及び著作権者の承認を受けなければならない。
4. 複写又は撮影により、当該資料に破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合、図書館長はその資料の複写を制限することができる。
5. 複写及び撮影により得られた複写物を出版物等に使用する場合は、所定の手続きを経なければならない。また出版に際しては文学研究科所蔵の旨を明記し、その出版物を1部文学研究科に寄贈しなければならない。
6. 借受図書を図書館長の許可なく複写又は撮影し外部に使用した者には、直ちにその図書館資料の返却を求めるとともに、図書館資料の利用を禁止するものとする。

#### (参考調査)

第19条 利用者は、学習、教育又は研究のため必要があるときは、資料の所在調査等を依頼することができる。

#### (相互利用)

第20条 第3条第1項第1号から第3号に該当する利用者は、他の大学等学外諸機関(外国の大学等を含む。)の所蔵する図書館資料の利用を、依頼することができる。

### (個人情報漏えい防止のために必要な措置)

第 20 条の 2 図書館長は、図書館資料に個人情報（生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができることができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）をいう。）が記録されている場合には、当該個人情報の漏えいの防止のために次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) 当該図書館資料の施錠設備への格納その他の物理的な接触の制限
- (2) 図書館資料に記録されている個人情報に対する不正アクセス（不正アクセス行為の禁止等に関する法律（平成 11 年法律第 128 号）第 3 条第 2 項に規定する不正アクセスをいう。）を防止するために必要な措置
- (3) 図書館の職員に対する教育・研修の実施
- (4) その他当該個人情報の漏えいの防止のために必要な措置

### (利用の拒否)

第 21 条 図書館長は、この規則もしくはその他の規則に違反し、又はその指示に従わない利用者に対して、図書館の利用の禁止又は制限をすることができる。

### (雑則)

第 22 条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、図書館長が定める。

### 附則

1. この規程は、平成 22 年 7 月 15 日から実施する。
2. 京都大学大学院文学研究科図書館一般利用規程(平成 16 年 9 月 30 日制定)、文学研究科図書館利用規則(昭和 25 年 10 月 26 日制定)、文学部学生等図書館利用規則(昭和 25 年 10 月 26 日制定)、文学研究科図書複写・撮影規則(昭和 32 年 5 月 16 日制定)は、第 1 項の実施日をもって廃止する。

附則（平成 23 年 3 月 14 日教授会決定）

（実施期日）

1. この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から実施する。

別表(第 12 条第 1 項関係)

利用者	貸出冊数	貸出期間
文学部の学生等(第 3 条第 1 項第 1 号)	25 冊	2 か月
文学研究科の学生等(第 3 条第 1 項第 2 号)	40 冊	2 か月
文学研究科の教職員、名誉教授、元教授(第 3 条第 1 項第 3 号)	65 冊	1 年
京都大学の学生等(第 3 条第 1 項第 4 号)	10 冊	2 週間
京都大学の役員、教職員、名誉教授(第 3 条第 1 項第 5 号)	10 冊	1 か月



## (2) 京都大学文学研究科図書館利用施行細則

平成 22 年 7 月 15 日制定

### (趣旨)

第 1 条 この細則は、京都大学文学研究科図書館利用規則(以下「利用規則」という。)第 22 条に基づき、京都大学文学研究科図書館(以下「図書館」という。)の利用に関し必要な事項を定めるものとする。

### (特別図書閲覧票)

第 2 条 利用規則第 3 条第 6 号に基づき図書館の利用許可を得ようとする者は、特別図書閲覧票交付願(様式 1)を提出するものとする。

2. 特別図書閲覧票の有効期間は、3 年以内とする。

### (学外者の利用手続)

第 3 条 利用規則第 3 条第 1 項第 7 号に掲げる者が図書館の利用を希望するときは、あらかじめ所蔵調査依頼書(様式 2)を図書館長に提出しなければならない。利用の際には、あわせて身分を証明するものを提出しなければならない。

### (新館書庫を利用できる大学院の学生)

第 4 条 利用規則第 5 条第 2 項第 2 号に定める、図書館長が特に認めた大学院は、次のとおりとする。

- (1) 教育学研究科
- (2) 人間・環境学研究科

### (入庫検索特別許可願)

第 5 条 利用規則第 5 条第 2 項第 3 号及び第 3 項第 2 号に定める新館書庫及び学術雑誌閲覧室書庫の利用を希望する者は、入庫検索特別許可願(様式 3)を提出するものとする。

### (書庫利用手続等)

第 6 条 新館書庫及び学術雑誌閲覧室書庫の利用を希望する者は、受付に学生証、職員証、図書館利用証又は特別図書閲覧票を提出し、入庫票の交付を受けるものとする。

2. 利用者は、書庫利用中、図書掛員が確認できるところに入庫票を掲示しなければならない。
3. 利用者は、書庫に筆記用具以外の荷物を持ち込むことはできない。ただし調査研究の目的で筆記用具以外の荷物の持ち込みを希望する者は、入庫票の交付の際に、その荷物を図書掛員に提示し、承諾を得なければならない。
4. 利用者は、書庫内で他の利用者に迷惑を及ぼすような行為をしてはならない。

### (開館日及び開館時間)

第 7 条 図書館の開館日は月曜日から金曜日までとする。

2. 図書館の開館時間は、以下のとおりとする。

施設名	開館時間	閉館時間
新館閲覧室	午前 9 時	午後 7 時
新館書庫	午前 9 時	午後 6 時 45 分
学術雑誌閲覧室	午前 9 時	午後 6 時
学術雑誌閲覧室書庫	午前 9 時	午後 5 時 45 分

(9 月 1 日から 30 日まで及び 3 月 1 日から 4 月 7 日までの開館時間)

施設名	開館時間	閉館時間
新館閲覧室	午前 9 時	午後 7 時
新館書庫	午前 9 時	午後 4 時 45 分
学術雑誌閲覧室	午前 9 時	午後 5 時
学術雑誌閲覧室書庫	午前 9 時	午後 4 時 45 分

(夏季休業期間(京都大学通則(昭和 28 年 4 月 7 日達示第 3 号)開始日から 8 月 31 日までの開館時間)

施設名	開館時間	閉館時間
新館閲覧室	午前 9 時	午後 5 時
新館書庫	午前 9 時	午後 4 時 45 分
学術雑誌閲覧室	午前 9 時	午後 5 時
学術雑誌閲覧室書庫	午前 9 時	午後 4 時 45 分

3. 前項にかかわらず、利用規則第 3 条第 7 号に定める利用者の利用時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

4. 図書館長は第 1 項から第 3 項にかかわらず、特に必要と認めるときは、臨時に開館日及び開館時間を変更することができる。

### (図書館資料の閲覧に関する所定の手続)

第 8 条 利用規則第 10 条により普通図書 of 閲覧を希望する者は、以下の手続きを経なければならない。

(1) 受付で学生証、職員証、図書館利用証、特別図書閲覧票又は身分証を提示の上、閲覧証に所要の事項を記入し提出しなければならない。

(2) 閲覧手続きにあたり、図書掛員が図書館業務システムを利用した場合は、前号にかかわらず閲覧証の提出を必要としない。

### (閲覧中の図書館資料の保留)

第 9 条 利用規則第 3 条第 1 号から第 6 号に定める者が、閲覧終了後も引き続き当該図書館資料の閲覧を希望

する場合は、翌日まで受付にて保留を認めるものとする。

2. 利用規則第3条第7号に基づく図書館利用者は、前日までに当該図書館資料の利用を申請した場合は、前項と同様に保留を認めるものとする。

#### (貴重図書の閲覧に関する所定の手続)

第10条 利用規則第11条に定める貴重図書の閲覧を希望する者は、貴重図書閲覧願(様式4)を提出し、図書館長の許可を得なければならない。

なお、図書館長は同願を許可する際、その図書館資料を所有する専修の教員の承諾を経るものとする。

#### (図書館資料の貸出に関する所定の手続)

第11条 利用規則第12条に定める普通図書の貸出を希望する者は、以下の手続きを経なければならない。

- (1) 受付で希望する図書館資料とともに学生証、職員証又は図書館利用証を提示の上、図書借用証に所要の事項を記入し提出しなければならない。
- (2) 貸出手続きにあたり、図書掛員が図書館業務システムを利用した場合は、前号にかかわらず図書借用証の提出を必要としない。

#### (延滞罰則の適用日数)

第12条 利用規則第17条による図書館資料の貸出禁止期間は、当該図書館資料の返却期限日から実際の返却日までの日数を超えないものとする。

#### (複写及び撮影に関する所定の手続)

第13条 利用規則第18条により図書館資料の複写を希望する者は、受付に文献複写申込書(様式5)を提出するとともに、その複写物について図書掛員の検認を受けなければならない。

2. 利用規則第18条第5項により図書館資料の撮影を希望する者は、図書・史料(全巻・部分)撮影許可願(様式6)を提出し、図書館長の許可を得なければならない。

なお、図書館長は同願を許可する際、その図書館資料を所有する専修の教員の承諾を経るものとする。

#### (複写物等の出版物への使用に関する所定の手続)

第14条 利用規則第18条第4項に定める複写、撮影したものの出版物等への使用を希望する者は、図書・史料(影印・翻刻)掲載許可願(様式7)を提出し、図書館長の許可を得なければならない。

なお、図書館長は同願を許可する際、その図書館資料を所有する専修の教員の承諾を経るものとする。

#### 付則

この細則は、平成22年7月15日から施行する。

### (3) 文学研究科所蔵特殊文庫

(※印は文庫として別置していない)

名称	概要	冊数	専修
1. 池田文庫	池田孫七氏寄贈の語学・文学・社会学・芸術など広範囲にわたるロシア語文献コレクションである。	2, 159 冊	(言語学)
2. 井上文庫	本学部名誉教授(西洋史学)井上智勇博士の旧蔵書で、ローマ史を中心とする西洋古代史関係の文献(独・英・仏語)が主となっている。	517 冊	(西洋史学)
※ 3. 今西文庫	朝鮮史学を専門とした本学部教授(東洋史学)今西龍博士旧蔵の中国語関係書籍である。	4, 336 冊	(中哲文)
4. 植田文庫	本学部教授(美学美術史学)であった植田寿蔵博士旧蔵の美学関係書のコレクションである。	1, 592 冊	(美学)
5. 内田文庫	本学部国史学教室の創設者内田銀蔵博士旧蔵の国史関係書を主としたコレクションである。	3, 650 冊	(国史学)
6. 穎原文庫	本学部教授(国語学国文学)であった穎原退蔵博士旧蔵の国文学関係のコレクションである。同教授の専門であった俳書の版本をはじめ、写本も数多い。	6, 040 冊	(国文学)
7. 大山文庫	本学部名誉教授(ドイツ文学)大山定一先生の旧蔵書で、近世から現代に至るドイツ文学研究資料である。特に、Goethe, Rilke 関係の文献が多い。	1, 451 冊	(独文学)
8. 岡嶋文庫	本学部講師(西洋史学)であった岡嶋誠太郎氏の旧蔵書。エジプト学の専門書が揃っており、古代オリエント研究に寄与するところが大である。	233 冊	(西洋史学)
9. 金倉文庫	イタリア独立運動史を専門とした金倉英一氏の旧蔵書で、イタリア政治史関係のコレクションである。その大部分はイタリア語の文献である。	428 冊	(西洋史学)
※10. 狩野文庫	文学部創設以来、中国哲学・中国語学・中国文学の講座を担当した本学部名誉教授狩野直喜博士の旧蔵書の一部で、宋・元・明版の貴重なものが多い。	3, 651 冊	(中哲文)
11. 木方文庫	本学部英文学出身の木方庸助博士の旧蔵書で、中世末期から近世初期に至るイギリス演劇に関する文献が主となっている。	154 冊	(英文学)
12. 木村孝一記念図書	昭和5年本学部社会学専攻を卒業した木村氏の歿後、母堂より寄贈されたもの。研究に必要な基本的文献が揃っている。	502 冊	(社会学)
13. クラーク文庫	本学部教師(英文学)であった Edward B Clarke 氏旧蔵の英文学関係書のコレクションである。	5, 133 冊	(英文学)
14. 桑原文庫	本学部名誉教授(東洋史学)桑原隲蔵博士旧蔵の東洋史関係のコレクションである。博士の専門が東西交渉史であったことから、洋書も多く含まれている。	12, 457 冊	(東洋史学)
15. 島文庫	本学部名誉教授(倫理学)島芳夫博士の旧蔵書(洋書)で、古代ギリシア思想からベルグソンなどの「生の哲学」に至る各時代の哲学書が幅広く収められている。	820 冊	(倫理学)
16. 清水文庫	本学部美学を専攻して卒業ののち、アメリカ現代文学・演劇・映画研究者となった清水光(本名:光繁)氏の旧蔵書。英米文学書のコレクションである。	727 冊	(米文学)
※17. 十硯山房旧蔵書	書肆文求堂の主人であり、中国書誌学者としても著名な田中慶太郎氏の旧蔵書で、貴重な資料が多い。	1, 060 冊	(中哲文)
※ 18. 鈴木文庫	本学部名誉教授(中国語学中国文学)鈴木虎雄博士旧蔵の中国関係図書のコレクションで		

- 漢籍を中心としている。 14, 025 冊 (中哲文)
19. 須田文庫 本学部美学美術史学出身の須田国太郎画伯の旧蔵書で、内容は美学・美術史に関するものが中心である。 4, 151 冊 (美学)
20. 田中文庫 本学部西洋古典学教室の創設者である田中秀央博士の西洋古典関係図書のコレクションである。 1, 875 冊 (西洋古典学)
21. 田中美知太郎文庫 本学部名誉教授(西洋哲学)田中美知太郎博士の旧蔵書(洋書)で、ギリシア・ローマ時代の哲学、特にプラトン、アリストテレスに関する専門的文献が中心となっている。現在日本では入手困難な 1500 ~ 1700 年代の図書も数多い。 2, 974 冊 (西洋哲学史)
22. 田辺文庫 本学部名誉教授(哲学)田辺元博士旧蔵のコレクション。長期にわたる博士のドイツ留学中にもとめられた図書は日本では入手しがたいものが多く、博士の研鑽の跡を知る書き入れ本も多い。 1, 412 冊 (哲学)
23. 唐学斎旧蔵書 本学部教授(中国語学中国文学)であった吉川幸次郎博士の蔵書の一部で、経学と五・四前後の掌故に関する資料には稀覯の書が少なくない。 628 冊 (中哲文)
24. 時野谷文庫 本学部教授であった時野谷常三郎博士の旧蔵書。ドイツ史、ことにビスマルク関係文献が多い。 180 冊 (西洋史学)
25. 朝永文庫 本学部名誉教授(西洋哲学史)朝永三十郎博士の旧蔵書で古代より近代に至る哲学史関係の洋書を中心とする。 622 冊 (哲学)
26. 中原文庫 本学部名誉教授(西南アジア史学)中原与茂九郎氏の旧蔵書(洋書)で、アッシリア学関係、特にメソポタミア史の文献が中心となっている。 301 冊 (西南アジア史学)
27. 西田文庫 本学部名誉教授(哲学)西田幾多郎博士旧蔵の哲学関係図書のコレクションである。同教授の書き入れ本も多い。 1, 627 冊 (哲学)
28. 西田直二郎旧蔵洋書 本学部名誉教授(国史学)西田直二郎博士旧蔵の洋書。ドイツを中心としたヨーロッパにおける日本文献、文化史に関するものが多い。 701 冊 (国史学)
29. 民研本 元民族研究所の蔵書で、社会民族学関係図書の一大コレクションである。集書の内容は、太平洋諸地域民族の宗教、経済、風俗、慣習等に関するものが中心で、中国・蒙古に関する漢籍も多い。 6, 440 冊 (社会学)
30. 米田文庫 本学部教授(社会学)であった米田庄太郎博士旧蔵の社会学関係のコレクションで、19世紀から20世紀にかけての欧米の理論社会学の図書が多い。 3, 150 冊 (社会学)

なお、特殊文庫の説明は文学研究科図書館ホームページにも記載しています。

<http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/lib/search/special-collection>

## 6. 気象警報発令時及び公共交通機関不通時の文学部・文学研究科に係る 授業・試験の取扱い

気象警報が発令された場合又は公共交通機関が不通の場合、学生の事故防止のため、文学部・文学研究科の授業・試験を次のとおり取扱う。

### 1. 授業の休止，試験の延期

①下記(1)又は(2)の場合は，授業を休止し，又は試験を延期する。

(1) 京都市又は京都市を含む地域に暴風警報が発令された場合，又は次の(イ)，(ロ)のいずれかに該当する場合

(イ) 京都市営バスが全面的に不通の場合

(ロ) JR 西日本(京都発着の在来線)，阪急電車(河原町・梅田間)，京阪電車(出町柳・淀屋橋又は中之島間)，近鉄電車(京都・西大寺間)，叡山電車のうち，いずれか3以上の交通機関が全面的又は部分的に不通の場合

(2) 文学部長・文学研究科長の判断による場合

②授業・試験開始後に上記(1)又は(2)の事態が生じた場合は，授業を休止し，又は試験を延期する。

### 2. 暴風警報の解除，公共交通機関の運行再開に伴う授業・試験の実施

暴風警報が解除された場合，又は公共交通機関の運行が再開された場合は，以下の基準により授業・試験を実施する。

①午前 6 時 30 分までに解除・運行再開の場合 1 時限から実施

②午前 10 時 30 分までに解除・運行再開の場合 3 時限から実施

### 3. 暴風警報の発令・解除，公共交通機関の運行の確認・周知

①暴風警報の発令・解除及び公共交通機関の運行の確認は，テレビ・ラジオ等の報道機関の報道による。

②1 時限開始後に上記 1 ①の事態が生じた場合は，掲示等により周知する。

#### 附 記

この取扱いは，平成 16 年 10 月 1 日から実施する。

#### 附 記

この取扱いは，平成 22 年 7 月 15 日から実施する。

# 1. 教 員 名 簿

## 名 誉 教 授

〔氏名の後の（ ）は退職年〕（生年月日順）

考 古 学	樋 口 隆 康	(S58)	東 洋 史 学	間 野 英 二	(H14)
インド哲学史	服 部 正 明	(S63)	地 理 学	石 原 潤	(H15)
西洋哲学史	酒 井 修	(H1)	社 会 学	寶 月 誠	(H17)
東 洋 史 学	谷 川 道 雄	(H1)	西洋哲学史	内 山 勝 利	(H17)
宗 教 学	上 田 閑 照	(H1)	美学美術史学	佐々木 丞 平	(H17)
アメリカ文学	青 木 次 生	(H3)	言 語 学	庄垣内 正 弘	(H18)
東 洋 史 学	河 内 良 弘	(H4)	アメリカ文学	中 村 紘 一	(H18)
現代史学	松 尾 尊 兌	(H5)	科学哲学科学史	内 井 惣 七	(H18)
英語学英文学	岡 照 雄	(H5)	美学美術史学	岩 城 見 一	(H18)
東 洋 史 学	竺 沙 雅 章	(H5)	キリスト教学	片 柳 榮 一	(H20)
フランス語学 フランス文学	中 川 久 定	(H6)	インド古典学	徳 永 宗 雄	(H20)
考 古 学	小野山 節	(H7)	地 理 学	金 田 章 裕	(H20)
国 史 学	朝 尾 直 弘	(H7)	西洋哲学史	小 林 道 夫	(H21)
日 本 史 学	大 山 喬 平	(H9)	西南アジア史学	濱 田 正 美	(H22)
中国哲学史	内 山 俊 彦	(H9)	現代史学	紀 平 英 作	(H22)
イタリア語学 イタリア文学	岩 倉 具 忠	(H9)	イタリア語学 イタリア文学	齊 藤 泰 弘	(H22)
東 洋 史 学	永 田 英 正	(H9)	心 理 学	苧 阪 直 行	(H22)
西洋史学	服 部 春 彦	(H10)	仏 教 学	御 牧 克 己	(H22)
キリスト教学	水 垣 涉	(H10)	西洋古典学	中 務 哲 郎	(H22)
地 理 学	成 田 孝 三	(H11)	英語学英米文学	宮 内 弘	(H24)
心 理 学	清 水 御代明	(H11)	ドイツ語学 ドイツ文学	西 村 雅 樹	(H24)
英語学英米文学	喜 志 哲 雄	(H11)	日 本 史 学	藤 井 讓 治	(H24)
西洋哲学史	藪 田 坦	(H12)	フランス語学 フランス文学	吉 川 一 義	(H24)
中国語文学 中国文学	興 膳 宏	(H12)	中国語学 中国文学	川 合 康 三	(H24)
ドイツ語学	山 口 知 三	(H12)	中国哲学史	池 田 秀 三	(H24)
宗 教 学	長 谷 正 當	(H12)	東 洋 史 学	夫 馬 進	(H25)
倫 理 学	加 藤 尚 武	(H13)	日 本 史 学	勝 山 清 次	(H25)
東 洋 史 学	礪 波 護	(H13)	考 古 学	泉 拓 良	(H25)
フランス語学 フランス文学	廣 田 昌 義	(H13)			
英語学英米文学	豊 田 昌 倫	(H13)			
西洋哲学史	山 本 耕 平	(H13)			

元 教 授

美学美術史学	宮 島 久 雄	(H10)
言 語 学	宮 岡 伯 人	(H12)
現代文化学	柏 倉 康 夫	(H14)
社 会 学	井 上 俊	(H14)
西洋古典学	CRAIK, Elizabeth Mary	(H14)
西洋史学	谷 川 稔	(H17)



## 文 学 研 究 科

氏名の左側の ( ) 内は内線番号, 研究室

<TEL>075-753- (内線番号)

<研究室略称>新-文学部校舎, 東-東館, 共-文系四学部共同棟, 陣-陳列館

研究科長 教授 服 部 良 久

### 文献文化学専攻

#### 国語学国文学専修 (国語学・国文学講座)

教 授	(2806) (新7F南 720)	木 田 章 義
”	(2834) (新7F南 718)	大 谷 雅 夫
准 教 授	(2459) (新7F南 722)	大 槻 信
”	(2818) (新5F南 506)	金 光 桂 子

#### 中国語学中国文学専修 (中国語学・中国文学講座)

教 授	(2807) (新7F南 716)	平 田 昌 司
”	(2449) (新7F南 712)	木 津 祐 子
准 教 授	(2821) (共2F南 202)	緑 川 英 樹

#### 中国哲学史専修 (東洋古典学講座)

教 授	(2471) (共5F北 507)	宇佐美 文 理
-----	----------------------	---------

#### インド古典学専修 ( ” )

教 授	(2460) (共4F南 403)	横 地 優 子
准 教 授	(2803) (新5F南 520)	ACHARYA, Diwakar Nath
特 定 教 授	(2856) (新4F北 401)	VASUDEVA, Som Dev

#### 仏教学専修 ( ” )

准 教 授	(2470) (共3F北 307)	宮 崎 泉
-------	----------------------	-------

#### 西洋古典学専修 (西洋古典学講座)

教 授	(2767) (新5F北 503)	高 橋 宏 幸
准 教 授	(2778) (新5F北 505)	CIESKO, Martin

#### スラブ語学スラブ文学専修 (欧米語学・欧米文学講座)

教 授	(2781) (新6F南 620)	佐 藤 昭 裕
-----	----------------------	---------

#### ドイツ語学ドイツ文学専修 ( ” )

教 授	(2777) (新6F南 622)	松 村 朋 彦
-----	----------------------	---------

#### 英語学英米文学専修 ( ” )

教 授	(2765) (新5F南 508)	若 島 正
”	(2838) (新4F南 402)	佐々木 徹
”	(2736) (新5F北 501)	家 入 葉 子
准 教 授	(2802) (新5F南 504)	廣 田 篤 彦
”	(2457) (新4F南 404)	森 慎一郎

#### フランス語学フランス文学専修 ( ” )

教 授	(2833) (新8F南 824)	田 口 紀 子
”	(2766) (新8F南 822)	増 田 眞
准 教 授	(2735) (共5F南 501)	永 盛 克 也
特 定 准 教 授	(2865) (新5F南 522)	AVOCAT, Eric

#### イタリア語学イタリア文学専修 ( ” )

教 授	(2853) (新6F北 623)	天 野 惠
准 教 授	(2812) (新6F南 624)	村 瀬 有 司
特 定 准 教 授	(2858) (新3F南 304)	VAGATA, Daniela Shalom

#### 協力講座教員 (関連専修)

教 授	(6993)	高 田 時 雄 (中国語学中国文学)
”	(6969)	金 文 京 (中国語学中国文学)
”	(6981)	井 波 陵 一 (中国語学中国文学)
准 教 授	(6989)	池 田 巧 (中国語学中国文学)
”	(6926)	古 勝 隆 一 (中国哲学史)

教 授 (6972) 武 田 時 昌  
 (中国哲学史)  
 " (6949) 藤 井 正 人  
 (インド古典学)  
 " (6973) 船 山 徹  
 (仏教学)  
 准 教 授 (6917) 岡 田 暁 生  
 (ドイツ語学ドイツ文学)  
 教 授 (6937) 大 浦 康 介  
 (フランス語学フランス文学)  
 准 教 授 (6920) 王 寺 賢 太  
 (フランス語学フランス文学)

### 思想文化学専攻

#### 哲学専修 (哲学・宗教学講座)

教 授 (2727) 伊 藤 邦 武  
 (新4F南 430)  
 准 教 授 (2458) 出 口 康 夫  
 (共3F南 303)

#### 西洋古代哲学史専修 ( " )

教 授 (2717) 中 畑 正 志  
 (新4F南 428)

#### 西洋中世哲学史専修 ( " )

教 授 (2855) 川 添 信 介  
 (新4F南 408)

#### 西洋近世哲学史専修 ( " )

教 授 (2743) 福 谷 茂  
 (新4F南 406)

#### 日本哲学史専修 ( " )

教 授 (2801) 上 原 麻 有 子  
 (新8F南 826)

#### 倫理学専修 ( " )

教 授 (2732) 水 谷 雅 彦  
 (新8F南 818)  
 准 教 授 (2815) 児 玉 聡  
 (新8F南 820)

#### 宗教学専修 ( " )

教 授 (2746) 氣 多 雅 子  
 (共3F南 304)  
 准 教 授 (2450) 杉 村 靖 彦  
 (共3F南 301)

#### キリスト教学専修 ( " )

教 授 (2762) 芦 名 定 道  
 (新8F南 816)

#### 美学美術史学専修 (美学・美術史学講座)

教 授 (2782) 中 村 俊 春  
 (新4F南 422)  
 " (2745) 根 立 研 介  
 (新4F南 426)  
 教 授 (2744) 吉 岡 洋  
 (新4F南 424)  
 准 教 授 (2847) 平 川 佳 世  
 (共4F北 405)

#### 協力講座教員 (関連専修)

准 教 授 稲 本 泰 生  
 (美学美術史学)

### 歴史文化学専攻

#### 日本史学専修 (日本史学講座)

教 授 (2775) 吉 川 真 司  
 (陣2F南 205)  
 " (2760) 横 田 冬 彦  
 (陣2F東 207)  
 准 教 授 (2763) 谷 川 穰  
 (陣2F南 204)  
 " (2798) 上 島 享  
 (陣2F東 211)  
 助 教 (2788) 山 田 徹  
 (陣1F東 105)

#### 東洋史学専修 (東洋史学講座)

教 授 (2837) 杉 山 正 明  
 (陣2F東 208)  
 " (2737) 吉 本 道 雅  
 (共3F南 302)  
 准 教 授 (2854) 中 砂 明 徳  
 (共4F南 402)  
 " (2456) 高 嶋 航  
 (共2F北 206)

#### 西南アジア史学専修 ( " )

教 授 (2783) 井 谷 鋼 造  
 (新3F南 306)  
 准 教 授 (2784) 久 保 一 之  
 (共4F南 401)

#### 西洋史学専修 (西洋史学講座)

教 授 (2816) 服 部 良 久  
 (新3F南 308)  
 " (2779) 南 川 高 志  
 (共4F南 404)  
 " (2455) 小 山 哲  
 (共5F南 504)  
 准 教 授 (2819) 金 澤 周 作  
 (共3F北 305)  
 助 教 (2859) 辻 内 宣 博  
 (新3F南 310)

**考古学専修（考古学講座）**

教授 (2786) (陣2F東 210) 上原真人  
 " (2750) (共4F北 407) 吉井秀夫  
 助 教 (2799) (陣1F南 101) 阪口英毅

**協力講座教員（関連専修）**

准 教 授 (6938) 岩城卓二  
 (日本史学)  
 教 授 (6962) 富谷至  
 (東洋史学)  
 " (6970) 岩井茂樹  
 (東洋史学)  
 " (6982) 浅原達郎  
 (東洋史学)  
 准 教 授 (6914) 矢木毅  
 (東洋史学)  
 教 授 稲葉穰  
 (西南アジア史学)  
 教 授 (2806) 伊藤順二  
 (新7F南 720) (西洋史学)  
 " (6944) 小関隆  
 (西洋史学)  
 准 教 授 (6964) 岡村秀典  
 (考古学)

**行動文化学専攻****心理学専修（心理学講座）**

教 授 (2852) 藤田和生  
 (新3F北 303)  
 " (2848) 櫻井芳雄  
 (新3F北 301)  
 " (2741) 板倉昭二  
 (新3F北 305)  
 准 教 授 (2445) 蘆田宏  
 (新3F南 302)

**言語学専修（言語学講座）**

教 授 (2817) 田窪行則  
 (新4F北 411)  
 " (2748) 吉田和彦  
 (新4F北 413)  
 " (2738) 吉田豊  
 (新4F南 420)

**社会学専修（社会学講座）**

教 授 (2739) 伊藤公雄  
 (新5F南 516)  
 " (2740) 松田素二  
 (新5F南 512)  
 " (2850) 落合恵美子  
 (新5F南 514)

准 教 授 (2448) 田中紀行  
 (新5F南 518)  
 " (2446) 太郎丸博  
 (新5F南 510)

**世界展開力強化事業**

特定准教授 (2780) 安里和晃  
 (新4F北 405)

**地理学専修（地理学講座）**

教 授 (2823) 小林致広  
 (陣2F南 203)  
 " (2768) 石川義孝  
 (新6F北 611)  
 " (2832) 杉浦和子  
 (新6F北 613)  
 准 教 授 (2851) 米家泰作  
 (新6F南 618)

**協力講座教員（関連専修）**

教 授 (6933) 富永茂樹  
 (社会学)  
 " (6915) 竹沢泰子  
 (社会学)

**現代文化学専攻****科学哲学科学史専修（現代文化学講座）**

教 授 (2769) 伊藤和行  
 (新7F南 728)  
 准 教 授 (2742) 伊勢田哲治  
 (共5F南 503)  
 講 師 (2469) 海田大輔  
 (共3F北 306)

**情報・史科学専修（ " ）**

教 授 (2474) 林晋  
 (共5F南 502)

**二十世紀学専修（ " ）**

教 授 (2800) 杉本淑彦  
 (新7F南 724)

**現代史学専修（ " ）**

教 授 (2764) 永井和  
 (新7F南 726)  
 " (2820) 永原陽子  
 (新5F南 502)  
 准 教 授 (2804) 小野澤透  
 (共5F北 505)

**協力講座教員（関連専修）**

教 授 (6925) 水野直樹  
 (現代史学)

教 授	(6959)	高 木 博 志 (現代史学)
准 教 授	(6934)	石 川 禎 浩 (現代史学)
”	(7095)	村 上 衛 (現代史学)

総合文化学（客員講座）

客 員 教 授		鵜 飼 孝 造
客 員 准 教 授		上 杉 和 央

（情報ネットワーク管理室）

助 教	(2859) (新3F南 310)	辻 内 宣 博
-----	----------------------	---------

## 文 学 部

文学部長 教授 服 部 良 久

### 哲学基礎文化学系

#### 哲学専修

教 授 (兼) 伊 藤 邦 武  
准 教 授 (兼) 出 口 康 夫

#### 西洋哲学史専修

教 授 (兼) 川 添 信 介  
" 中 畑 正 志  
" 福 谷 茂

#### 日本哲学史専修

教 授 (兼) 上 原 麻有子

#### 倫理学

教 授 (兼) 水 谷 雅 彦  
准 教 授 (兼) 児 玉 聡

#### 宗教学

教 授 (兼) 氣 多 雅 子  
准 教 授 (兼) 杉 村 靖 彦

#### キリスト教学

教 授 (兼) 芦 名 定 道

#### 美学美術史学専修

教 授 (兼) 中 村 俊 春  
" 根 立 研 介  
" 吉 岡 洋 世  
准 教 授 (兼) 平 川 佳 世

### 東洋文化学系

#### 国語学国文学専修

教 授 (兼) 木 田 章 義  
" 大 谷 雅 夫  
准 教 授 (兼) 大 槻 信 子  
" 金 光 桂 子

#### 中国語学中国文学専修

教 授 (兼) 平 田 昌 司  
" 木 津 祐 子  
准 教 授 (兼) 緑 川 英 樹

#### 中国哲学史専修

教 授 (兼) 宇佐美文理

#### インド古典学専修

教 授 (兼) 横 地 優 子  
准 教 授 (兼) ACHARYA,  
Diwakar Nath  
特 定 教 授 (兼) VASUDEVA,  
Som Dev

#### 仏教学専修

准 教 授 (兼) 宮 崎 泉

### 西洋文化学系

#### 西洋古典学専修

教 授 (兼) 高 橋 宏 幸  
准 教 授 (兼) CIESKO, Martin

#### スラブ語学スラブ文学専修

教 授 (兼) 佐 藤 昭 裕

#### ドイツ語学ドイツ文学専修

教 授 (兼) 松 村 朋 彦

#### 英語学英文学専修

教 授 (兼) 佐々木 徹  
" 家 入 葉 子  
准 教 授 (兼) 廣 田 篤 彦

#### アメリカ文学専修

教 授 (兼) 若 島 正  
准 教 授 (兼) 森 慎一郎

#### フランス語学フランス文学専修

教 授 (兼) 田 口 紀 子  
" 増 田 眞  
准 教 授 (兼) 永 盛 克 也  
特 定 准 教 授 (兼) AVOCAT, Eric

#### イタリア語学イタリア文学専修

教 授 (兼) 天 野 惠  
准 教 授 (兼) 村 瀬 有 司  
特 定 准 教 授 (兼) VAGATA,  
Daniela Shalom

### 歴史基礎文化学系

#### 日本史学専修

教 授 (兼) 吉 川 真 司  
" 横 田 冬 彦  
准 教 授 (兼) 谷 川 穰  
" 上 島 享  
助 教 (兼) 山 田 徹

#### 東洋史学専修

教 授 (兼) 杉 山 正 明  
" 吉 本 道 雅  
准 教 授 (兼) 中 砂 明 徳  
" 高 嶋 航

西南アジア史学専修

教授 (兼) 井谷 鋼造  
准教授 (兼) 久保 一之

西洋史学専修

教授 (兼) 服部 良久  
" 南川 高志  
" 小山 哲作  
准教授 (兼) 金澤 周作

考古学専修

教授 (兼) 上原 真人  
" 吉井 秀夫  
助教 (兼) 阪口 英毅

行動・環境文化系

心理学専修

教授 (兼) 藤田 和生  
" 櫻井 芳雄  
" 板倉 昭二  
准教授 (兼) 蘆田 宏

言語学専修

教授 (兼) 田窪 行則  
" 吉田 和彦  
" 吉田 豊

社会学専修

教授 (兼) 伊藤 公雄  
" 松田 素二  
" 落合 恵美子  
准教授 (兼) 田中 紀行  
" 太郎丸 博

世界展開力強化事業

特定准教授 (兼) 安里 和晃

地理学専修

教授 (兼) 小林 致広  
" 石川 義孝  
" 杉浦 和子  
准教授 (兼) 米家 泰作

基礎現代文化学系

科学哲学科学史専修

教授 (兼) 伊藤 和行  
准教授 (兼) 伊勢田 哲治  
講師 (兼) 海田 大輔

情報・史料学専修

教授 (兼) 林 晋

二十世紀学専修

教授 (兼) 杉本 淑彦

現代史学専修

教授 (兼) 永井 和子  
" 永原 陽子  
准教授 (兼) 小野澤 透

## 非常勤講師

### 国語学国文学

- 清水 康次 大阪大学大学院文学研究科・教授  
 岡島 昭浩 大阪大学大学院文学研究科・教授  
 岩坪 健 同志社大学文学部・教授  
 関本 真乃  
 小峯 和明

### 中国語学中国文学

- 杉村 博文 大阪大学大学院言語文化研究科・教授  
 王 宜瑗

### 中国哲学史

- 木下 鉄矢 総合地球環境学研究所・特別客員教授

### インド古典学

- 堂山 英次郎 大阪大学大学院文学研究科・講師  
 山口 周子 (財) 東方研究会・研究員  
 河崎 豊 大谷大学文学部・助教  
 山下 勤 京都学園大学経営学部・教授  
 SHAKYA, Sudan 種智院大学人文学部・講師  
 榊 和良  
 小松 久恵 追手門学院大学国際教養学部・任用期限付専任教員  
 西岡 美樹 大阪大学大学院言語文化研究科・講師

### 仏教学

- 室寺 義仁 滋賀医科大学医学部・教授  
 志賀 浄邦 京都産業大学文化学部・准教授  
 加納 和雄 高野山大学文学部・助教  
 佐藤 直実 宗教情報センター・研究員  
 山口 周子 (財) 東方研究会・研究員  
 河崎 豊 大谷大学文学部・助教  
 高橋 慶治 愛知県立大学外国語学部・教授

### 西洋古典学

- 西村 賀子 和歌山県立医科大学保健看護学部・教授  
 山下 修一  
 平山 晃司 大阪大学大学院言語文化研究科・講師  
 早瀬 篤  
 広川 直幸  
 堀川 宏

### 佐藤 義尚

### スラブ語学スラブ文学

- 楯岡 求美 神戸大学大学院国際文化学研究所・准教授  
 GRECKO, Valerij  
 VINOGRADOVA,  
 Svetlana  
 SASAKI, Bogna

### ドイツ語学ドイツ文学

- 加賀 ラビ  
 西尾 宇広

### 英語学英文学

- 西村 秀夫 三重大学教育学部・教授  
 服部 典之 大阪大学大学院文学研究科・教授  
 GALLIMORE, Daniel 関西学院大学文学部・教授  
 LUDVIK, Catherine  
 JAMENTZ, Michael Edward  
 SMITH, Jennifer グラスゴー大学・上級講師

### アメリカ文学

- JAMENTZ, Michael Edward  
 長畑 明利 名古屋大学大学院国際言語文化研究科・教授  
 林 以知郎 同志社大学文学部・教授  
 西谷 拓哉 神戸大学大学院国際文化学研究所・教授  
 藤井 光 同志社大学文学部・准教授

### フランス語学フランス文学

- 嶋崎 陽一 龍谷大学社会学部・准教授  
 中村 翠  
 吉川 順子

## イタリア語学イタリア文学

河 合 成 雄 神戸大学留学生センター・教授  
内 田 健 一 京都産業大学外国語学部・助教  
鈴 木 信 五 東京音楽大学音楽学部・教授  
長谷川 信 弥 大阪大学大学院言語文化研究科・准教授  
菅 野 類

## 哲学

須 藤 訓 任 大阪大学大学院文学研究科・教授  
久 米 暁 関西学院大学文学部・教授  
西 村 正 秀 滋賀大学経済学部・准教授

## 西洋哲学史

近 藤 智 彦 北海道大学大学院文学研究科・准教授  
早 瀬 篤  
西 尾 浩 二  
山 内 志 朗 慶應義塾大学文学部・教授  
横 田 蔵 人  
仁 子 寿 晴  
山 脇 雅 夫 高野山大学文学部・准教授  
上 野 修 大阪大学大学院文学研究科・教授

## 日本哲学史

平 子 友 長 一橋大学大学院社会学研究科・教授  
岡 田 勝 明 姫路獨協大学外国語学部・教授  
高 坂 史 朗 大阪市立大学大学院文学研究科・教授  
水 野 友 晴  
田 中 美 子

## 倫理学

北 尾 宏 之 立命館大学文学部・教授  
島 内 明 文 東京大学大学院医学系研究科・特任講師

## 宗教学

鶴 真 一  
安 藤 泰 至 鳥取大学医学部・准教授

## キリスト教学

手 島 勲 矢  
堀 川 敏 寛  
津 田 謙 治 西南学院大学国際文化学部・講師  
方 俊 植

## 美学美術史学

加須屋 誠 奈良女子大学文学部・教授  
安 田 篤 生 愛知教育大学教育学部・准教授  
永 井 隆 則 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科・准教授  
西 欣 也 甲南大学文学部・教授  
深 谷 訓 子 京都市立芸術大学美術学部  
田 中 健 一 大阪大谷大学文学部・専任講師  
小 峯 和 明

## 日本史学

黒 岩 康 博 天理大学文学部・助教  
鈴 木 栄 樹 京都薬科大学薬学部・教授  
飯 塚 一 幸 大阪大学大学院文学研究科・教授  
川 岡 勉 愛媛大学教育学部・教授  
安 國 良 一 住友史料館・副館長  
倉 本 一 宏 国際日本文化研究センター・教授  
松 田 利 彦 国際日本文化研究センター・准教授  
高 橋 照 彦 大阪大学大学院文学研究科・准教授  
王 新 生 北京大学歴史学系・教授

## 東洋史学

木 田 知 生 龍谷大学大学院文学研究科・教授  
松 浦 典 弘 大谷大学文学部・准教授  
林 謙一郎 名古屋大学大学院文学研究科・准教授

## 西南アジア史学

谷 口 淳 一 京都女子大学文学部・教授  
磯 貝 健 一 追手門学院大学国際教養学部・准教授  
新 井 政 美 東京外国語大学大学院総合国際学研究院・教授  
渡 邊 千香子 大阪学院大学国際学部・准教授  
真 下 裕 之 神戸大学大学院人文学研究科・准教授

手 島 勲 矢  
西 尾 哲 夫 国立民族学博物館・教授

森 若 葉  
森 茂 男 大阪大学大学院言語文化研究科・教授  
小 松 久 恵 追手門学院大学国際教養学部・任用期限付専任教員

## 西洋史学

佐 藤 昇 神戸大学大学院人文学研究科・准教授  
深 澤 克 己 東京大学大学院人文社会系研究科・教授  
中 谷 功 治 関西学院大学文学部・教授



渡邊 伸	京都府立大学文学部・教授	TOIVONEN, Tuukka Hannu	オックスフォード大学グリーンテン ブルトンカレッジ・ジュニアリサー チフェロー
山下 修一			
<b>考古学</b>		HAN, Youn-Hae	ソウル大学国際大学院・教授
矢野 健一	立命館大学文学部・教授	<b>地理学</b>	
小林 正史	北陸学院大学人間総合学部・教授	生田 真人	立命館大学文学部・教授
高橋 照彦	大阪大学大学院文学研究科・准教授	鈴木 康弘	名古屋大学減災連携研究センター・ 教授
<b>心理学</b>		友澤 和夫	広島大学大学院文学研究科・教授
小林 哲生	NTTコミュニケーション科学 基礎研究所・研究主任	滝波 章弘	首都大学東京都市環境学部・准教授
CALLAN, Daniel Edward	独立行政法人情報通信研究機構	木村 義成	大阪市立大学大学院文学研究科・ 講師
		<b>科学哲学科学史</b>	
伊澤 栄一	慶應義塾大学文学部・准教授	矢田部 俊介	
源 健宏	大阪大学大学院人間科学研究科・ 特任助教	直江 清隆	東北大学大学院文学研究科・准教授
大瀧 翔		平川 秀幸	大阪大学コミュニケーションデザイ ン・センター・准教授
矢追 健		喜多 千草	関西大学総合情報学部・教授
田邊 重澄		<b>情報・史料学</b>	
別役 透		小田 宗兵衛	京都産業大学経済学部・教授
<b>言語学</b>		大谷 卓史	吉備国際大学国際環境経営学部・ 准教授
郡司 隆男	神戸松蔭女子学院大学言語科学 研究所・教授	岡田 至弘	龍谷大学理工学部・教授
上田 功	大阪大学大学院言語文化研究科・ 教授	喜多 千草	関西大学総合情報学部・教授
定延 利之	神戸大学大学院国際文化学研究科・ 教授	<b>二十世紀学</b>	
塩谷 茂樹	大阪大学世界言語研究センター・教授	佐伯 順子	関西大学社会学部・教授
林 範彦	神戸市外国語大学・准教授	山登 義明	NHKエンタープライズ・ エグゼクティブプロデューサー
井戸根 綾子		吉村 和真	京都精華大学マンガ学部・准教授
笹間 史子	大阪学院大学情報学部・准教授	山口 誠	関西大学社会学部・准教授
木部 暢子	国立国語研究所・教授	力久 昌幸	同志社大学法学部・教授
森 若葉		STEGEWERNS, Dick	国立オスロ大学文学部・准教授
<b>社会学</b>		清水 康次	大阪大学大学院文学研究科・教授
阿部 潔	関西学院大学社会学部・教授	喜多 千草	関西大学総合情報学部・教授
中野 康人	関西学院大学社会学部・教授	松田 利彦	国際日本文化研究センター・准教授
阿部 利洋	大谷大学文学部・准教授	山内 昭人	九州大学大学院人文科学研究院・ 教授
森本 一彦		<b>現代史学</b>	
町村 敬志	一橋大学大学院社会学研究科・教授	力久 昌幸	同志社大学法学部・教授
DANG, Nguyen Anh	ベトナム社会科学院社会学研究所・ 所長・教授	松田 利彦	国際日本文化研究センター・准教授
VU, Manh Loi	ベトナム社会科学院社会学研究所・ 副所長・准教授	山内 昭人	九州大学大学院人文科学研究院・ 教授
		STEGEWERNS, Dick	国立オスロ大学文学部・准教授

喜多千草 関西大学総合情報学部・教授  
鈴木栄樹 京都薬科大学薬学部・教授  
飯塚一幸 大阪大学大学院文学研究科・教授  
新井政美 東京外国語大学大学院総合国際学  
研究科・教授  
山登義明 NHKエンタープライズ・  
エグゼクティブプロデューサー  
吉村和真 京都精華大学マンガ学部・准教授  
山口誠 関西大学社会学部・准教授  
佐伯順子 関西大学社会学部・教授

#### 書道

日比野実

#### ヒンディー語（初級）

小松久恵 追手門学院大学国際教養学部・  
任用期限付専任教員

#### ヒンディー語（中級）

西岡美樹 大阪大学大学院言語文化研究科・  
講師

#### チベット語（初級）

高橋慶治 愛知県立大学外国語学部・教授

#### ギリシア語（2時間コース）

早瀬篤

#### ギリシア語（4時間コース）

広川直幸

#### ラテン語（2時間コース）

堀川宏

#### ラテン語（4時間コース）

佐藤義尚

#### ポーランド語（初級・中級）Ⅱ

SASAKI, Bogna

#### スペイン語（初級・中級）

長谷川信弥 大阪大学大学院言語文化研究科・  
准教授

#### イタリア語学イタリア文学

菅野類

#### ヘブライ語（初級・中級）

手島勲矢

#### 博物館学Ⅰ・Ⅱ

佐々木進

#### 博物館学Ⅲ

宮川禎一 京都国立博物館学芸部・企画室長

#### イラン語（初級）

森茂男 大阪大学大学院言語文化研究科・教授

#### 朝鮮語（初級）

朴真完 京都産業大学文化学部・助教

#### アラブ語

西尾哲夫 国立民族学博物館・教授

#### モンゴル語

塩谷茂樹 大阪大学世界言語研究センター・教授

#### シュメール語

森若葉

#### スワヒリ語（初級・中級）

井戸根綾子

#### 英語論文作成法

大崎紀子

#### アジア研究（分析アジア哲学入門Ⅰ）

SIDERITS, Mark ソウル大学・名誉教授

GARFIELD, Jay スミスカレッジ・教授

八木沢敬 カリフォルニア州立大学ノースリッ  
ジ校・教授

#### アジア研究（分析アジア哲学入門Ⅱ）

PRIEST, Graham ニューヨーク市立大学・教授

#### アジア研究（ベトナム）

DANG, ベトナム社会科学院社会学研究所・  
Nguyen Anh 所長・教授

VU, Manh Loi ベトナム社会科学院社会学研究所・  
副所長・准教授

#### アジア研究（若者）

TOIVONEN, オックスフォード大学グリーンテン  
Tuukka Hannu プルトンカレッジ・ジュニアリサー  
チフェロー

#### アジア研究（韓国と日本）

HAN, Youn-Hae ソウル大学国際大学院・教授

## 学 内 教 員

### 国語学国文学

須 田 千 里 大学院人間・環境学研究科・教授  
 佐 野 宏 大学院人間・環境学研究科・准教授  
 森 眞理子 国際交流センター・教授

### 中国語学中国文学

道 坂 昭 廣 大学院人間・環境学研究科・教授  
 貴 志 俊 彦 地域研究統合情報センター・教授

### 中国哲学史

金 志 玟 大学院人間・環境学研究科・准教授

### インド古典学

志 田 泰 盛 白眉センター・助教  
 置 田 清 和 白眉センター・助教  
 DEROCHE, March-Henri 白眉センター・助教

### 仏教学

熊 谷 誠 慈 こころの未来研究センター・准教授  
 DEROCHE, March-Henri 白眉センター・助教  
 置 田 清 和 白眉センター・助教

### スラブ語学スラブ文学

服 部 文 昭 大学院人間・環境学研究科・教授

### ドイツ語学ドイツ文学

奥 田 敏 広 大学院人間・環境学研究科・教授  
 河 崎 靖 大学院人間・環境学研究科・教授  
 TRAUDEN, Dieter 大学院人間・環境学研究科・外国人教師

### 英語学英文学

谷 口 一 美 大学院人間・環境学研究科・准教授  
 桂 山 康 司 高等教育研究開発推進センター・准教授

### アメリカ文学

前 川 玲 子 大学院人間・環境学研究科・教授

### フランス語学フランス文学

稲 垣 直 樹 大学院人間・環境学研究科・教授  
 多 賀 茂 大学院人間・環境学研究科・教授  
 西 山 教 行 大学院人間・環境学研究科・准教授

塩 塚 秀 一 郎 大学院人間・環境学研究科・准教授

### 哲学

富 田 恭 彦 大学院人間・環境学研究科・教授

### 倫理学

佐 藤 義 之 大学院人間・環境学研究科・教授

### 美学美術史学

篠 原 資 明 大学院人間・環境学研究科・教授  
 高 井 たかね 人文科学研究所・助教

### 日本史学

西 山 良 平 大学院人間・環境学研究科・教授  
 元 木 泰 雄 大学院人間・環境学研究科・教授  
 岩 崎 奈 緒 子 総合博物館・教授

### 東洋史学

松 浦 茂 大学院人間・環境学研究科・教授  
 辻 正 博 大学院人間・環境学研究科・准教授  
 貴 志 俊 彦 地域研究統合情報センター・教授

### 西南アジア史学

東 長 靖 大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・教授  
 置 田 清 和 白眉センター・助教

### 考古学

千 葉 豊 文化財総合研究センター・助教  
 伊 藤 淳 史 文化財総合研究センター・助教  
 富 井 眞 文化財総合研究センター・助教  
 山 極 壽 一 大学院理学研究科・教授  
 中 務 眞 人 大学院理学研究科・教授  
 杉 山 淳 司 生存圏研究所・教授  
 小 方 登 大学院地球環境学堂・教授

### 心理学

森 崎 礼 子 こころの未来研究センター・助教  
 阿 部 修 士 こころの未来研究センター・特定助教  
 楠 見 孝 大学院教育学研究科・教授  
 子 安 増 生 大学院教育学研究科・教授  
 野 村 理 朗 大学院教育学研究科・准教授  
 齋 藤 智 大学院教育学研究科・准教授  
 松 下 姫 歌 大学院教育学研究科・准教授

教 授 (6972) 武 田 時 昌  
 (中国哲学史)  
 " (6949) 藤 井 正 人  
 (インド古典学)  
 " (6973) 船 山 徹  
 (仏教学)  
 准 教 授 (6917) 岡 田 暁 生  
 (ドイツ語学ドイツ文学)  
 教 授 (6937) 大 浦 康 介  
 (フランス語学フランス文学)  
 准 教 授 (6920) 王 寺 賢 太  
 (フランス語学フランス文学)

### 思想文化学専攻

#### 哲学専修 (哲学・宗教学講座)

教 授 (2727) 伊 藤 邦 武  
 (新4F南 430)  
 准 教 授 (2458) 出 口 康 夫  
 (共3F南 303)

#### 西洋古代哲学史専修 ( " )

教 授 (2717) 中 畑 正 志  
 (新4F南 428)

#### 西洋中世哲学史専修 ( " )

教 授 (2855) 川 添 信 介  
 (新4F南 408)

#### 西洋近世哲学史専修 ( " )

教 授 (2743) 福 谷 茂  
 (新4F南 406)

#### 日本哲学史専修 ( " )

教 授 (2801) 上 原 麻 有 子  
 (新8F南 826)

#### 倫理学専修 ( " )

教 授 (2732) 水 谷 雅 彦  
 (新8F南 818)  
 准 教 授 (2815) 児 玉 聡  
 (新8F南 820)

#### 宗教学専修 ( " )

教 授 (2746) 氣 多 雅 子  
 (共3F南 304)  
 准 教 授 (2450) 杉 村 靖 彦  
 (共3F南 301)

#### キリスト教学専修 ( " )

教 授 (2762) 芦 名 定 道  
 (新8F南 816)

#### 美学美術史学専修 (美学・美術史学講座)

教 授 (2782) 中 村 俊 春  
 (新4F南 422)  
 " (2745) 根 立 研 介  
 (新4F南 426)  
 教 授 (2744) 吉 岡 洋  
 (新4F南 424)  
 准 教 授 (2847) 平 川 佳 世  
 (共4F北 405)

#### 協力講座教員 (関連専修)

准 教 授 稲 本 泰 生  
 (美学美術史学)

### 歴史文化学専攻

#### 日本史学専修 (日本史学講座)

教 授 (2775) 吉 川 真 司  
 (陣2F南 205)  
 " (2760) 横 田 冬 彦  
 (陣2F東 207)  
 准 教 授 (2763) 谷 川 穰  
 (陣2F南 204)  
 " (2798) 上 島 享  
 (陣2F東 211)  
 助 教 (2788) 山 田 徹  
 (陣1F東 105)

#### 東洋史学専修 (東洋史学講座)

教 授 (2837) 杉 山 正 明  
 (陣2F東 208)  
 " (2737) 吉 本 道 雅  
 (共3F南 302)  
 准 教 授 (2854) 中 砂 明 徳  
 (共4F南 402)  
 " (2456) 高 嶋 航  
 (共2F北 206)

#### 西南アジア史学専修 ( " )

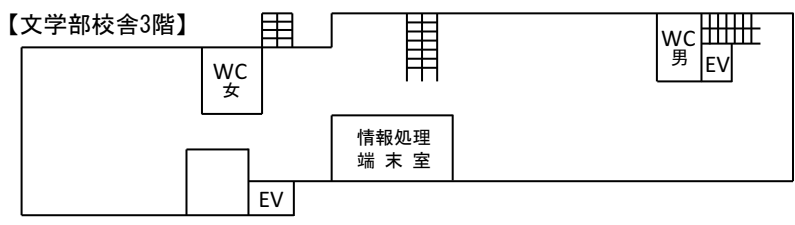
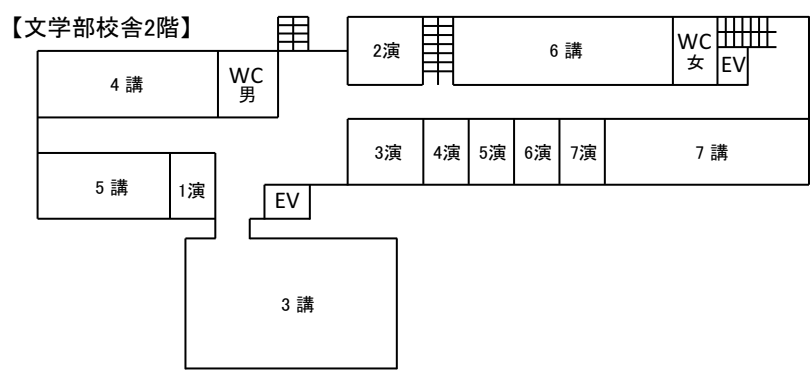
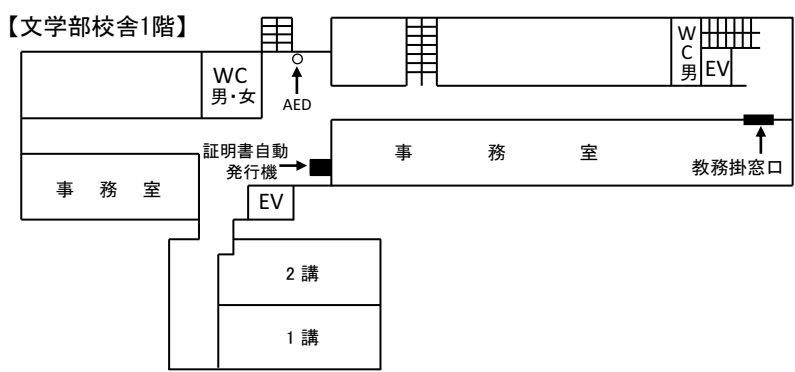
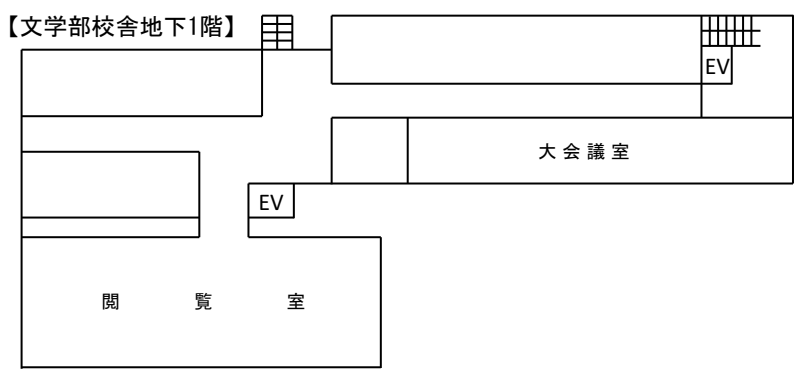
教 授 (2783) 井 谷 鋼 造  
 (新3F南 306)  
 准 教 授 (2784) 久 保 一 之  
 (共4F南 401)

#### 西洋史学専修 (西洋史学講座)

教 授 (2816) 服 部 良 久  
 (新3F南 308)  
 " (2779) 南 川 高 志  
 (共4F南 404)  
 " (2455) 小 山 哲  
 (共5F南 504)  
 准 教 授 (2819) 金 澤 周 作  
 (共3F北 305)  
 助 教 (2859) 辻 内 宣 博  
 (新3F南 310)

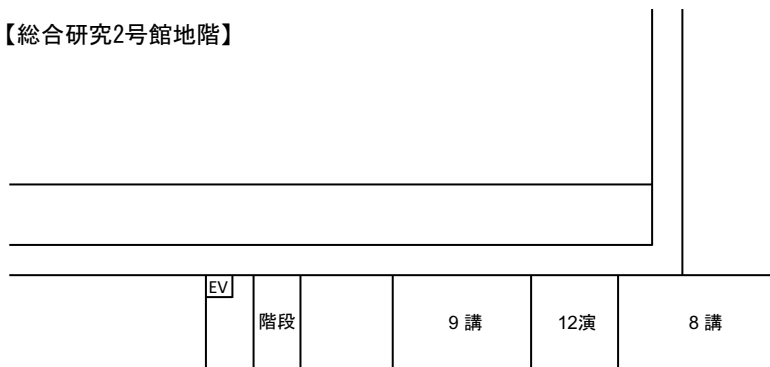
## 2. 建物配置図



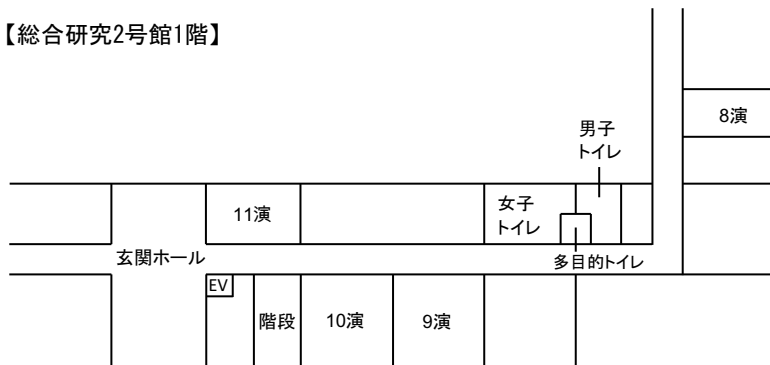




【総合研究2号館地階】



【総合研究2号館1階】



### 3. 講義室設備一覧

館	教室	略称	収容人員		設 備
			講義	試験	
文学部 校舎	第1講義室	1講	72	48	M, V, 提, L, S, (ス), D, プ, LAN
	第2講義室	2講	72	48	M, V, 提, L, S, (ス), D, プ, LAN, 無LAN
	第3講義室	3講	180	90	M, V, 提, L, 8, 世, S, (ス), (O), D, カ, プ, LAN, 無LAN
	第4講義室	4講	63	36	M, V, 提, S, (ス), D, DV, プ, LAN
	第5講義室	5講	42	27	V, 提, D, S, (ス), プ, LAN, 無LAN
	第6講義室	6講	83	49	M, V, 提, S, (ス), D, DV, プ, LAN
	第7講義室	7講	94	48	M, V, 提, S, (O), D, プ, LAN
	第1演習室	1演	18		長机5, 長イス6
	第2演習室	2演	34		長机6, 長イス8, イス18, S, プ, LAN, 無LAN
	第3演習室	3演	34		長机6, 長イス8, イス18, S, プ, LAN, 無LAN
	第4演習室	4演	18		長机5, 長イス6
	第5演習室	5演	18		長机5, 長イス6
	第6演習室	6演	18		長机5, 長イス6
	第7演習室	7演	18		長机5, 長イス6
総合研究 2号館	第8講義室	8講	87	58	M, V, 提, D, 世, S, (ス), (O), プ, LAN
	第9講義室	9講	40		机(3人掛)10, 机(2人掛)5, イス40, M, 提, S, プ, LAN
	第8演習室	8演	18		長机5, 長イス6, LAN
	第9演習室	9演	33		長机8, イス24, 長イス3, S, LAN
	第10演習室	10演	39		長机6, 長イス13, S, LAN
	第11演習室	11演	18		長机5, 長イス6, S, LAN
	第12演習室	12演	18		長机5, 長イス6, LAN

※設備略称：M-マイク，V-ビデオ，提-提示装置(OHC)，L-LD，8-Hi8，世-世界ビデオ，カーカセットデッキ，

ス-スライド，O-OHP，D-DVD，DV-デジタルビデオ，S-スクリーン，プ-プロジェクター

LAN接続-LAN，無線LAN接続-無LAN

(LANの使用は、事前にPPTP接続設定が必要です。)



## 4. 連絡先

京都大学大学院文学研究科・文学部

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL 075-753-(内線番号) (注) \*印は内線番号からのみ

事務室 (内線番号)

事務長 (2702)

総務掛 (2700, 2704)

会計掛 (2705, 2706, \*2707)

用務員室 (2720)

教務掛 (2709, 2710, 2809)

整理掛 (2711, 2712, \*2713, \*2708, \*2841, \*2843, \*2844)

閲覧掛 (2715, 2716, カウンター2849)

FAX 075-753-2719, 075-761-0692

ユーラシア文化研究センター (羽田記念館) TEL 075-491-6027

### 各研究室の内線番号・場所

〈場所略称〉新—文学部校舎, 東—東館, 総合—総合研究2号館

専修	内線番号	場所	専修	内線番号	場所
哲学	2754	総合2階北	ドイツ語学ドイツ文学	2826	新7階南 730
西洋古代哲学史	2733	総合2階南	英語学英米文学	2828・2447	総合1階東
西洋中世哲学史	2443	総合2階南	フランス語学フランス文学	2829	新8階南 828
西洋近世哲学史	2444	総合2階南	イタリア語学イタリア文学	2774	新6階南 626
日本哲学史	2869	新8階南 812	日本史学	2789	総合1階北
倫理学	2440	新8階北 817	東洋史学	2790	総合2階東南
宗教学	2839	新8階北 813	西南アジア史学	2830	総合2階北
キリスト教学	2757	新8階北 811	西洋史学	2791	総合2階南
美学美術史学	2752	新4階北 417	考古学	2794	総合1階東南
国語学国文学	2824	新7階北 717	心理学	2753	新3階南 320
中国語学中国文学	2825	新7階北 711	言語学	2827	新4階南 416
中国哲学史	2755	新6階南 630	社会学	2758・2749	新5階北 517・521
インド古典学	2866・2756	新5階南 526・528	地理学	2793	新6階北 617
仏教学	2756	新5階南 528	現代文化学系	2792	新8階北 819
西洋古典学	2867	新6階南 628	情報・史料学	2475	総合2階南
スラブ語学スラブ文学	2868	新7階北 723			

※各教員の研究室, 内線番号は教員名簿を参照。

## 5. 京大以文会規約

2013年2月16日に開催された評議員会において規約が改正され、2013年4月1日からこれまで準会員であった在學生（学生、院生）をすべて正会員とすることが決定されました。

これは昭和8（1933）年に誕生し、昭和30（1955）年に現在の同窓会組織として再出発した以文会にとってターニングポイントにもなる大きな改革です。これまで以上に、在學生と同窓生のつながりをつよめ、両者がともに構成する文学部・文学研究科という共同体のさらなる発展をはかろうとするためのものです。

4月に入学予定の新入生に対しては、以文会の入会案内を送り、標準修学期間（学部4年、修士2年、博士3年）の会費全額を前納してもらうようお願いします。また在學生には、毎年、『以文』発送時にその年度の会費の納入をお願いすることになります。これまで準会員であった在學生に対するサービスは、会誌の提供、卒業・修了懇親会の開催などのサービスだけでしたが、これを契機に、昨年試験的に実施して成功をおさめた「キャリアガイダンス in Tokyo」といった、各界で活躍する卒業生によるキャリア相談や指導、あるいは就職活動を希望する在學生による「OB・OG訪問」の仲介などの学生支援サービスをいっそう充実させていく予定です。また、学生評議員、学生理事として以文会活動自体への参加も今後実現に向けて検討していく所存です。

### ■京大以文会規約

#### 第一章 総則

第一条 本会は京大以文会と称し、会員相互の交流と親睦を図るとともに、京都大学文学部・文学研究科の発展に資することを目的とする。

第二条 本会は本部を京都大学文学部・文学研究科内におく。

#### 第二章 会員

第三条 左の者を会員とする。

- 一、京都大学文学部卒業生ならびに文学研究科の課程を修了した者。
- 二、京都大学文学部・文学研究科学生。
- 三、京都大学文学部・文学研究科教員ならびに元教員。
- 四、本学関係者で本会評議員会において適当と認められた者。

#### 第三章 会費

第四条 会費は年額二千円とする。

第五条 京都大学文学部・文学研究科学生は、入学あるいは進学時に、左の要領で、それぞれの標準修学期間の年会費全額を前納するものとする。

- 一、文学部学生は八千円
- 二、文学部学士入学による編入生は四千円
- 三、修士課程学生は四千円
- 四、博士課程学生は六千円

ただし、退学者および他学部転出者には、未修学期間の年会費分を、申し出に応じて返納する。

第六条 七十五歳以上の会員は会費を免除する。

#### 第四章 事業及び会計

第七条 本会は左の事業を行う。

- 一、会報の発行
- 二、親睦会、講演会等の開催
- 三、会員名簿の管理
- 四、京都大学文学部・文学研究科学生への支援

- 五、京都大学文学部・文学研究科の発展のための寄附受け入れ等の斡旋
- 六、そのほか評議員会が必要と認める事業

第八条 本会の経費は会費及び寄附金を以てあてる。

第九条 会計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終わる。

## 第五章 支部

第十条 都道府県単位に支部を設けることができる。但し複数の都道府県にまたがる支部の設置を妨げない。

第十一条 支部は評議員会の承認を得て各自規約をつくることができる。

## 第六章 役員及び職員

第十二条 本会に左の役員をおき任期を二ヶ年とする。但し重任を妨げない。

- 一、会長 一名
- 二、評議員 若干名
- 三、理事 若干名
- 四、監事 二名

第十三条 本会に名誉会長をおき、文学部長・文学研究科長をこれにあてる。

第十四条 会長は評議員の互選とする。会長は本会を代表して会務を総理する。会長は評議員会ならびに理事会を招集して議長となる。

第十五条 監事は評議員会において本会会員のなかから選出する。監事は本会の会計及び会務の執行を監督する。

第十六条 本会に本部会務担当の職員一名をおく。

## 第七章 評議員会

第十七条 評議員は左の三グループごとに互選する。

- 一、文学部・文学研究科教員
- 二、支部
- 三、文学部・文学研究科学生

第十八条 前条に定める者のほか、必要に応じ会長は本会会員のなかから評議員を指名することができる。

第十九条 評議員は評議員会を構成して本会の運営及び事業の実施に係わる重要事項を審議・議決する。評議員会の定足数は二分の一とする。議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。

第二十条 評議員会は年に一回会員に会務の報告を行う。

## 第八章 理事会及び委員会

第二十一条 理事は評議員の互選とし、評議員会が指名する。但し必要に応じ評議員会は評議員以外の本会会員のなかから理事を指名することができる。

第二十二条 理事は理事会を構成して事業の企画・推進を行う。理事会のなかに、総務・会計・会報・広報担当の理事を各一名おく。理事会の定足数は二分の一とする。議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。

第二十三条 会長は複数の評議員で構成される委員会に、個別事項の審議・企画・実施を委託することができる。

## 第九章 本会規約の改定

第二十四条 この規約は評議員会の議決により改定することができる。

## 附則

この規約は二〇一三年四月一日から施行する。





# MEMO



2013 京都大学大学院文学研究科 京都大学文学部

---